



acdsee™

写真館 9

Mac 用



目次

はじめに

ACDSee 写真館 9 Mac用 へようこそ	9
はじめに	9

管理 モード

管理 モードについて	11
参照 する	11
「ファイル一覧」ペインでファイルを参照 する	11
「ファイル一覧」ペインを使用 する	12
参照 する	14
「ファイル一覧」ペインでファイルを参照 する	14
「ファイル一覧」ペインを使用 する	15
フォルダペインで参照 する	17
複数のフォルダを表示 する	18
フォルダの作成 と管理	18
アイテムをFinderで表示 する	19
アイテムをよく使う項目として管理 する	19
クイックルックでファイルを参照 する	19
ライブテキスト	20
Finderでファイルを参照 する	20
カメラからファイルを参照 する	20
ナビゲーションアロー(矢) を使って参照 する	20
スライドショー形式で画像を表示	21
管理 モードでの顔の検出	22
表示を変更 する	24
ファイルにフィルタを適用 する	25
フル スクリーンで画像を表示 する	26
フルスクリーンで表示 するには	26
複数の画像を回転/反転 する	26
画像を比較 する	27
他のアプリケーションでファイルを開 く	29
ファイルを選択 する	29

画像バスケットに画像を集める	29
外部エディタを設定する	30
インポート	31
ACDSee 写真館 9でファイルをインポートする	31
携帯電話	32
ACDSee Mobile Sync を使用してモバイル デバイスから ACDSee に画像を送信する	32
はじめに	33
画像とビデオを送信する	34
モバイル同期のトラブルシューティング	34
整理する	34
ACDSee 写真館 9 でファイルを整理、管理する	34
[整理]ペインを使用する	35
カテゴリ	35
人物	35
重要度	36
カラーラベル	36
キーワード	36
保存済み検索	36
スペシャルアイテム	36
カレンダー	37
その ACDSee 写真館 9 データベース	37
イージーセレクト インジケータ	37
カテゴリを管理する	38
カテゴリセットを作成する	39
カテゴリと重要度を設定する	40
[整理]ペインで カテゴリと重要度を設定および検索する	40
[プロパティ] ペインでカテゴリと重要度を設定する	40
ファイルからカテゴリや重要度を削除する	41
カラーラベルを割り当てる	41
カラーラベル セットを作成する	41
カラーラベルを割り当てる	42
ラベルが割り当てられた画像を検索する	43
カラーラベルとカラーラベルセットを削除する	43

[プロパティ]ペインを使用する	44
[プロパティ]ペインの構成	44
人物 マネージャーを使用して割り当てられた名前を管理する	45
自動切り替えによる参照とカタログ化	46
管理モード	46
キーワードとカテゴリ	47
キーワード	47
カテゴリ	47
表示モード	48
マップ ペインを使用する	48
マップ ペインを使用したワークフロー	50
ファイルのメタデータを削除する	50
メタデータをファイルに追加する	51
メタデータをコピー&貼り付け	52
階層 キーワードの作成と割り当て	52
キーワードセットを作成する	54
キーワードのインポートとエクスポート	55
ファイルにSpotlight コメントを追加する	55
カスタムプロパティペインを作成する	56
画像をコピーする	56
ファイルをコピーまたは移動する	56
ファイルを保存する	57
ファイルまたはフォルダを貼り付ける	57
フォルダの作成と削除	57
ファイル名やフォルダ名を変更する	58
画像にタグを付ける	58
検索する	59
ACDSee 写真館 9で検索する	59
重複を検索する	60
クイック検索 バーを使用する	60
クイック検索の演算子	61
検索の保存	62
保存済み検索を削除する	63

画像をすばやく検索する	63
ビデオをすばやく検索する	64
一括処理機能	64
一括ツールについて	64
各操作について	64
プリセットについて	65
一括ツールを使う	65
更新日時の一括調整	66
複数の画像を別のフォーマットに変換する	66
ファイルを一括でコピーする	67
ファイルを一括で移動する	68
一括現像のプリセット	68
複数画像のサイズを変更する	69
複数ファイルの名前を変更する	71
一括ワークフロー:複数のファイルの名前を変更する	71
メタデータの編集	74
透かしの一括追加	74
枠の一括追加	77
一括プリセットの使用	79
一括処理をプリセットとして保存する	79
プリセットを適用する	80
一括プリセットを管理する	80
プリセットを変更する	80
プリセットの名前を変更する	80
プリセットを削除する	80
プリセットをインポートおよびエクスポートする	81
ピクセルのサイズ変更オプションと効果	81
データベース情報を管理する	83
データベース情報を管理する	83
ACDSee 写真館 9 データベースについて	83
データベースでフォルダをカタログ化する	84
フォルダをカタログ化	84
複数のデータベースの作成と切り替え	84

複数のデータベースの使用事例	85
データベース情報を埋め込む	86
埋め込み保留中アイコン	86
データベース情報を埋め込むオプション	86
データの埋め込みが必要なファイルを表示する	87
埋め込まれているデータベース情報を取り込む	87
データベースのバックアップと復元	87
データベースを空にする	88
データベースの最適化	88
サムネイルとメタデータの再構築	88
印刷する	89
画像を印刷する	89
コンタクトシートを作成する	89
PDFを作成する	90
プリントサイズのカスタマイズ	90
表示モード	
表示モードについて	91
表示モードで画像を扱う	93
RAW画像を表示する	93
表示モードで画像を参照する	93
表示モードで画像を表示する	94
フィルムストリップで画像を表示する	95
フィルムストリップを閉じる	96
表示モードで顔検出と認識を使用する	96
提案	98
ナビゲータを使用して画像の選択領域を表示する	99
現像モード	
現像モードについて	100
現像モードについて	100
現像モードでのカラーピッカーの使用	100
画像処理	100
保存とキャンセル	100

取り消し / やり直し	103
オリジナルの画像に復元する	103
画像をオリジナルの状態に戻す	103
現像の設定をプリセットとして保存して共有する	104
現像プリセットを保存するには	104
1つの画像に現像プリセットを適用する	104
複数のファイルに現像プリセットを一括適用する	105
家族や友人と現像プリセットを共有	105
プリセットペインでのカテゴリの使用	106
現像プリセットを家族や友人と共有する	106
現像スナップショットを取る	106
スナップショットを表示する	107
ナビゲータを使用して画像の選択領域を表示する	108
編集した画像の取り扱い	109
現像モードでブレンドモードと不透明度を使用する	109
不透明度	110
ブレンドモード	110
画像を調整する	112
調整タブについて	112
保存とキャンセル	112
全般調整を使用する	113
明瞭度を調整する	114
ホワイトバランスを調整する	115
ライティングを調整する	116
ベーシックライティング	116
標準	116
アドバンス	117
グラフ	117
カラーを調整する	119
LUTを使用してカラーグレーディングを行う	120
カラーホイールで色を調整する	121
ソフトフォーカス効果の適用	123
クロスプロセス効果の適用	124

スプリットトーンを調整する	124
トリミング後の周辺光量補正を調整する(ヴィネット効果)	125
トーンカーブを調整する	126
トーンホイールで色調を調整する	127
出力色空間	128
現像ブラシを使用する	128
スマートブラシ	131
リニアグラデーションツールを使用する	132
円形グラデーションツールを使用する	134
ディテールを調整する	136
ディテール タブについて	136
保存とキャンセル	136
シャープネス	137
ノイズを除去する	138
スキントーンを微調整する	138
色収差の補正	139
フリンジ軽減	140
現像ブラシを使用する	140
スマートブラシ	143
リニアグラデーションツールを使用する	144
円形グラデーションツールを使用する	146
ジオメトリを修正する	148
ジオメトリタブについて	148
保存とキャンセル	148
レンズの歪みを補正する	149
回転 & 傾きを直す	150
透視を補正する	150
トリミング	151
トリミングウィンドウのサイズを変更する	151
ヴィネット除去	152
修復	153
美肌効果ツールとクローンツールの使用	153
赤目補正	155

365 ボタン	156
365 モード	156
365 ボタンについて	156
フォルダを 非公開 または 公開 にする	156
オンラインフォルダの 作成	156
アップロードする	156
オンラインフォルダを共有する	157
画像をズームする	
ズーム レベルを設定する	158
画像をズームする	158
フル スクリーンで画像を表示する	158
環境設定	
全般環境設定	160
インデクサーオプションの設定方法	162
データベースの目録作成	162
インデクサー設定	162
ACDSee Mobile Sync オプションを設定する	163
自動切り替えの環境設定	164
メタデータの環境設定	164
管理モードの環境設定	165
表示モードの環境設定	167
顔検出・認識オプションの設定	168
現像モードの環境設定	170
デバイスの環境設定	171
マウスとキーボードの環境設定	171
マウス設定 タブ	172
キーボードショートカット タブ	173
ステータスバーの環境設定	173
ステータスバーの環境設定	173
ショートカット	
「ショートカット」	174

はじめに



ACDSee 写真館 9 Mac用へようこそ

ACDSee 写真館 9 Mac用のユーザーインターフェイスでは、様々なツールや機能に簡単にアクセスして、画像やメディアファイルの参照、表示、管理を実施できます。ACDSee 写真館 9 Mac用は管理モード、表示モード、現像モードの3つのモードから構成されています。

はじめに

初めて使う方のために、ACDSee 写真館 9 Mac用で推奨するワークフローを以下の表に記載しました。

管理モード

管理モードでは、画像を参照してから保持する画像を決定することができます。まず次のツールから使うことをお勧めいたします。

- **カテゴリ、重要度、ラベル:**画像を5段階で評価する**重要度**、明快な説明で画像を分類する**カテゴリ**、画像を後ですばや識別できるようにする**カラー ラベル**を使用して、画像を整理します。
- **タグ:****タグを適用**すると、別のフォルダに移動することなく、画像を一時的にまとめて管理することができます。
- **カレンダー:**関連付けられた日付を使って、画像やメディアファイルを参照することができます。EXIF情報の付いた画像は[整理]ペインにある**カレンダー**の日付で管理されます。
- **一括処理の実行:****タイムスタンプの調整**、**別のファイル形式への変換**、**ファイル名の変更**など一括で画像に変更を適用することができます。

表示モード

表示モードで画像を拡大して表示します。フィルムストリップで選択した画像をスクロールしながら、サムネイルをCtrl + クリックして重要度を追加してください。

現像モード

現像モードで画像を仕上げます。使いやすい処理ツールは4つのタブにあり、画像の**調整**、**ディテール**の調整、**ジオメトリ**の全体修正、**赤目**や**シミ**を修正することができます。

他の利用可能なツールの詳細については、左の目次からお探してください。

ACDSee 写真館 Mac用 User Guide

詳細については、jp.acdsee.comをご覧ください。

管理モード

管理モードについて

管理モードは、画像の参照および管理を行うためのユーザーインターフェイスです。ACDSee を起動して最初に表示される画面が管理モードです。管理モードでは、ファイルの検索、移動、並べ替えや、管理共有ツールにアクセスすることができます。

管理モードは次の 3 つのペインに分かれています:

左ペイン

[フォルダペイン](#) はパソコン内のコンテンツを表示します。フォルダペインを使ってフォルダ間をナビゲートします。フォルダーパネルの下には、選択した画像の貴重なメタデータ情報を表示する情報パレットがあります。左パネルの下部には、選択した画像のデータをグラフィカルに表現したヒストグラムがあります。

注: フォルダペインには、ACDSeeデータベースのすべてではなく、コンピュータのフォルダシステムが表示されます。

中央ペイン

[\[ファイル一覧\]ペイン](#) は選択したフォルダのコンテンツを表示します。クイック検索バーに入力した検索結果もファイル一覧ペインに表示されます。

右ペイン

[\[整理\]ペイン](#) では、重要度やタグ付け、ラベル付け、カテゴリ分けをするツールが利用でき、また写真を日付で検索できます。[\[プロパティ\]ペイン](#) では、カメラ撮影時の EXIF情報を表示したり、IPTC情報をメタデータへ追加することができます。

管理モードウィンドウの下にあるステータスバーには、現在選択されているファイルの情報が表示されます。管理モードには、ツールバーとインポートボタン、一括ボタンがあります。ツールバーには、[フォルダ間をナビゲートするためのボタン](#)が備わっています。インポートボタンを使用するとすばやく[ファイルをインポート](#)することができ、また一括ボタンではファイルを一瞬で変更できる[一括ツール](#)を使うことができます。

参照する

「ファイル一覧」ペインでファイルを参照する

規定設定として、ファイルは「ファイル一覧」ペインにサムネイルで表示されます。ファイル一覧ペインの表示はサムネイルから一覧へ変更することができます。ファイル名をクイック検索バーに入力すると、その名前から始まるファイルがすべて表示されます。また名前順、サイズ、画像プロパティなどでファイルを並べ替えることも可能です。



環境設定でサムネイルの表示方法を設定できます。詳細は [管理モードの環境設定](#) をご確認ください。

「ファイル一覧」ペインを使用する

ファイル一覧ペインの上部にあるオプションを使用して、ファイルの表示方法を設定します。

ファイル一覧 ドロップダウンリスト

フィルタ	重要度やカテゴリなど、フィルタオプションの一覧が表示されます。フィルタオプションの設定... を選択してカスタム フィルタを作成することも可能です。
並べ替え	「ファイル一覧」ペインで、ファイルの並べ替えに使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
表示	「ファイル一覧」ペインで、ファイルの表示オプションの一覧が表示されます。
選択	ファイル選択オプションの一覧が表示されます。

ファイル一覧 ツールバー

ファイル一覧 ツールバーにはファイル表示に役立つオプションがあります。

	外部エディタ	ユーザーの選択した外部エディタでファイルを開きます。
	左に回転	選択された画像を左へ回転します。
	右に回転	選択された画像を右へ回転します。
	スライドショー	スライドショーで画像を開きます。
	画像の比較	画像の比較ビューアに選択された画像を表示します。
	自動切り替え	自動切り替え を切り替えます。
	ズームスライダ	「ファイル一覧」ペインのサムネイルの大きさをコントロールできます。スライダをドラッグしてサムネイルの大きさを設定します。ズームスライダはサムネイル表示でのみ有効です。
	一覧	ファイルの一覧を表示します。既定では、ファイル名が一覧表示されます。
	サムネイル	ファイルのサムネイルが表示されます。既定でサムネイルは名前別に並んでいます。

オーバーレイアイコン

サムネイルに表示されるオーバーレイアイコンから、ファイルの追加情報がわかります。

	現像済み	ファイルが現像されている場合に表示されます。
4	重要度	データベースに保存されている重要度が存在する場合に ACDSee 写真館 9 表示されます。
	タグの付いた項目	タグが適用されている場合に表示されます。
	タグの付いていない項目	タグが適用されていない場合に表示されます。
	カテゴリ/キーワード	カテゴリまたはキーワードが適用されている場合に表示されます。
	ロック	ファイルがロックされている場合に表示されます。
	オフライン	ファイルがマウントされていないリムーバブルデバイス上にあるにもかかわらず、現在のデータベースでインデックスされた場合に表示されます。
	除外	マウント済みのリムーバブルデバイス上のファイルが、データベースでインデックスされていない場合に表示されます。
	ジオタグの付いた項目	ジオタグが適用されている場合に表示されます。このアイコンをクリックして、マップペインに画像を表示します。
	埋め込み保留中	ファイル内に、未書き込みの ACDSee データベース内に保存されている ACDSee メタデータがある場合表示されます。
	スナップショット	ファイルに1つ以上のスナップショットがデータベースに保存されている場合に表示されます。



現像の設定をすぐに画像に適応するには、**現像 | 最後に使用された操作を適用**をクリックします。他にも、保存してある現像設定を**現像**を選択してプリセットをクリックして適用することもできます。

参照する

「ファイル一覧」ペインでファイルを参照する

規定設定として、ファイルは「ファイル一覧」ペインにサムネイルで表示されます。ファイル一覧ペインの表示はサムネイルから一覧へ変更することができます。ファイル名をクイック検索バーに入力すると、そ

の名前から始まるファイルがすべて表示されます。また名前順、サイズ、画像プロパティなどでファイルを並べ替えることも可能です。

 環境設定でサムネイルの表示方法を設定できます。詳細は [管理モードの環境設定](#) をご確認ください。

「ファイル一覧」ペインを使用する

ファイル一覧ペインの上部にあるオプションを使用して、ファイルの表示方法を設定します。

ファイル一覧 ドロップダウンリスト

フィルタ	重要度やカテゴリなど、フィルタオプションの一覧が表示されます。フィルタオプションの設定... を選択してカスタム フィルタを作成することも可能です。
並べ替え	「ファイル一覧」ペインで、ファイルの並べ替えに使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
表示	「ファイル一覧」ペインで、ファイルの表示オプションの一覧が表示されます。
選択	ファイル選択オプションの一覧が表示されます。

ファイル一覧 ツールバー

ファイル一覧 ツールバーにはファイル表示に役立つオプションがあります。

	外部エディタ	ユーザーの選択した外部エディタでファイルを開きます。
	左に回転	選択された画像を左へ回転します。
	右に回転	選択された画像を右へ回転します。
	スライドショー	スライドショーで画像を開きます。
	画像の比較	画像の比較ビューアに選択された画像を表示します。
	自動切り替え	自動切り替え を切り替えます。
	ズームスライダ	「ファイル一覧」ペインのサムネイルの大きさをコントロールできます。スライダをドラッグしてサムネイルの大きさを設定します。ズームスライダはサムネイル表示でのみ有効です。
	一覧	ファイルの一覧を表示します。既定では、ファイル名が一覧表示されます。
	サムネイル	ファイルのサムネイルが表示されます。既定でサムネイルは名前別に並んでいます。

オーバーレイアイコン

サムネイルに表示されるオーバーレイアイコンから、ファイルの追加情報がわかります。

	現像済み	ファイルが現像されている場合に表示されます。
4	重要度	データベースに保存されている重要度が存在する場合に ACDSee 写真館 9 表示されます。
	タグの付いた項目	タグが適用されている場合に表示されます。
	タグの付いていない項目	タグが適用されていない場合に表示されます。
	カテゴリ/キーワード	カテゴリまたはキーワードが適用されている場合に表示されます。
	ロック	ファイルがロックされている場合に表示されます。
	オフライン	ファイルがマウントされていないリムーバブルデバイス上にあるにもかかわらず、現在のデータベースでインデックスされた場合に表示されます。
	除外	マウント済みのリムーバブルデバイス上のファイルが、データベースでインデックスされていない場合に表示されます。
	ジオタグの付いた項目	ジオタグが適用されている場合に表示されます。このアイコンをクリックして、マップペインに画像を表示します。
	埋め込み保留中	ファイル内に、未書き込みの ACDSee データベース内に保存されている ACDSee メタデータがある場合表示されます。
	スナップショット	ファイルに1つ以上のスナップショットがデータベースに保存されている場合に表示されます。



現像の設定をすぐに画像に適応するには、**現像 | 最後に使用された操作を適用**をクリックします。他にも、保存してある現像設定を**現像**を選択してプリセットをクリックして適用することもできます。

フォルダペインで参照する

フォルダペインには、コンピュータ内、接続されている USB デバイスや CD/DVD、共有ネットワークの場所、および ACDSee 365 アカウントの全フォルダの、フォルダペインでは、iCloud ドライブがノードとして表示され、他のフォルダと同様に参照することができます。iCloud ドライブを表示するには、システム環境設定から有効にする必要があります。

-  でmacOS 写真アプリからファイルにアクセスするには、アプリから任意のフォルダにファイルをエクスポートする必要があります。次にACDSeeで該当フォルダにナビゲートすることでファイルにアクセスできます。
-  フォルダペインには、あなたのコンピュータのフォルダシステムが表示され、ACDSee データベースのすべてが表示されるわけではありませんのでご注意ください。フォルダの内容をデータベースに追加するには、そのファイルを参照するか、カタログ化プロセスを開始する必要があります。

複数のフォルダを表示する

複数のフォルダを表示するには、次のいずれかを実行します。

- **Shift** キーを押して複数のフォルダを選択したら、表示するフォルダをクリックします。
- **コマンド** キーをクリックして特定のフォルダを選択したら、表示するフォルダをクリックします。
- [ファイル一覧]ペインで表示するコンテンツを含むフォルダの左にあるイーजीセレクトバーを選択します。 

フォルダの作成と管理

フォルダペインでは、ハードディスクにあるフォルダの作成、削除、名前の変更、移動を実行して、ファイルを管理することができます。

フォルダを管理するには:

1. フォルダペインで、追加、削除、名前の変更、移動をしたいフォルダを参照します。
2. 以下のいずれかの操作を行ってください:
 - フォルダを作成するには、[ファイル]>[新規フォルダ]をクリックします。新規フォルダの名前を入力し、**Enter** キーを押します。
 - フォルダを削除するには、**Ctrl** キーを押しながらフォルダをクリックして、[ゴミ箱に移動]を選択します。
 - フォルダを移動するには、移動するフォルダを選択したら、新しい保存先へドラッグ&ドロップします。
 - フォルダ名を変更するには、フォルダを選択して[編集]>[名前の変更]をクリックします。新規フォルダ名を入力し、[名前の変更]をクリックします。

-  ドライブ、あるいはCD-ROMのような読み取り専用のファイルの名前を変更することはできません。

アイテムをFinderで表示する

ファイルの保存先をFinderで表示することができます。

アイテムをFinderで表示するには:

フォルダペインでCtrlキーを押しながらフォルダをクリックし、**[Finderで表示]**を選択します。

アイテムをよく使う項目として管理する

既定では、ACDSee 写真館 9 は写真、デスクトップ、およびユーザー名を表示しています。

よく使う項目にアイテムを追加するには:

追加するアイテムを[よく使う項目]というタイトル、またはよく使う項目の領域の任意の場所に、ドラッグ&ドロップします。ファイルをドラッグ & ドロップしてアイテムの順番を並び替えることもできます。

よく使う項目からアイテムを削除するには:

よく使う項目からアイテムを削除するには、Ctrlキーを押しながらアイテムをクリックして **よく使う項目から削除**を選択します。



リムーバブルからよく使う項目へアイテムを追加しても、一時的なものとなります。アプリケーションを閉じたとき、またはボリュームを取り出したときに、そのアイテムはよく使う項目から消えます。

画像を含むフォルダを参照するときによく使う項目を使うと便利です。

よく使う項目を参照するには:

1. 管理モードの左ペインで、**[よく使う項目]**をクリックします。写真、デスクトップ、およびお使いのユーザー名が記載されたフォルダが表示されます。
2. [ファイル一覧]ペインに表示するフォルダをクリックします。
3. ファイル一覧ペインで、表示するフォルダを参照します。

クイックルックでファイルを参照する

ACDSeeから直接、クイックルックでファイルを表示できます。これは、画像、PDF、動画などのクイックルックでサポートされているすべてのファイルタイプに有効です。

管理モードからクイックルックでファイルを表示するには:

1つ以上の画像、PDF、または動画ファイルを選択し、**スペースキー**を押します。

複数のファイルを選択した場合は、矢印キーを使用してクイックルックでファイル間を移動します。動画を選択した場合、再生が開始します。

ライブテキスト

macOS 12で導入されたライブテキストは、写真のテキストを完全にインタラクティブにします。写真のテキストには、コピーアンドペースト、ルックアップ、翻訳などの機能がすべて利用できます。ライブテキストは、写真、スクリーンショット、クイックルック、Safariで機能します。クイックルックを使用して、ACDSee 写真館 9のライブテキストを活用しましょう。

Finderでファイルを参照する

Finderから画像を表示および参照することができます。

管理および表示モードからFinderで画像を表示するには:

ファイルを選択し、次のいずれかを実行します。

- Ctrl + クリックして**Finderで表示**を選択します。
- [表示]>[Finderで表示]をクリックします。

カメラからファイルを参照する

お使いのカメラをパソコンへリムーバブルデバイスとして接続すれば、画像を[ファイル一覧]ペインとフォルダペインへ直接ドラッグ & ドロップすることができます。

カメラから画像をドラッグ & ドロップするには:

1. カメラまたはデバイスをコンピュータに接続します。カメラの電源が入っているか、またケーブルがコンピュータと適切に接続されているかを確認します。カメラはフォルダペインで表示され、カメラのコンテンツは[ファイル一覧]ペインに表示されます。
2. [ファイル一覧]ペインの画像を選択し、フォルダへドラッグします。

ナビゲーションアロー(矢)を使って参照する

管理モードの左上にはフォルダ間を参照する際に便利なナビゲーションアローがあります。各ボタンの詳細については、下記の表を参照してください。

 戻る	フォルダペインのフォルダを選択した場合、前に表示したフォルダを表示します。前に参照したファイルがない場合、戻るボタンは無効になっています。 [整理]ペインにあるカテゴリ、重要度、カラーラベル、キーワードまたはその他のアイテムを選択している状態で、[戻る] ボタンをクリックすると、最後に使用した参照条件に戻ります。 注: [戻る] ボタンを押したままにすると、最近表示したフォルダ一覧を表示できます。一覧のいずれかをクリックして、以前の場所に移動します。 コマンドキーでも戻ることができます。
 進む	フォルダペインのフォルダを選択した場合、その次に表示したフォルダを表示します。 [整理]ペインにあるカテゴリ、重要度、カラーラベル、キーワードまたはその他のアイテムを選択している状態で、[進む] ボタンをクリックすると、使用した参照条件の次の条件に進みます。  [進む] ボタンを押したままにすると、最近表示したフォルダ一覧を表示できます。一覧のいずれかをクリックして、以前の場所に移動します。 コマンドキーでも進むことができます。
 上へ(上方向)	フォルダペインで選択されているフォルダの上層に位置するフォルダを表示します。 他には、移動 > 内包しているフォルダを選択しても、フォルダペインで選択されているフォルダの上部フォルダを表示することができます。

スライドショー形式で画像を表示

画像のスライドショーは、管理モードまたは表示モードのいずれかから表示することができます。スライドショーの各画像の表示時間、トランジション効果の適用、リピートおよびシャッフルの設定を実行することができます。

管理モードまたは表示モードからスライドショーを起動するには:

1. 管理モードで、フォルダツリー内のフォルダまたはファイル一覧にあるファイルを選択します。表示モードでは、現在選択されている画像から開始されるフィルムストリップにある画像がスライドショーに表示されます。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [表示] > [スライドショー] をクリックします
 - キーボードショートカットの **Shift-Command-F** キーを使用します。

- ツールバーの再生 ボタンをクリックします

 スライドショーは **Esc** キーを押すいつでも停止します。

カーソルをスクリーンへ移動すれば、次のスライドショーオプションが表示できます:

スライドショー オプション

間隔	トランジションの時間を指定します。
戻る	前の画像へ戻ります。
停止/再生	スライドショーを停止または再生します。
進む	次の画像を表示します。
効果の選択	ドロップダウンリストから、トランジション効果を選択します。
繰り返し	スライドショーを繰り返します。
シャッフル	スライドショーで画像をランダムに表示します。
終了	スライドショーを終了します。

 パフォーマンスを最適化するために、スライドショーは **GPU** を使用します。ご利用のコンピュータに複数のGPUが存在する場合、優先システムのデフォルトGPUが使用されます。

管理モードでの顔の検出

ACDSeeは、あなたがブラウズする際に、ファイル情報とサムネイルを自動的にデータベースに追加します。このプロセスはカタログ化と呼ばれます。あなたが閲覧しているフォルダがカタログ化されたら、ACDSeeはあなたの画像の顔を検出するプロセスを開始します。他のフォルダを開くと、ACDSeeは最初のフォルダの顔の検出を続け、その後のフォルダをキューに入れます。管理モードの右下に検出の進行状況を見ることができます。ACDSeeは、あなたが閲覧したフォルダの顔の検出が完了するまで検出を続けます。

顔の検出:

右下に、検出待ちの画像の数が表示されます。現在スキャン中のファイル名を表示するツールチップを見するためにこの表示にカーソルを合わせることができます。

キューが大きくなりすぎる場合は、右クリックして[待ち行列を消去]をコンテキストメニューから選択するか、[ツール] | [顔の検出] | [待ち行列を消去]を選択して、キューをリセットすることができます。その後、スキャンしたい特定の写真にブラウズすることができます。



表示モードでも写真ごとに顔を検出することができます。顔の検出は、開くごとに各画像の顔をスキャンします。

顔の検出があなたが閲覧したフォルダで実行された後、顔が囲まれたままで表示モードでその画像を開くことができます。表示モードで検出された顔に名前を付けることができます。

顔の検出と認識を有効または無効にする:

[ACDSee 写真館 9 Mac用] | [設定] | [顔の検出]で、[自動的に画像内の顔を検出]チェックボックスをチェックまたはチェック解除します。

表示モードで検出された顔に名前を付けた後、[整理ペイン](#)の人グループを使用して、写真を個人に基づいて検索することができます。[クイック検索バー](#)でも名前で検索することができます。[人物マネージャー](#)を使用して、顔に付けられた名前を管理することができます。

選択された画像から顔の検出と認識を削除する:

管理モードで選択された画像から顔の検出と認識のデータを削除することができます。

1. 管理モードで、1つ以上の画像を選択します。
2. [ツール] | [顔の検出] | [顔を削除]を選択します。

これらの画像は、顔の検出が実行されたとマークされたままになりますが、再検出のコマンドまたは[顔の検出を再実行]を有効にして開発してブラウズすることで再び起動するまで、ACDSeeはこれらの画像をスキャンしません。

選択された画像で顔の認識を再実行する:

手動で名前を付けられていない顔を修正するために、選択された画像または画像で顔の認識を再実行することができます。これは、ACDSeeの顔の認識によって付けられたすべての名前をクリアしますが、手動で入力された名前は残ります。ACDSeeは、手動で入力された名前に基づいて未識別の顔を認識しようとします。

1. 管理モードで、1つ以上の画像を選択します。
2. [ツール] | [顔の検出] | [再認識]を選択します。

顔のデータを埋め込み、取得、インポートする:

顔の検出の機能とのあらゆるインタラクションは、「顔データ」を作成します。これらのデータはデータベースに追加され、そのために埋め込み保留中アイコンを引き起こします。顔データは、他のACDSeeメタデータと同様に、あなたの画像のXMPファイルに埋め込まれます。この顔データを埋め込むことで、それを共有、復元、または新しいデータベースに提供することができます。

顔データを埋め込む:

埋め込みACDSeeメタデータダイアログを使用して、顔データを埋め込むことができます。[ファイルにACDSeeメタデータを埋め込む](#)を参照してください。

ファイルに埋め込まれた顔データを取得する:

次のいずれかを行います。

- 「ツール」→「顔検出」→「ACDSeeの顔データをインポート」を選択します。
- 「ツール」→「フォルダをカタログ化」を選択して、「カタログ」を押します。

LightroomやPicasaから埋め込み顔データをインポートする方法

1. 管理モードで、他のアプリケーションで埋め込み顔データを持つ画像を選択します。
2. 「ツール」→「顔検出」→「LightroomやPicasaの顔データをインポート」を選択します。
3. 警告ダイアログが表示され、既存の顔データを上書きして、別のプログラムの顔データをファイルに追加しますか? 「OK」を選択してください。
4. 顔データがインポートされ、顔データがデータベースに追加されます。

参照:

- ❖ [表示モードでの顔検出と認識](#)
- ❖ [人物マネージャによる割り当てられた名前の管理](#)
- ❖ [「整理」ペインを使用した整理](#)
- ❖ [クイック検索バーを使用](#)

表示を変更する

[ファイル一覧]ペインでは、サムネイルのプレビュー、一覧表示を含む、様々な表示モードでファイルを表示することができます。

すばやく表示を変更するには:

[ファイル一覧]ペインの下方にある一覧表示  またはサムネイル表示  ボタンをクリックします。

メニューから表示を変更するには:

1. [管理] モードで [表示] をクリックします。
2. 下の表で解説されているオプションの1つを選択します。

表示 オプション

サムネイル表示	[ファイル一覧]ペインにあるすべての画像とメディアファイルのサムネイルを表示します。 サムネイルの外観をカスタマイズ したり、サムネイルと一緒に表示される情報を指定することができます。
リスト表示	ファイル名とファイル拡張子の一覧を表示します。
フィルムストリップとして	[ファイルリスト]ペインのすぐ下にあるスクロール可能なフィルムストリップに、すべての画像ファイルとメディアファイルのサムネイルプレビューを表示します。

ファイルにフィルタを適用する

フィルタの条件オプションを使用して、[ファイル一覧]ペインに表示されるファイルの種類を設定することができます。

[ファイル一覧]ペインのフィルタを設定するには:

以下のいずれかの操作を行ってください:

- [表示]>[フィルタの条件]をクリックし、フィルタオプションを選択します。
- [フィルタ] ドロップダウンをクリックし、フィルタオプションを選択します。



サムネイルがすべて隠れてしまった場合には、[フィルタ] から[すべて]を選択すると再表示されます。

カスタムフィルタを作成するには:

1. 以下のいずれかの操作を行ってください:

- [表示]>[フィルタの条件]> フィルタオプションの設定...をクリックします。
- [フィルタ]ドロップダウンをクリックし、フィルタオプションの設定...を選択します。

2. [フィルタ適用の条件]を選択します。

3. 以下のいずれかのオプションを選択またはクリアすると、[ファイル一覧]ペインに選択されたファイルの種類が表示 / 非表示されます。

- 画像ファイルの表示
- 動画ファイルを表示
- フォルダの表示
- バンドル内を閲覧:アプリケーションのコンテンツを参照することができます。
- [XMP ファイルを表示する]を選択して、RAWフォーマット用に作成するXMPサイドカーファイルを表示します。
- [THM ファイルを表示する]を選択して、サムネイルファイルを表示します。

フィルタのキーボードショートカットを作成できます。以下を参照してください。"キーボードショートカットタブ" on page 173.

フルスクリーンで画像を表示する

フルスクリーン機能を使って画像をモニタ全体に表示します。

フルスクリーンで表示するには

以下のいずれかの操作を行います:

- フルスクリーンボタンをクリックします(表示モードのみ)。
- **[表示]>[フルスクリーン]**を選択します。
- **Option—Command—F**キーを押して画像をフルスクリーンで表示します。

 フルスクリーンモードで画像を表示している間、キーボードショートカットのバックスラッシュ(\)を使用して、後の作業のために画像にタグ付けすることができます。

フルスクリーンでは次の操作が可能です:

- **Command—+** キーを押して画像を拡大します。
- **Command—-** キーを押して画像を縮小します。
- **Esc**を押して、フルスクリーンを終了します。
- マウスや矢印キーで画像を1つ1つスクロールします。

 管理または表示モードでも フルスクリーン設定 を設定することができます。

複数の画像を回転/反転する

複数の画像をプリセットの角度で回転/反転することができます。

画像を回転 / 反転するには:

1. 管理モードで画像を1つ以上選択します。
2. **[編集]**をクリックして、次の表にあるオプションを選択します。

回転/反転オプション

左に回転	選択された画像を左へ回転します。他にも Control-L のショートカットキーを使ったり、[左に回転] ボタンをクリックすることもできます。 
右に回転	選択された画像を右へ回転します。他にも Control-R のショートカットキーを使ったり、[右に回転] ボタンをクリックすることもできます。 
左右反転	画像を水平方向に反転します。ショートカットキー Control-H を使用することもできます。
上下反転	画像を垂直方向に反転します。ショートカットキー Control-V を使用することもできます。

画像を比較する

「画像の比較」機能を使用して、複数の画像を比較することができます。このツールは、選択した画像の類似する点と異なる点の両方をハイライトするのに役立ちます。

画像を比較するには:

1. [ファイル一覧]ペインから、比較する複数の画像を選択します。
2. [ツール]から[画像の比較]をクリックするか、[ファイル一覧]ツールバーの[画像の比較]ボタンを押します。 [画像比較ビューア]には最大4画像まで表示することができます。
3. 表示する画像を変更するには、次の1つ以上を実行します。ul>
 - 比較リストの画像を右クリックし、[画像比較ビューアで表示]をクリックします(選択された画像は淡い色のボックスで表示されます)。
 - 比較一覧から、[画像比較ビューア]のボックスに画像を直接ドラッグします。
4. 閉じるをクリックします。

画像の比較ツールバー

	拡大	選択された画像を拡大します。
	縮小	選択された画像を縮小します。
	ズームメニュー	ズーム オプションのメニューを開きます。次のオプションから選択してください。 • 実際のサイズ:オリジナルのサイズで画像を表示します。 • 画面に合わせて表示:画像比較ビューアに収まる最大サイズで画像を表示します。 • 幅に合わせて表示:画像比較ビューアの幅に合わせて画像を表示します。 • 高さに合わせて表示:画像比較ビューアの高さに合わせて画像を表示します。 • ズーム固定:現在の画像のズーム オプションをすべての画像に適用して表示します。ズームが調整されると、表示されるすべての画像にそのズーム レベルが適用されます。 • 倍率指定:ズーム オプションを選択することができるダイアログボックスが開かれます。
	パンの固定	画像を特定の領域にズーム / パンする際、画像比較ビューアですべての画像の同一領域を表示するように、画像のパンした領域を固定します。
	1 画像	画像比較ビューアに 1 つの画像を表示します。
	2 画像	画像比較ビューアに 2 つの画像を表示します。
	3 画像	画像比較ビューアに 3 つの画像を表示します。
	4 画像	画像比較ビューアに 4 つの画像を表示します。

画像 ツールバー

画像の比較ツールに表示される各画像の下には、ツールバーが設定されています。このツールバーを使用して、各画像を調整することができます。

	拡大	画像を拡大します。
	縮小	画像を縮小します。
	削除	画像をゴミ箱に移動します。

他のアプリケーションでファイルを開く

別のアプリケーションでファイルを開くには:

以下のいずれかの操作を行います。

- **Ctrl**を押しながらファイルをクリックして、**次のアプリケーションで開く**を選択し、プログラム一覧から該当するアプリケーションを選択します。
- [ファイル一覧]ペインの画像を選択し、**Dock**にあるアプリケーションヘドラッグします。

ファイルを選択する

[ファイル一覧]ペインにて、[すべてを選択] および[選択をクリア]を使用して一度にすばやくファイルやフォルダを全選択したり、全選択解除できます。

現行フォルダ内にあるすべてのファイルとサブフォルダを選択するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- **Command—A**キーを押します。
- 管理モードで、[編集] > [すべてを選択]をクリックします。
- [ファイル一覧]ペインの上部にある選択メニューをクリックします。

現行フォルダ内にあるすべてのファイルとサブフォルダの選択を解除するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- [ファイル一覧]ペインの背景をクリックします。
- **Shift—Command—A**キーを押します。

画像バスケットに画像を集める

画像バスケットを使うと、さまざまな場所やフォルダにある画像やメディアファイルを集めて維持することができます。画像バスケットにアイテムを入れると、それらのファイルの編集、共有、表示に ACDSee 写真館 Mac用のツールや機能を使用できるようになります。

画像バスケットを使用するには:

画像バスケットを開くには、管理モードから[表示] > [画像バスケット]をクリックするか、**Ctrl+Shift+B**を押します。

画像バスケットに画像を追加するには:

以下のいずれかの操作を行ってください:

- 管理モードの[ファイル一覧]ペインで追加したいファイルを選択します。アイテムを画像バスケットにドラッグします。
- 管理モードで、追加したいファイルを選択します。**[編集]>[バスケットに追加]**をクリックします。
- 管理モードで、追加したいファイルを選択します。**Control—B**を押します。
- 管理モードで、選択したアイテムを右クリックし、**[バスケットに追加]**を選択します。
- 表示モードで、画像を右クリックし、コンテキストメニューから**[バスケットに追加]**を選択します。
- 管理モードで、**[編集]>[バスケットに追加]**をクリックします。
- 表示モードで、**Control—B**を押します。

画像バスケットから画像を削除するには:

1つまたは複数のファイルを削除するには、対象ファイルを右クリックして**[バスケットより削除]**を選択します。または、画像を選択して**[削除]**を押します。

すべてのファイルを削除するには、画像バスケットを右クリックして、**[バスケットを空にする]**を選択するか、**[バスケットを空にする]**ボタンを押します。

外部エディタを設定する

多数の画像エディタの中から、ACDSee 写真館 Mac用デフォルトの画像エディタを指定することが ACDSee 写真館 Mac用できます。次に、ACDSee内から、外部の編集用アプリケーションを使って画像を開くことができます。

ACDSeeで外部エディタを設定するには:

1. 管理モードで、**[ツール]>[外部エディタ]>[エディタの設定]**の順にクリックします。
2. **[写真エディタの設定]**ダイアログボックスにある**[追加]**ボタンをクリックします。
3. ハードディスク上で、画像編集アプリケーションが格納されているフォルダを参照します。
4. 編集アプリケーションを選択します。
5. **[開く]**をクリックします。
6. **[名前]**フィールドに、エディタの名前を入力します。

 この機能は「外部エディタ」と呼ばれていますが、メールを含め、あらゆる種類のアプリを外部エディタとして設定できます。**メール**を外部エディタとして選択すると、写真が添付された新しいメッセージを簡単に用意し送信できます。

画像エディタを管理するには:

1. **[写真エディタの設定]**ダイアログボックスの**[エディタ]**一覧から、変更したいアプリケーションを選択します。

2. 次のいずれかを実行します:

- エディタの一覧に表示されているアプリケーションの保存先、またはアプリケーション名を変更するには、**[編集]**をクリックします。アプリケーションの場所と名前を設定します。
- ACDSeeのデフォルトの外部エディタとしてアプリケーションを設定するには、**[デフォルトに設定]**をクリックします。
- アプリケーションが一度に複数の画像をサポートするかどうかの設定は、**[複数画像のサポート]**チェックボックスをオンまたはオフにします。
- 一覧からアプリケーションを削除するには、**[削除]**をクリックします。

3. ACDSeeに戻ります。

外部の画像エディタで画像を開くには:

1. 管理モードまたは表示モード内で、外部エディタで開きたい画像を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行ってください:
 - **[ツール]>[外部エディタ]>[デフォルトの外部エディタ]**の順にクリックするか、エディタの名前を指定します。
 - **[ファイル一覧]**ツールバーで、**[外部エディタ]**ボタンをクリックし、**[デフォルトの外部エディタ]**を選択するか、ドロップダウンメニューからエディタの名前を選択します。あるいは**Control-Option-K**キーを押します。

インポート

ACDSee 写真館 9でファイルをインポートする

カメラまたはデバイスからファイルをインポートするには:

1. 管理モードで、インポートボタンをクリックし、**[デバイスの名前]**を選択します。
2. 複数のカメラまたは大容量記憶装置が接続されている場合は、ポップアップメニューからデバイスを選択します。
3. 下の表にあるオプションから選択します。
4. 選択したあと、**チェック項目をインポート**をクリックして選択したファイルをインポートします。

サムネイルペインオプション

選択	[選択] をクリックしてこれからインポートする大容量記憶装置のフォルダを選択します。
すべて選択	[すべて選択] をクリックしてすべてのサムネイルを選択します。
すべて選択を解除	[すべて選択を解除] をクリックしてすべてのサムネイルの選択を解除します。
サムネイル拡大	プレビューペインのスライダーを使って、サムネイル表示を拡大したり縮小したりできます。

インポートオプション

インポート先	ポップアップリストからインポートするファイルの保存先を選択します。
サブフォルダ内に保存	日付入りのサブフォルダを選択し、その中にファイルを保存するには、このオプションを選択します。データ形式を選択します。
既存ファイルの置き換え	このオプションを選択すると、選択したフォルダ内の既存のファイルへ上書きします。
一括プリセットを実行	このオプションを選択すると、ファイルをインポート後、自動で一括プリセットを実行します。ドロップダウンリストからプリセットを選択します。
名前の変更	このオプションを選択すると、インポートしたファイル名を変更できます。名前のフィールドにトークンをドラッグし、希望の順番に調整します。プレビューが下に表示されます。



[ファイル]>[インポート] をクリックして、管理モードからファイルをインポートします。

携帯電話

ACDSee Mobile Sync を使用してモバイルデバイスからACDSee に画像を送信する

ACDSee Mobile Sync アプリを使って、モバイルデバイスからMacのACDSee写真館に写真やビデオを直接送信できます。この無料アプリは、iOSの場合はApple App Storeで、Androidの場合はGoogle Playストアで入手できます。



ACDSee Mobile Sync は、送信 写真を追跡し、ACDSee 写真館 9 カラーボーダーにより、新規アイテムと未送信アイテムを区別します。

管理 モードで、フォルダ ペイン の ACDSee Mobile Sync ノード アイコンをクリックすると、ACDSee 写真館 9 に送信した画像にアクセスできます。

はじめに

アプリをダウンロードするには、次のことができます。

- iOS の場合は、[Apple App Store](#) でダウンロードできます。App Store の検索 バーに「**ACDSee Mobile Sync**」と入力します。
- Android の場合は [Google Play ストア](#) でダウンロードできます。Play ストアの検索 バーに「**ACDSee Mobile Sync**」と入力します。

お使いのデバイスで ACDSee Mobile Sync アプリのインストールが完了したら、アプリを開きます。表示される指示に従って、アプリに写真へのアクセスを許可し、ターゲット(Mac上のACDSee)を割り当てます。アプリがターゲットを見つけられない場合は、Macにあるクイックレスポンス(QR) コードをスキャンできます。

QRコードを開くには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [ツール]、[**ACDSee Mobile Syncの詳細を表示...**]を開きます
 - メニューバーでACDSee アプリアイコンをクリックし、[**ACDSee Mobile Syncの詳細を表示...**]を選択します。
2. 次に、モバイルデバイスのカメラを使用してQRコードをスキャンし、ACDSeeソフトウェアをターゲットとして追加します。
3. QRコードをスキャンできない場合は、ホスト名 またはIPアドレスを使用してACDSeeソフトウェアをターゲットとして追加することもできます。

ホスト名 またはIPアドレスを使用してACDSeeソフトウェアをターゲットとして追加するには:

1. Mac と同じWiFiネットワーク上にいることを確認してください。
2. Mobile SyncアプリのQRスキャナーページで、[**QRコードなしで追加**]を選択します。



イントロをスキップした場合、または他のターゲットを追加したい場合は、[設定]に移動して[**ターゲットの追加**]を選択すると、スキャナーページを再度開くことができます。

3. ホスト名 またはIPアドレスを入力し、ポートを入力します。この情報は、Macで[**ACDSee Mobile Syncの詳細を表示**]を選択すると、QRコードの上に表示されます。
4. ターゲットの名前が表示されます。[**このターゲットを追加**]を選択します。
5. これにより、ACDSeeソフトウェアがターゲットとして追加され、写真やビデオを送信できるようになります。

 ACDSee Mobile Sync を使って写真やビデオを送信するには、ACDSee 写真館 9を実行している Mac と同じ WiFi ネットワークに接続する必要があります。

画像とビデオを送信する

ACDSee Mobile Sync アプリからACDSeeに画像や動画を送信することができます。ACDSee Mobile Sync は、送信済みアイテムを追跡し、送信したアイテムが受領された時点で、ACDSee 写真館 9右上に表示されるポップアップがアイテムが受領されたことを通知します。管理モードで、フォルダペインの ACDSee Mobile Sync ノードアイコンをクリックすると、受信済みファイルを確認できます。

すべての新しいアイテムを送信するには、[送信]ボタンを押します。[送信]ボタンを押し続けると、選択した写真とビデオがデフォルトのターゲットに送信されます。

特定のアイテムを送信するには、そのアイテムを選択して[送信]ボタンを押します。

 アプリ内のコンテキストメニューでさらに特殊な選択オプションを使用できます。

 ハードドライブ上の ACDSee Mobile Sync フォルダの位置をカスタマイズできます。[「ACDSee Mobile Sync オプションを設定する」](#)を参照してください。

モバイル同期のトラブルシューティング

Mobile Syncを使用するためのデバイスの接続に問題がある場合は、[ACDSee Mobile Sync Webページ](#)のトラブルシューティングガイドを確認してください。

整理する

ACDSee 写真館 9 でファイルを整理、管理する

参照および表示機能のほかに、ACDSee 写真館 9 には、画像やメディアファイルの整理や並べ替えに便利な管理ツールが搭載されています。管理ツールには、複数のファイルを同時に変更や調整ができる一括処理ツール、カテゴリ、キーワード、カラーラベル、重要度、大切な画像情報を保有するデータベースなどが含まれます。

ACDSee 写真館 9 はファイルのプロパティと画像情報をアクセスしやすい[プロパティ]ペインに表示し、メタデータとデータベースの内容を含むファイル情報を直接追加、編集することができます。

 [プロパティ]ペインが表示されていない場合、[表示]>[プロパティ]ペインをクリックして開きます。

[整理]ペインを使用する

[整理]ペインは ACDSee 写真館 9 の中で最も便利なペインの1つで、ファイルの整理、検索や管理に必要なツールを数多く搭載しています。

[整理]ペインが表示されていない場合、[表示]>[整理]ペインをクリックして開きます。

すばやくファイルを見つけたいときは、[整理]ペインを利用しましょう。該当のカテゴリや重要度をクリックすると、それが割り当てられているファイルすべてを見ることができます。例えば、[整理]ペインのカテゴリにある**アルバム**をクリックすると、[アルバム]というカテゴリを割り当てられた画像がすべて[ファイル一覧]ペインに表示されます。[ファイル一覧]ペインにそれまで表示されていた一覧に戻る場合は、戻るボタンまたはフォルダペインのフォルダをクリックします。[整理]ペインにある**イメージ Jewel**を選択すると、データベースにあるカタログ化された画像がACDSee 写真館 9 表示されます。

整理ペインを使用して、カテゴリ、キーワード、ラベル、または重要度を割り当てることもできます。カテゴリとキーワードの場合は、選択したファイルを選択してから、整理ペインでファイルを追加するカテゴリまたはキーワードのボックスにチェックを入れることができます。選択したファイルを整理ペインのカテゴリまたはキーワードにドラッグアンドドロップすることもできます。このドラッグアンドドロップ方法は、ラベルと重要度にも使えます。

カテゴリ

カテゴリは、ユーザーが覚えやすい、わかりやすい形でファイルを整理するためのものです。ファイルにカテゴリを適用しても、そのファイルがフォルダから移動されたり、コピーが作成されることはありません。カテゴリはユーザーの希望にあわせてシンプルあるいは複雑に設定することができ、カテゴリの名前もユーザーが指定することができます。[ファイル一覧]ペインでファイルを選択して、割り当てたいカテゴリまでそのファイルをドラッグします。ファイルがカテゴリに分類されると、カテゴリ別に検索および並べ替えができます。カテゴリが割り当てられているファイルには、ファイル一覧のサムネイル上に  というアイコンが表示されます。カテゴリセットと呼ばれる関連カテゴリのグループを作成することもできます。カテゴリをイベントまたは関心のある領域に分割して、ワークフローを合理化することができます。[カテゴリを管理する](#) および [カテゴリと重要度を設定する](#) を参照してください。



- 既定のカテゴリを Ctrl + クリックして、カテゴリを作成および削除、または名前を変更することができます。
- [プロパティ]ペインのカテゴリを使って複数のファイルに複数のカテゴリを割り当てることもかんたんです。

人物

画像内で保存した人物の名前は、[整理]ペイン内で表示されます。ここでは、1人以上の人物をクリックすることで、選択した人物に関連する画像を表示できます。

重要度

該当の重要度をクリックすると、その重要度が割り当てられているファイルすべてを見ることができます。画像やファイルを[整理]ペインにある重要度に直接ドラッグすれば、1 から5 までの重要度を適用することができます。ファイルに複数の重要度を適用することはできませんのでご注意ください。重要度が適用されているファイルには、ファイル一覧のサムネイル上にその数字が表示されます。[カテゴリと重要度を設定する](#)を参照してください。

カラーラベル

該当のカラーラベルをクリックすると、それが割り当てられているファイルすべてを見ることができます。ラベルセットを作成したら、[整理]ペインにあるラベルに直接ファイルをドラッグして、ラベルを割り当てます。ファイルに複数のラベルを適用することはできませんのでご注意ください。ラベルが付いたファイルには、ファイル一覧のサムネイル上にそのカラーラベルが表示されます。ターコイズ色のラベルは、現在選択しているラベルセット以外のラベルが付いている、という意味です。[カラーラベルを割り当てる](#)を参照してください。



カテゴリ、ラベル、重要度を解除するには、**Command + クリック**を使います。

キーワード

キーワードはファイルを効率的に整理する方法の一つです。階層構造を利用してスマートに整理できます。右クリックのコンテキストメニューを使用してキーワードを管理するためのグループを使用できます。イメージをキーワードに直接ドラッグしてキーワードを付けます。関連付けを保持する関連キーワードのグループを作成することもできます。これらはキーワードセットと呼ばれます。キーワードの詳細については、[階層キーワードの作成と割り当て](#)を参照してください。

保存済み検索

今後の時間を節約するために、複雑な検索条件を保存できます。これらは、[整理]ペインの[保存済み検索条件]グループに保持されます。この領域では、再実行する検索を選択したり、不要な検索条件を削除したりすることができます。[保存済み検索条件]領域を使用して、保存済み検索を新規作成することもできます。これは、スマートフォルダのように機能し、いつでもクリックして特定のファイルの組み合わせを一度にすべて表示することができます。[検索の保存](#)を参照してください。

スペシャルアイテム

スペシャルアイテムを使用して、データベース内の全画像、カテゴリなしの画像などを素早く表示することができます。次のいずれかを選択します。

- **イメージ ウェル:** データベースにカタログ化されているすべての画像を ACDSee 写真館 9 表示します。画像コレクションが非常に大きい場合、すべての情報を収集するのに数分かかることがあります。

- **埋め込み保留中:** データベースのデータが変更され、まだファイルに情報が埋め込まれていないすべてのファイルが表示されます。
- **カテゴリなし:** データベース内にカタログ化されたファイルで、カテゴリに分類されていないものが表示されます。
- **キーワードなし:** データベース内にカタログ化された画像で、ACDSeeキーワードが割り当てられていないものを表示します。
- **自動名付けされた顔:** 自動的に顔に割り当てられたデータベース内の画像が表示されます。
- **提案された名前:** 前の名前付けに基づいて名前の提案が行われたデータベース内の画像が表示されます。
- **タグ:** コンピュータ上に格納されているファイルで、タグの付けられているすべてのファイルが表示されます。
- **ビデオ:** ACDSeeデータベース内でカタログ化されたすべてのビデオを表示します。ACDSeeでサポートされているビデオフォーマットを検索します。ファイルコレクションが非常に大きい場合、すべての情報を収集するのに数分かかることがあります。

カレンダー

EXIF情報の付いた画像はカレンダーペインにあるカレンダーの日付で管理されます。画像に関連付けられた日付を使って、画像やメディアファイルを管理したり参照することができます。日付は年、月、日の順でリストされて、最新の日付が上に表示されます。年および月はそれぞれ展開したり閉じたりできます。

カレンダーの日付をクリックすると、[ファイル一覧]ペインにリストされたこの日付に関係したファイルを見ることができます。日付や重要度、カテゴリの組み合わせを **Command +** クリックすると、組み合わせった結果が表示されます。

その ACDSee 写真館 9 データベース

ファイルに重要度やカテゴリを設定すると、この情報は ACDSee 写真館 9 データベースに保存されます。データベースでは、情報は特定のファイルと常に関連付けられています。[\[プロパティ\]ペインを使用](#)して、キャプションやキーワードなどを ACDSee 写真館 9 データベースに追加することも可能です。時間をかけてカテゴリやキーワード、注記などを適用すると、ファイルの検索や整理が楽になります。

イージーセレクト インジケータ

イージーセレクトインジケータは、[フォルダ]ペインと[整理]ペインの左側にある矢印です。イージーセレクトインジケータを使用して複数のフォルダを選択し、[ファイル一覧]ペインにそれらの内容を表示することができます。[整理]ペインでは、イージーセレクトインジケータを使用して、カテゴリ、重要度、カラーラベルの組み合わせを選択することもできます。例えば、重要度1の付けられている画像で[人物]カテゴリが適用されているすべての画像など、ユーザーの希望する組み合わせで表示することができます。

イージーセレクトインジケータを使用するには:

フォルダペインまたは[整理]ペインで、表示したい各項目の左にあるインジケータを選択します。選択されるとインジケータの方向が変わりますので、項目を確認することができます。■

カテゴリや重要度、またそれらのコンビネーションを選択し、条件に一致するファイルがない場合、空白のサムネイルと共にファイル一覧にメッセージが表示されます。ファイルを含んだフォルダに素早く戻るには、[戻る]をクリックします。

カテゴリを管理する

「整理」ペインと「プロパティ」ペインを使ってカテゴリを新しく作成、カテゴリ名を変更、削除、移動することができます。

「整理」ペインでカテゴリを作成して管理するには:

「整理」ペインで、以下のいずれかを実行します。

- カテゴリを作成するには、Ctrl + クリックして **新規 カテゴリ**を選択します。新規 カテゴリ名を入力しEnterキーを押します。
- カテゴリを別の場所に移動するには、カテゴリをクリックして新規の場所にドラッグします。
- カテゴリを編集するには、Ctrl + クリックして **カテゴリの編集**を選択します。カテゴリ名を編集します。
- カテゴリを削除するには、control + クリックして **削除**を選択します。
- サブカテゴリを作成するには、リストからトップ階層(または親となる)カテゴリを選択します。Ctrl + クリックして、**新規 サブカテゴリ**を選択したらサブカテゴリ名を入力します。

カテゴリの検索フィルターオプション

カテゴリの検索は、2つの異なる方法でフィルターすることができます:「で始まる」、「一致する内部のすべてのカテゴリを表示」:

- **で始まる:** 検索語句で始まるカテゴリを返します。
- **一致する内部のすべてのカテゴリを表示:** 検索語句に一致するカテゴリの全サブカテゴリを表示します。

 2つのフィルターオプションを同時に有効にして、複数のフィルターを同時に適用することができます。

カテゴリを「プロパティ」ペインで作成、管理するには:

「プロパティ」ペインで、次のいずれかの操作を行います。

- カテゴリを作成するには、カテゴリヘッダをクリックしたら ボタンをクリックし、カテゴリ名を入力します。
- サブカテゴリを作成するには、一覧からトップ階層を選択します。 ボタンをクリックして、サブカテゴリの名前を入力します。
- カテゴリを別の場所に移動するには、カテゴリをクリックして新規の場所にドラッグします。
- カテゴリを編集するには、カテゴリ名をダブルクリックします。**Return**キーを押して変更を適用します。
- カテゴリを削除するには、そのカテゴリを選択して ボタンをクリックします。

カテゴリセットを作成する

カテゴリセットと呼ばれる関連カテゴリのグループを作成することができます。カテゴリをイベントまたは関心のある領域に分割して、ワークフローを合理化することができます。

カテゴリセットを作成するには：

1. 「整理」ペインの上部にある「カテゴリセット」グループで、「カテゴリ設定」ボタン をクリックし、ドロップダウンメニューから「新しいカテゴリセット」を選択します。
2. 関連するカテゴリを入力フィールドに入力します。サブカテゴリには、A|B|Cのようにパイプキーを使用するか、子<親のように使用します。
3. 「保存」ボタンをクリックします。

カテゴリセットからカテゴリを割り当てるには：

1つ以上のファイルを選択してカテゴリセットのボタンをクリックします。そのカテゴリが選択したファイルに割り当てられます。現在選択されているファイルに割り当てられているカテゴリはボタンテキスト色が変わり、現在選択されているファイルの一部(すべてではない)にのみ割り当てられている場合は斜体で表示されます。

カテゴリセットを管理するには：

- カテゴリセットを切り替えるには、「カテゴリ設定」ボタンをクリックし、ドロップダウンメニューから目的のカテゴリセットを選択します。
- 選択したカテゴリセットを編集するには、「カテゴリ設定」ボタンをクリックして、「カテゴリセット」の編集を選択します。
- 選択したカテゴリセットの名前を変更するには、「カテゴリ設定」ボタンをクリックし、「カテゴリセット」の名前変更を選択します。

- 選択したカテゴリセットを削除するには、「カテゴリ設定」ボタンをクリックして、「**カテゴリセット**」の削除を選択します。

カテゴリと重要度を設定する

ファイルを移動したり、コピーを作成することなく、ファイルに重要度やカテゴリを適用することが可能です。



[管理] モードで [プロパティ] ペインまたは [整理] ペインが表示されていない場合は、[表示] から [プロパティ] または [表示] から [整理] を選択します。



カテゴリの作成の仕方については、[カテゴリを管理する](#)のページを参照してください。

[整理] ペインで カテゴリと重要度を設定 および検索 する

[整理] ペインでは、カテゴリと重要度を適用したり、それらを元に検索することができます。

[整理] ペインでファイルにカテゴリと重要度を設定するには:

1. 管理 モードで次のいずれかの操作を行います:
 - ファイルを選択し、ファイルを追加 するカテゴリのチェックボックスをオンにします。

 - 選択したファイルを、整理 ペインのカテゴリまたは重要度 のところにドラッグします。
2. [表示] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - [編集] から [カテゴリ] をクリックして、ファイルに設定 したいカテゴリをクリックします。
 - [編集] から [重要度] をクリックして、ファイルに設定 したい重要度 をクリックします。

[整理] ペインでカテゴリまたは重要度から検索するには:

カテゴリの名前、または重要度の数字をクリックするだけで、適用 されているすべてのファイルがファイル一覧 に表示 されます。

[プロパティ] ペインでカテゴリと重要度を設定 する

[プロパティ] ペインからもカテゴリと重要度を設定 する方法が用意 されています。

[プロパティ] ペインでファイルに重要度を設定 するには:

1. [ファイル一覧] ペインでカテゴリを設定 したいファイルを選択 します。
2. [プロパティ] ペインで、**ACDSee メタデータ**タブを選択 します。

3. 重要度を選択します。

[プロパティ]ペインでファイルにカテゴリを設定するには:

1. [ファイル一覧]ペインでカテゴリを設定したいファイルを選択します。
2. [プロパティ]ペインで、**ACDSee メタデータ**タブを選択します。
3. カテゴリリストから1つ以上の画像を選択します。

ファイルからカテゴリや重要度を削除する

元のファイルを移動したり削除したり、同じカテゴリや重要度が割り当てられた他のファイルを変更することなく、カテゴリまたは重要度からファイルを削除することができます。

ファイルからカテゴリや重要度を削除するには:

1. [ファイル一覧]ペインでカテゴリ、または重要度を削除したいファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ファイルを、[整理]ペインの[重要度なし]にドラッグします。
 - [整理]または[プロパティ]ペインのカテゴリを選択解除します。
 - [プロパティ]ペインの重要度右横のxをクリックします。

カラーラベルを割り当てる

カラーラベルを使用すると、画像を色分けして、どのような処理をするべきかが一目でわかるようになります。ワークフローの段階別に、異なる色を使い分けてください。例えば、写真をチェックしている際に、アップロード、印刷、却下、再チェック、シャープネスをかける等、これからすべき処理を色で分類します。ファイルにカラーラベルを適用した後は、[整理]ペインでその色のラベルをクイックするだけで素早くそのラベルの画像をすべて表示します。

カラーラベルを[フィルタ]メニューと組み合わせて使用して、画像一覧を絞り込むこともできます。カラーラベルはタグ付けやカテゴリ、重要度などと同様に、写真を別のフォルダに移動することなく整理、グループ化することができます。



[管理] モードで [プロパティ]ペインまたは [整理]ペインが表示されていない場合は、[表示]から [プロパティ]または[表示]から[整理]を選択します。

カラーラベル セットを作成する

ラベルセットを作成することにより、指定のラベルの選択、割り当てが素早く行えます。ラベルセットが利用できると、ワークフローに対応した適切なラベルを画像に割り当てることができます。

カラーラベル セットを作成するには:

1. [整理]ペインで、[ラベル設定]ボタンをクリックし、**[新しいラベルセット]**を選択します。
2. 新しいラベルセットの名前を入力します。
3. ラベルの名前を入力します。

 作成したカラーラベルセットは [整理] ペインでラベル設定ボタンをクリックし、ドロップダウンリストから選択できます。カラーラベルを割り当てる前に、正しいラベルセットを選択していることをご確認ください。

 ターコイズ色のラベルは現在のラベルセット以外のラベルの付いたファイルという意味です。

カラーラベルを割り当てる

次の場所からカラーラベルを割り当てるができます:

- [整理]ペイン
- [プロパティ]ペイン
- 管理および表示モードの編集メニュー
- コンテキストメニュー
- キーボードショートカット
- 画像を選択し、「整理」パネル内の色ラベルをクリックする

 ACDSee 写真館 9 は、XMP を使用して ACDSee メタデータを各ファイルに埋め込みます。XMP に対応しているのは一部のフォーマット、拡張子のみです。GIF、JPEG、DNG、PNG、TIF は対応しています。これらのファイルフォーマットの場合、ACDSee メタデータはファイル内部に埋め込まれますので、名前を変更したり、ファイルを ACDSee 写真館 9 の外へ移動しても ACDSee メタデータは抽出可能です。現時点で XMP をサポートしていない RAW、PSD、ABR の場合、ACDSee メタデータは、サイドカーファイルに書き込まれ、同じフォルダに保存されます。

[整理] ペインでファイルにカラーラベルを割り当てるには:

[管理] モードで、選択したファイルを、[整理] ペインのカラーラベルにドラッグします。

 ラベルセットを作成すると、「整理」パネル内の「ラベル設定」ボタンをクリックし、ドロップダウンリストから選択することで、それらをアクセスできます。色ラベルを割り当てる前に、意図したラベルセットがアクティブであることを確認してください。

[プロパティ]ペインでファイルにカラーラベルを割り当てるには:

1. [ファイル一覧]ペインでカラーラベルを割り当てるファイルを選択します。
2. [プロパティ]ペインのドロップダウンメニューから ACDSee メタデータを選択します。

3. ラベルのドロップダウンメニューからラベルを選択します。

管理および表示モードの編集メニューでカラーラベルを割り当てるには:

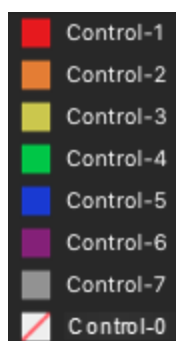
- [編集]から[ラベル]をクリックしてラベルを選択します。

コンテキストメニューでカラーラベルを割り当てるには:

- ファイルをCtrl + クリックし、[ラベル]をクリックしてラベル名を選択します。

キーボードショートカットを使用してカラーラベルを割り当てるには:

- キーボードショートカットで7つのカラーラベルを割り当てることができます。Ctrl + 0 でラベルをクリアします (Ctrl の代わりに Cmd を使う以外は、重要度のショートカットと同じです)。



ラベルが割り当てられた画像を検索する

データベース内でラベルが割り当てられた画像をすべて検索するには:

- [整理]ペイン内のカラーラベルをクリックし、[ファイル一覧]ペイン内で該当するファイルを表示します。
- クイック検索を使用します。



Commandを押しながら[整理]ペイン内のカラーラベルを1つ以上クリックし、[ファイル一覧]ペイン内で該当するラベルをすべて表示します。



[フィルタ]メニューのオプションを使用すると、参照しているフォルダ内で、すべてのカラーラベル付き画像または特定の色に割り当てられた画像を見つけることができます。

カラーラベルとカラーラベルセットを削除する

ファイルからカラーラベルを削除するには:

1. [ファイル一覧]ペインでカラーラベルを削除したいファイルを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行ってください:
 - 選択したファイルをCtrl + クリックして、[ラベル]>[ラベルなし]をクリックします。
 - 選択したファイルを[整理]ペイン内の [ラベルなし] にドラッグします。

ラベルセットを削除するには:

1. [整理]ペインで、[ラベルセット] ボタンをクリックし、[ラベルセットの編集]を選択します。
2. [ラベルセット] ドロップダウンリストから削除したいラベルを選択します。
3. 削除 ボタン(-)をクリックします。

[プロパティ]ペインを使用する

[プロパティ]ペインには選択したファイルのメタデータが表示されます。メタデータには、カメラ撮影時の EXIF メタデータや、自分で自由に情報を追加できる IPTC メタデータフィールドなどが含まれます。

[プロパティ]ペインを開くには

管理モードあるいは表示モードで、[表示]>[プロパティ]ペインをクリックします。

[プロパティ]ペインは、管理モードでも表示モードでも、既定レイアウトとして画面の右側に表示されます。

[プロパティ]ペインの構成

[プロパティ]ペインのポップアップには、次のオプションがあります:

- **ACDSee メタデータ:**[整理]ペインで設定した日付とその他の情報を表示します。ACDSee メタデータフィールドには、キャプションをはじめ、作者、ラベル、重要度、タグ、注記、キーワード、カテゴリなど写真に付与したい情報を入力することができます。[整理]ペインでも、カテゴリや重要度、ラベルを定義することができます。ACDSee メタデータはファイルに埋め込まれず、データベース内に保存されます。この情報を埋め込むには、[ツール]>[メタデータ]>[選択されたファイルに ACDSee メタデータを埋め込む...]をクリックするか、[ツール]>[メタデータ]>[全ファイルに ACDSee メタデータを埋め込む...]をクリックします。
- **ファイル:** ファイルにはサイズやファイルの種類などをはじめとする基本的なファイル情報が表示されています。他にも、Spotlightコメントを入力するフィールドもあります。
- **EXIF:** [EXIF]データフィールドには、シャッター速度、カメラの機種、GPS情報など、カメラによって作成された情報が表示されます。
- **IPTC Core:**[IPTC] データフィールドには、説明、作者、著作権など、写真に関する情報を入力し保存することができます。この情報は自動的に画像に埋め込まれます。
- **IPTC IIM (Legacy)**

- IPTC拡張
- **新しいプロファイルの作成**: [新しいプロファイルの作成] オプションで、オリジナルのカスタム[プロパティ]ペインを作成して、表示したいプロパティだけを表示することができます。



詳しくは、「[メタデータを追加するには](#)」をご一読ください。

カスタムプロパティペインを作成するには:

1. [プロパティ] ペインのポップアップメニューから**新しいプロファイルの作成**を選択します。
2. 新しいプロファイル名を**プロファイル名**フィールドに入力します。
3. 新しいプロファイルで表示したいプロパティの横にあるチェックボックスにチェックを入れます。
4. **適用**をクリックします。

[プロパティ] ペインのポップアップメニューに作成した新しいプロファイルが表示されます。

人物マネージャーを使用して割り当てられた名前を管理する

[表示モードで顔を検出](#)した後は、人グループを使用して、写真を個々に入っている人に基づいて検索することができます。[クイック検索バー](#)で名前で検索することもできます。

顔の検出を使用して、人物マネージャーを開きます、顔に割り当てられた名前を管理することができます。

人物マネージャーを開きます:

次のいずれかを実行します。

- 管理または表示モードで、ツール | **人を管理する**。を選択します。
- **+ ⌘ + O**を押します。

名前を削除するには:

1. 人物マネージャーで、1つの名前を選択するか、複数の名前を選択するには、**Cmd + クリック**または**Shift + クリック**をしてください。
2. 「削除」ボタンを押します。 

名前を再割り当てするには:

同じ個人が複数の名前(例:「Daniel」と「Dan」)で保存されている状況が発生することがあります。これらの名前をマージするには、マージボタンを使用します。

1. 人物マネージャー、**Cmd + クリック**して複数の名前を選択したり、**Shift + クリック**して一列に複数の名前を選択したりします。

2. 「マージ」ボタンを押します。



名前を編集するには:

1. 人物 マネージャーで名前を選択します。
2. 「リネーム」ボタンを押します。
3. フィールド内の名前を編集します。



参照:

- ❖ [表示モードでの顔検出と認識の使用](#)
- ❖ [管理モードでの顔検出](#)
- ❖ [\[整理\]ペインを使用して整理する](#)
- ❖ [クイック検索バーの使用](#)

自動切り替えによる参照とカタログ化

自動切り替えを使えば、タグ、重要度、ラベル、カテゴリ、キーワードを追加しながら画像間をシームレスに移動できます。管理モードと表示モードで自動切り替えを使用できます。

管理モードで自動切り替えをオンにするには:

[ファイル一覧]ツールバーの下部にある[自動切り替え]ボタンを切り替えるか、**Control+Q**を押します。



自動切り替えを使用するには:

自動切り替えが有効になっている場合、タグ、重要度、カラーラベル、キーワード、またはカテゴリを画像に追加または消去すると、[ファイル一覧]ペインの次の画像に進み、メタデータの追加を続行できます。これは、キーボードから手を離さずにフォルダ全体を整理できるため、キーボードショートカットと組み合わせると特に便利です。

自動切り替えを起動するメタデータの種類を選択するには、[自動切り替えオプションの設定](#)を参照してください。

💡 キーワードとカテゴリはデフォルトでは無効になっています。

管理モード

管理モードで、次のキーボードショートカットを使うと、自動切り替えを最大限に活用できます:

\	タグ
Control—7	グレーのカラーラベル
Control—6	紫のカラーラベル
Control—5	青のカラーラベル
Control—4	緑のカラーラベル
Control—3	黄色のカラーラベル
Control—2	オレンジのカラーラベル
Control—1	赤のカラーラベル
Control—0	カラーラベルを削除する。
Command—5	重要度5
Command—4	重要度4
Command—3	重要度3
Command—2	重要度2
Command—1	重要度1
Command—0	重要度を削除

キーワードとカテゴリ

キーボードショートカットと自動切り替えの両方を使えば、画像にキーワードとカテゴリを追加する作業をシンプルにできます。

キーワード

[プロパティ]ペインでキーワードを作成することができます。**[Enter]**キーを押すと、自動切り替えで次の画像に移動します。カンマで区切った複数のキーワードは一括で追加できます。キーボードから手を離さずに、すべての画像の処理を行えます。

カテゴリ

[プロパティ]ペインか[整理]ペインで、希望のカテゴリのチェックボックスをオンにしてカテゴリを画像に追加し、自動切り替えで次の画像に移動します。

表示モード

表示モードで自動切り替えをオンにするには:

下部のツールバーで、自動切り替えボタンを切り替えるか、**Control—Q**を押します。

表示モードで自動切り替えを使用するには:

1. [表示]>[プロパティ]ペインの順に選択します。
2. [ACDSee メタデータ]タブで、重要度、カラーラベル、タグ、カテゴリ、キーワードを追加し、自動切り替えでフィルムストリップの次の画像に進み、メタデータの追加を続行できます。

マップ ペインを使用する

マップペインを使用して写真に撮影場所の情報を追加することができます。場所の情報はいつでも呼び出し、表示することができます。マップを使って、ファイルのグループを選択して次のワークフローに移ったり、写真を選択して表示モードで表示したりします。

マップペインに表示されるファイルの場所は、ファイルのプロパティに含まれている緯度と経度の情報に基づいています。ジオタグ機能を持ったカメラを使っている場合、地理的な位置がマップ上に自動伝達されます。また、マップ上に直接ファイルをドラッグして[すべて保存]ボタンを押すと、座標を追加することができます。

ジオタグの付いている画像は、マップ上にピンで表示されます。マップ上のピンをクリックして、地理的な場所の範囲にあるファイルを選択し、表示したり処理したりすることができます。

 マップに追加できるファイルフォーマットは次のとおりです。JPG、TIFF、RAW、DNG および PNG。



ACDSeeは、ジオタグを含むファイル情報を、ファイルを参照する際、データベースに自動追加します。ファイルの数が多い場合には、まずファイルをカタログ化すると、マップ上のピンの読み込み時間を短縮することができます。ファイルをカタログ化するには、[ツール]から[フォルダをカタログ化]をクリックします。

マップ ペインを開くには:

管理モードで、[表示]>[マップ] (**Control—Shift—M**) をクリックします。

マップペインは、管理モードで[ファイル一覧]ペイン上に表示されます。



管理モードで、キーボードショートカット**Control—Shift—M**を使用して、マップのオン/オフを切り替えることができます。

ドラッグしてマップにファイルを追加するには:

1. 管理 モードで、1 つまたは複数のファイルをマップにドラッグします。
2. マップの左上端にある[すべて保存]をクリックします。

ジオタグ付き画像は、次のアイコンで示されます。

マップからピンの場所を削除するには:

ジオタグの付けられている画像サムネイルを右クリックし、[マップ]>[マップから削除]を選択します。

マップ上でジオタグ付きの画像を表示するには:

ジオタグの付きの画像サムネイルを右クリックし、[マップ]>[マップで表示]を選択します。または、ジオタグ付き画像を選択して、**Control—Shift—V**を押します。

場所を検索するには:

特定の場所を検索するには、マップペインの右上に表示されている**場所を検索**フィールドに名前やランドマークを入力します。

場所、ズーム、マップの種類を規定に設定するには:

1. マップ上で希望する場所を表示し、希望するズームレベルに調整して、マップの種類(地図または航空写真)のいずれかを選択します。
2. [ツール]>[マップ]>[既定のマップ位置に設定]をクリックします。

 **注意:**マップは現在選択されているファイル一覧の内容に反映されます。ファイル一覧内に、既定設定とは異なる場所にマップされている画像が含まれている場合には、その場所が表示されますのでご注意ください。

 特定の場所にパンしてズームするには、マップ検索フィールドに場所の名前を入力して**Enter**キーを押します。

逆ジオコード (逆ジオコーディング):

逆ジオコードコマンドを使うと、特定のIPTCフィールドに場所の情報を保存することができます。含まれる情報:国、国別コード、州/県、場所。

1. 管理 モードで、1 つまたは複数のファイルをマップにドラッグします。
2. マップの左上端にある[すべて保存]をクリックします。
3. **逆ジオコード**ボタンをクリックすると、場所の情報をプレビューできます。
4. [保存]をクリックすると、これらの情報を選択された画像のIPTCフィールドに保存します。

 複数の異なる場所の画像が選択されている場合は、それらのうちの一つのみが使用されます。

マップ ペインを使用したワークフロー

特定の場所の画像がすべて選択されている状態で、次のようなワークフローを実行することが可能です。

- 現像モードを開いて、この選択をまとめて処理します。
- [一括] ツールを使用して、場所が同じ画像に同じ設定を適用します。
- [表示] から [スライドショー] をクリックして、同じ場所の写真をスライドショーとして表示したり、提示したりします。

ピンの凡例

	ジオタグの場所を示します。
	このエリアに複数のジオタグの場所があることを示します。(場所を拡大表示する)
	選択されたジオタグの場所を示します。
	任意の色のピンにドットがある場合、画像の場所が保存されていないことを示します。

ファイルのメタデータを削除する

場所、カメラモデル、個人的な評価などのファイル情報を含めずに写真を共有したい場合があります。「メタデータを削除」オプションを使用すると、この情報を選択したイメージから除去してプライバシーを維持できます。

メタデータはJPG、TIFF、PNG、およびHEICファイルから削除できます。

 メタデータを削除するイメージのコピーを作成することで、メタデータを持つバージョンを維持できます。

選択したイメージからメタデータを削除するには：

1. [ツール] | [メタデータ] | [削除...] をクリックします。
2. [EXIF および IPTC]、[埋め込み ACDSee メタデータ]、[埋め込み ACDSee 顔データ] のいずれかまたは複数を選択するには、チェックボックスを使用します。
3. [削除] をクリックします。

 メタデータは完全に削除されます



[埋め込み ACDSee メタデータ] および [埋め込み ACDSee 顔データ] は、データベースから完全にクリアすることもできます。

さらに参照：

✦ [データベースの管理](#)

メタデータをファイルに追加する

IPTC および ACDSee 写真館 9 Mac用 メタデータを使って画像に情報を追加することができます。IPTC 情報は画像に自動的に埋め込まれる情報である一方、ACDSee 写真館 9 Mac用 メタデータはファイルに埋め込んだり、データベースに格納したりすることができます。

メタデータの入力や編集は、画像を処理する前に行うようにお勧めします。「**オリジナルに戻す**」コマンドを使用すると、処理前にメタデータを入力していない限り、(RAW画像の場合を除き)その情報が失われてしまうためです。



CD-ROM のような読み取り専用メディア上のファイルには、IPTC情報、EXIF情報を設定することはできません。



「プロパティ」ペインが表示されていない場合は、「表示」から「プロパティ」を選択します。

1つ以上のファイルにメタデータを追加するには：

1. 管理モードで、1つ以上のファイルを「ファイル一覧」ペインで選択します。
2. 「プロパティ」ペインで、ポップアップメニューから、**ACDSee メタデータ**または**IPTC**を選択します。
3. メタデータフィールドに情報を入力します。
4. 「適用」をクリックするか、**Enter**キーを押して変更を適用します。



「管理」モードで「適用」をクリックするか **Enter** キーを押すと、フォーカスが「ファイル一覧」ペインに戻ります。そのため、キーボードを使って別のファイルを選択しやすくなります。

「プロパティ」ペイン キーワードショートカット

ショートカット	結果
Tab	フィールドからフィールドへ、フォーカスを前に移動します。
Ctrl + Tab	フィールドからフィールドへ、フォーカスを後ろに移動します。
ENTER	変更を適用します。
Esc	変更を破棄します。

メタデータをコピー & 貼り付け

ファイルからGPS、IPTC、および ACDSee メタデータをコピーして、別のファイルへ貼り付けることができます。

メタデータをコピーするには:

1. 管理モードでファイルを選択し、次のいずれかを実行します。
 - ツール > メタデータ > コピー に移動します
 - 右クリックして「メタデータ」>「コピー」を選択します。
2. 「メタデータをコピー」ダイアログボックスで、コピーしたいメタデータにチェックを入れます。
3. コピーを押します。

メタデータを貼り付けるには:

1. 管理モードでファイルを選択し、次のいずれかを実行します。
 - ツール > メタデータ > ペースト に移動します
 - 右クリックして「メタデータ」>「ペースト」を選択します。

階層キーワードの作成と割り当て

ファイルにキーワードを設定し、キーワードを階層構造でグループ管理することができます。[「プロパティ」ペイン](#)を選択すると、キーワードの作成、名前の変更、削除、移動を行うことができます。

整理ペインでのキーワード

整理ペインでキーワードを作成および管理できます。整理ペインのキーワードセクションで:

- キーワードを追加するには、(+) を押してキーワードを入力するか、右クリックして**新規キーワード**を選択します。
- キーワードツリー内に直接キーワードを追加するには、親となる既存のキーワードを選択します。クリックして**新しいサブキーワード**を選択します。
- 一つまたは複数の画像にキーワードを割り当てるには、画像を選択し、キーワードを右クリックして**選択された項目に適用**を選択します。
- キーワードを割り当て解除するには、キーワードの横のチェックボックスをオフにしたり、キーワードを右クリックして**選択された項目から取り除く**を選択します。
- キーワードを編集するには、右クリックして**キーワードの編集**を選択します。
- キーワードを削除するには、右クリックして**削除**を選択します。
- 全て展開するには、右クリックして**すべて開く**を選択します。

- 全て畳むには、右クリックして**すべて閉じる**を選択します。
- キーワードリストをフィルターするには、検索ボックスにフィルターを入力します。

キーワード検索フィルターオプション

キーワード検索を2つの異なる方法でフィルターできます：開始、マッチング内の全キーワードを表示：

- **開始**：検索語句で始まるキーワードを返します。
- **マッチング内の全キーワードを表示**：検索語句に一致するキーワードのすべてのサブキーワードを表示します。



両方のフィルターオプションを同時に有効にし、複数のフィルターを同時に適用できます。

キーワードを管理するには：

1. 管理モードでファイルを選択したら、「ファイル一覧」ペイン右側にある**プロパティ**ペインを開きます。
2. 「プロパティ」ペインのドロップダウンメニューから、**ACDSee メタデータ**を選択します。
3. キーワードグループで、フィールドにキーワードを入力し、**Enter** を押します。

1つまたは複数のファイルにキーワードを割り当てるには：

以下のいずれかの操作を行ってください：

- 1つ以上のファイルを選択し、キーワードのチェックボックスを有効にする。
- 1つ以上のファイルを選択し、ファイルをキーワードにドラッグする。

階層を作成するには：

キーワードフィールドで、より具体的なキーワード<より幅広い一般的なキーワード、のように記述します。

例：

フクロウ< 鳥

または

フクロウ<鳥

または

マドリード< スペイン< ヨーロッパ

または

マドリード<スペインヨーロッパ

もちろん逆の階層を作成することもできます。より包括的なキーワードを最初に設定し、次にパイプキー(|)を入力します。

ヨーロッパ | スペイン | マドリッド

または

ヨーロッパ|スペイン|マドリッド

 1つのファイルに複数のキーワードを割り当てる場合、複数のキーワードをカンマで区切ってください(階層を作れません)。

キーワードを管理する:

- ファイルからキーワードの割り当てを解除するには、キーワード横のチェックボックスのチェックを外してください。
- 名前を変更するには、キーワードを右クリックで選択して編集します。
- キーワードを削除するには、キーワードを選択し、キーワードグループの上にある(-)マークをクリックしてください。
- キーワードツリーを編集するには、キーワードをドラッグして別の部分に移動します。

「整理」ペインでキーワードを割り当てる:

「整理」ペインでもキーワードの作成と管理が行えます。「整理」ペインのキーワードセクション

- キーワードを追加するには(+)を押してキーワードを入力するか、または右クリックして**新規キーワード**を選択します。
- キーワードツリー内に直接キーワードを追加するには、親キーワードにする既存のキーワードを選択してください。クリックして、「**新規サブキーワード**」を選択します。
- キーワードを1つ以上の画像へ割り当てるには、画像を選択したらキーワードを右クリックして、**選択したアイテムへ割り当てる**を選択します。
- 割り当てたキーワードを解除するには、キーワードの横のチェックボックスのチェックを外すか、またはキーワードを右クリックして、**選択したアイテムから取り除く**を選択します。
- キーワードを編集するには、右クリックをして**キーワードの編集**を選択します。
- キーワードを削除するには、右クリックをして**削除**を選択します。

キーワードセットを作成する

キーワードセットを使用して、関連性を保持する関連キーワードのグループを作成することにより、整理ができ、ワークフローを合理化することができます。階層構造の中に埋もれてしまわないので、キーワードに簡単にアクセスできます。複数のグループを作成し、その時々に関連している写真に適したグループを切り替えて使うことができます。ACDSeeには、使用できるさまざまなキーワードセットが最初から組み込まれています。これらのキーワードをツリーに追加することも可能です。

キーワードセットからキーワードを割り当てるには:

1つ以上のファイルを選択し、キーワードをクリックします。

キーワードセットを作成するには:

1. 「整理」ペインの「キーワードセット」グループで、ドロップダウンメニューから「**新しいキーワードセット**」を選択します。
2. 関連キーワードまたは頻繁に使用するキーワードを空いているフィールドに入力できます。フィールド内に階層を作成するには、A|B|Cのようにパイプキーを使用するか、子<親のように記号を使用します。
3. セットの名前を入力します。
4. ファイルを選択したら「キーワードセット」セクションから適切なキーワードをクリックして、セットからキーワードを適用します。キーワードがツリーに追加されます。キーワードセットに階層を指定した場合、親キーワードがツリーに表示され、子はその下に格納されます。現在選択されているファイルに割り当てられているキーワードは、表内のキーワードテキストの色が変化し、現在選択されているファイルの一部(すべてではない)にのみ割り当てられている場合は斜体で表示されます。

キーワードのインポートとエクスポート

他のユーザーからACDSeeにキーワードをインポートすることができます。キーワードをエクスポートして共有することもできます。キーワードは、.txtファイルとしてインポートおよびエクスポートされます。

Adobe®Lightroom®のキーワードをインポートすることができます。

キーワードのエクスポート:

1. ツール > メタデータ > キーワードのエクスポートを選択します。
2. キーワードファイルの場所を参照します。
3. キーワードファイルの名前を入力します。
4. キーワードの識別に役立つタグを入力します。
5. **保存**を押します。

キーワードをインポート:

1. ツール > メタデータ > キーワードのインポートを選択します。
2. キーワードファイルの場所を参照します。
3. ファイルを選択して、**選択**を押します。ファイル内のキーワードはACDSeeキーワードツリーにロードされ、アルファベット順に一覧表示されます。重複したキーワードは結合されます。

ファイルにSpotlight コメントを追加する

ACDSee 写真館 9 では複数のファイルに一度に Spotlight コメントを追加することができます。Spotlight コメントをファイルに追加すると、ACDSee 写真館 9 以外のアプリケーションでも、Spotlight 検索を用いてファイルをすぐに見つけることができます。このフィールドは既定で非表示になっています。Spotlight コメントを有効にするには、[メタデータの環境設定](#)を参照してください。

Spotlight コメントを追加するには:

1. 管理 モードでファイルを選択します。
2. [プロパティ]ペインをクリックして、ポップアップメニューから[ファイル]を選択します。
3. [Spotlight コメント]フィールドにキーワードまたはコメントを入力します。



Command+スペースキーを押してSpotlight検索を開きます。

カスタムプロパティペインを作成する

カスタムプロパティペインを作成して、頻繁に使うメタデータだけを表示することもできます。

カスタムプロパティペインを作成するには:

1. [プロパティ]ペインのポップアップメニューから、[新しいプロファイルの作成]を選択します。
2. 新しいプロファイル名を**プロファイル名**フィールドに入力します。
3. 新しいプロファイルで表示したいプロパティの横にあるチェックボックスにチェックを入れます。
4. **適用**をクリックします。



管理 モードまたは表示 モードに[プロパティ]ペインが表示されていない場合、[表示]>[プロパティ]ペインをクリックして開きます。

画像をコピーする

画像をコピーして他のフォルダへ貼り付けることが、ACDSee 写真館 9内で可能です。コピーコマンドを利用すれば、ファイルのデータベース、ファイル、EXIF、IPTC情報をコピーすることもできます。

画像をコピーするには:

1. [管理] モードで、コピーしたい画像を選択します。
2. [編集]>[コピー]をクリックするか、**Command—C**を押します。
3. 画像を貼り付けたいフォルダを参照したら、[編集]>[ペースト]または **Command—V**を押します。

ファイルをコピーまたは移動する

ハードディスク上にあるファイルやフォルダの位置を変更したり、重複ファイルの取扱い方法を指定することができます。ファイルの移動にACDSee 写真館 9を使用する場合、そのファイルと関連付けられているあらゆるデータベース情報も新しい場所にコピーされます。

管理 モードでファイルをコピーまたは移動するには:

1. [ファイル一覧]ペインでファイルを1つ以上選択し、次のいずれかの操作を実行します。
 - Ctrl + クリックで **フォルダにコピー**または **フォルダに移動**を選択します。
 - [ファイル]>[**フォルダにコピー**]または[**フォルダに移動**]をクリックします。
2. **参照**をクリックして、ファイルをコピーまたは移動したいフォルダを選択します。
3. [**場所をショートカットに保存する**]チェックボックスにチェックを入れて、フォルダの場所を保存します。ここで指定した場所が次回[フォルダにコピー]また[フォルダへ移動]を選択するときに表示されますので、よりすばやく保存先を選択できます。
4. [**コピー**]または[**移動**]をクリックします。

ファイルを保存する

ファイルは別のフォルダへ保存したり、別のフォーマットや質で保存することができます。

ファイルを保存するには:

1. 管理モードで、[ファイル一覧]ペインからファイルを選択します。
2. [ファイル]>[名前を付けて保存]をクリックします。
3. [名前を付けて保存]ダイアログで、ファイル名を入力します。
4. ファイルを保存する場所を選択します。
5. お好みのカラープロファイル、フォーマット、品質を選択します。
6. [**保存**]をクリックします。

ファイルまたはフォルダを貼り付ける

ファイルをコピーまたは切り取って、データベースを失うことなく別のフォルダに貼り付けることができます。

ファイルやフォルダをコピー&貼り付けするには:

1. 管理モードで、ファイル一覧ペインまたはフォルダペインから1つ以上のファイルまたはフォルダを選択します。
2. [**編集**]>[**コピー**]をクリックします。
3. フォルダペインを使って、新しい場所にフォルダを指定します。
4. [[**編集**]]>[**ペースト**]を選択し、新しい場所にファイルまたはフォルダを貼り付けます。

フォルダの作成と削除

管理モードで、ファイルを整理するためにフォルダの作成および削除ができます。

フォルダを作成するには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - [ファイル]>[新しいフォルダ]を選択します。
 - フォルダペインの下方に位置する[追加] ボタンをクリックします。
2. 新規フォルダの名前を入力しRETURNキーを押します。

フォルダを削除するには:

[管理] モードで次のいずれかの操作を行います。

- ファイル一覧にあるフォルダをCtrl + クリックして、箱に入れるを選択します。
- フォルダペインの下方に位置する[マイナス] ボタンをクリックします。

ファイル名やフォルダ名を変更する

[フォルダ] ペインまたは[ファイル一覧] ペインでは、ハードディスク上にあるファイルまたはフォルダの名前を変更することができます。

管理モードでファイル名またはフォルダ名を変更するには:

1. 管理モードのファイル一覧またはフォルダペインから、名前を変更するアイテムを選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [編集]>[名前を変更]を選択します。
 - ファイルをControl + クリックしたら、[名前を変更]を選択します。
3. 新規ファイル名を入力し、**名前を変更** をクリックします。



名前の一括変更 ツールを使用して、複数のファイル名をまとめて変更することができます。

画像にタグを付ける

結婚式やマラソンなどの大きな行事では、通常、数百枚という大量の画像が撮影されます。撮影が完了したら、コンピュータにそれらの画像を転送して表示し、ベストショットのみを選択することもあります。タグをつけて特定の画像だけ一時的に認識するようにすれば、あとから行う編集やレビューの際、整理しやすくなり大変便利です。

サムネイルの右下に、タグ付けチェックボックスが備えられています。このチェックボックスをクリックして、タグの設定/解除を切り替えます。タグをつけた写真は、このチェックボックスのチェックマークを解除しない限り、タグが付いたままの状態になります。

[整理]ペインのスペシャルアイテムにある[タグ付き] をワンクリックするだけで、タグの付いたすべての写真を表示することができます。カテゴリや重要度、カラーラベルと同様に、タグを適用すると、別のフォルダに移動することなく、画像をまとめて管理することができます。



タグは、画像を区別する一時的な手段として意図されています。画像を移動したり、カテゴリや重要度を適用する操作が完了したら、タグをクリアするようにします。長期間にわたって画像を管理したり、グループ分けするためには、カテゴリ、重要度、カラーラベル、フォルダを使用したほうが効果的です。

選択した画像にタグを付けるには:

- キーボードのショートカットキー \ (バックスラッシュ) を使用して、タグをオンに切り替えます。
- サムネイルの右下にあるチェックボックスを選択します。
- サムネイルまたは画像を Ctrl + クリックし、**タグ**を選択します。
- [プロパティ]ペインで、**タグ**の横のチェックボックスにチェックを入れます。

選択した画像のタグを解除するには:

- キーボードのショートカットキー \ (バックスラッシュ) を使用して、タグをオフに切り替えます。
- [プロパティ]ペインのポップアップメニューから **ACDSee メタデータ**を選択し、**タグ**の横にあるチェックボックスのチェックを解除します。

すべてのタグ付き画像からタグを外すには:

1. [整理]ペインの[**タグ付き**]をクリックして、タグの付いたすべてのファイルをファイル一覧に表示します。
2. キーボードショートカットの **Command—A** キーを押して、すべてのファイルを選択します。
3. \ (バックスラッシュ) キーを使用して、タグをオフに切り替えます。

タグの付いた画像だけを表示するには:

管理モードの[整理]ペインをクリックして、**タグ付き**をクリックしてください。フォルダ内のタグの付いた画像ファイルがすべて、[ファイル一覧]ペインに表示されます。

検索する

ACDSee 写真館 9で検索する

ACDSee 写真館 9 は、クイック検索バーでファイルやフォルダを検索することができます。また、ファイルの検索条件に名前を付けて保存し、後で再度利用することも可能です。

[整理]ペインには、ハードディスク上のすべての画像や、分類されていないフォルダ内のファイル、およびタグ付された画像やキーワードや重要度が付いているファイルをすばやく表示することのできる機能が搭載されています。



検索クエリで * をワイルドカードとして使用できます。例えば「ac*e」で検索すると、ACDSeeにより検索結果として「ace」、「acdsee」、「sacred」などが表示されます。

重複を検索する

重複を検索コマンドを使えば、重複しているファイルをかんたんに見つけ出して削除することができます。重複している必要のないファイルを削除すれば、さらにファイルと画像が管理しやすくなり、ディスクスペースが解放され、画像を見つけるスピードも向上します。

重複ファイルを検索するには:

1. [ツール]から[重複の検索]をクリックします。
2. [フォルダの選択]をクリックします。
3. + マークをクリックしてフォルダを選択します。
フォルダを削除するには、xをクリックします。
4. 次のオプションから選択してください。
 - サブフォルダを含む
 - 画像のみを検索
 - 同じファイル名のみを検索
5. [重複を検索]をクリックして、検索を開始します。

指定した条件に合っている重複したファイルが一覧に表示されます。

6. 矢印ボタンをクリックして重複しているファイルを開いたら、ファイル名と場所を確認します。
7. ファイルをクリックしてサムネイルプレビュー、サイズ、日付を表示します。
8. 削除したい重複ファイルの横にあるチェックボックスにチェックを入れます。
9. ごみ箱をクリックして選択した重複ファイルを削除します。

クイック検索バーを使用する

管理モードにあるクイック検索バーを使用して、ファイルやフォルダを素早く検索することができます。クイック検索オプションや演算子と単語を組み合わせ、検索を絞ったり広げたりして、検索結果をファイル一覧で確認します。

「クイック検索」は、以下のACDSeeのデータベースフィールドで自動的に検索を行います。ファイル名、カテゴリ、キャプション、作者、注記、キーワード、および名前付き人物です。

クイック検索を使用するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- クイック検索バーで **name:**の後に検索するファイル名を入力します。ACDSeeはその名前を含むファイルを検索します。たとえば、**name: mark**で検索すると、ACDSeeはmark.pngやwatermark.jpgなどのファイルを検索します。

- クイック検索 バーに、検索したいキーワードを入力します。
- [整理]ペインまたは[プロパティ]ペインのメタデータをクリックして、それをクイック検索 バーにドラッグ&ドロップします。
- クイック検索 フィールドの横にあるポップアップメニューをクリックして、以前入力された検索用語 リストから選択します。

以前もクイック検索で検索したことがある場合は、履歴にあるキーワードが最新のものから最大10個表示されます。また、検索オプションには次の項目もあります。

メニュー	結果
履歴のクリア	検索 キーワード履歴 をクリアします。
保存済み検索	保存済みの検索条件から検索も、まったく新しい条件からの検索も可能です。頻繁に検索する用語がある場合に便利です。これらは、[整理]ペインの[保存済み検索条件]グループにも表示されます。
大文字/小文字を 区別	入力したキーワードに一致した結果を表示します。つまりCat と入力すると、ファイル名に「Cat」を含むものが検索結果として表示されます。また、次の"ACDSee 写真館 9 Mac用データベースフィールドでも検索します。ファイル名、カテゴリ、説明、作成者、注記およびキーワード。次の IPTC フィールドも検索します。キーワード、説明、クリエイター、見出し、および特別な指示。
完全一致のみ	クイック検索に入力したキーワードと完全に一致しているものだけを検索します。これが有効になっている場合、検索結果には類似または関連する結果は含まれず、完全一致のみ表示されます。
選択したフォルダの みを検索	選択したフォルダのみを検索します。フォルダを選択するには、Command キーまたは Shift キーを押します。 注: イージーセレクトインジケータを使用して、複数のフォルダを一度に選択できます。
サブフォルダを含む	選択したフォルダとそのサブフォルダを検索します。
データベース検索	ACDSee が明確にインデックスしたファイル情報が含まれるACDSee データベースの中だけを検索します。上記のデータベースフィールドのみを検索します。
Spotlight検索	パソコン内にあるファイルをSpotlightデータベースで検索します。これが有効になっている場合、ファイルがSpotlightデータベースとACDSeeデータベースの両方にある場合を除き、検索にACDSeeデータベースからの結果は含まれません。 注: Spotlightデータベースの特定のメタデータプロパティを使用して検索することはできません。

クイック検索の演算子

クイック検索 バーで次の演算子を使用して、検索を絞ったり広げたりできます。

演算子	結果	例
and	演算子の前後にある単語の両方を含んだすべてのファイルが結果として表示されます。どちらか一方の単語のみを含んでいるファイルは除外されます。クイック検索バーは、単語間に入力された半角スペースを「and」(プラス(+))演算子)として扱います。	「Cat and Kittens」と入力すると、「Cat」と「Kittens」の両方を含むファイルを検索します。
or	検索要素のいずれかを含むすべての項目が検索されます。同じ種類の2つの検索語(例:「Rating」:「4」、「Rating」:「5」)を検索する場合、画像に一度に2つの重要度が付けられることはないため、自動的に「OR」が追加されます。ただし、Ctrlキーを押しながらクイック検索バーに種類の異なる2つの検索用語を追加すると、「OR」が追加されます(例:「Rating」:「4」OR「category」:「Friends」)。	「Cat or Dog」と入力すると、必ず両方を含むファイルではなく、「Cat」または「Dog」のいずれかを含むファイルを検索します。
not	最初の単語を含むすべてのファイルが検索された後、二番目の単語を含まないファイルのみが表示されます。	「not Cat」と入力すると、「Cat」を含むファイル以外を検索します。

検索の保存

今後の時間を節約するために、複雑な検索条件を保存できます。これらは、[整理]ペインの[保存済み検索条件]グループに保持されます。この領域では、再実行する検索を選択したり、不要な検索条件を削除したりすることができます。[保存済み検索条件]領域を使用して、保存済み検索を新規作成することもできます。これは、スマートフォルダのように機能し、いつでもクリックして特定のファイルの組み合わせを一度にすべて表示することができます。

検索を保存するには:

1. 管理モードで、キーワードを入力するか、または[プロパティ]ペインまたは[整理]ペインからプロパティをクイック検索ヘドラッグします。
2. クイック検索バーの下向きの矢印をクリックして、**検索の保存** > **保存**を選択します。
3. 保存したい検索名を入力します。
4. [保存]をクリックします。

保存済み検索を新規作成するには:

1. [整理]ペインの[保存済み検索]セクションで、プラス(+)アイコンをクリックします。
2. [保存済み検索]ダイアログの[次と一致するアイテムを検索]フィールドで、[整理]ペインからメタデータプロパティをドラッグします。[ファイル]一覧ペインからファイルを選択している場合は、[プロパティ]ペインからプロパティをドラッグすることもできます。必要に応じて、この方法を使用すると、複雑な、または一般

的な検索が実行できます。上記のクイック検索の演算子セクションで説明したように、演算子「and」、
「or」、または「not」を使用して検索パラメータを制御します。

3. 保存したいアイテムの名前を入力します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [保存]を押して検索を保存します。
 - 検索を保存して実行するには[保存して実行]を押します。
 - [キャンセル]を押します。

保存済み検索を削除する

保存済み検索を削除するには:

1. クイック検索の左にある虫めがねアイコンをクリックします。
2. **保存済み検索**をクリックして、削除したい検索を見つけます。
3. 削除する保存済み検索の横に表示される**X**ボタンをクリックします。

画像をすばやく検索する

多くの方法で画像をすばやく見つけることができます。[保存済み検索](#)の名前をクリックして、その検索条件ですばやく検索することができます。[\[整理\]](#)ペインの[\[スペシャルアイテム\]](#)を使用すれば、[データベース](#)内にあるすべての画像や、[カテゴリ](#)や[キーワード](#)への割り当てがまだなされていない未分類の画像をすばやく表示することができます。

保存済み検索を実行するには:

1. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [\[整理\]](#)ペインの[\[保存済み検索\]](#)セクションから、保存済み検索を選択します。
 - 管理モードで、クイック検索のドロップダウン矢印をクリックして、[\[保存済みの検索条件\]](#)を選択します。一覧から保存済み検索を選択します。

[\[ファイル一覧\]](#)ペインに検索結果が表示されます。

検索条件の保存方法につきましては、[クイック検索バーを使用する](#)をご確認ください。

すべての画像ファイルを一度に表示するには:

- [\[整理\]](#)ペインの[\[スペシャルアイテム\]](#)から[\[イメージ ウェル\]](#)を選択します。

カテゴリなしまたはキーワードのない画像を見つけるには:

- [\[整理\]](#)ペインの[\[スペシャルアイテム\]](#)で、[\[カテゴリなし\]](#)または[\[キーワードなし\]](#)をクリックします。

「イメージ ウェル」と「カテゴリなし」と「キーワードなし」機能では、データベース内のカタログ化された画像のみが表示されます。これらの機能は、ハードディスクから特定のファイルタイプを検索するわけではありませんのでご注意ください。



[整理]ペインまたは[プロパティ]ペインが表示されていない場合は、[表示] > [整理]ペインまたは表示 > [プロパティ]ペインをクリックします。

ビデオをすばやく検索する

[整理]ペインの[スペシャルアイテム]セクションにある[ビデオ]オプションを使用すれば、データベース内のすべてのビデオを検索することができます。[ビデオ]オプションをクリックすると、ACDSeeでサポートされているビデオフォーマットを検索します。ファイルコレクションが非常に大きい場合、すべての情報を収集するのに数分かかることがあります。

すべてのビデオを一度に検索するには:

- [整理]ペインの [スペシャルアイテム] から[ビデオ]をクリックします。

一括処理機能

一括 ツールについて

一括 ツールを使うと、大量のファイルすべてに加えたい変更を一瞬で正確に適用できます。複数の操作でも自分だけの一括ワークフローを作成でき、作成したワークフローはプリセットとして保存できます。カスタム一括ワークフローを作成しておけば、ファイル名を変更して自分の名前を加えたり、画像を他のファイル形式に変換するなど、頻繁に行うタスクを自動化することが可能です。カスタム一括ワークフローを作成するときは、最初に操作を選択し、その後それをプリセットとして保存します。

各 操作について

操作とは複数のファイルに適用できるオプションのことです。操作実行前にプリセットとして保存しておけば、その後も複数のファイルに同じ操作を一括適用できます。

ACDSee 写真館 9操作には次のオプションがあります。

- **更新日時の変更:**複数ファイルの日時を変更します。
- **フォーマットを変更:**ファイルフォーマットを別のフォーマットへ変換します。
- **コピー:**希望の保存先へファイルをコピーします。
- **現像:**作成した現像プリセットを適用します。
- **移動:**希望の保存先へファイルを移動します。

- **名前を変更する:**指定したフォーマットでファイル名を変更します。
- **サイズ変更:**比率(パーセンテージ)、ピクセル、印刷サイズを指定してファイルサイズを変更します。
- **情報を設定:**ファイルのメタデータ情報を変更します。
- **新しい一括ワークフロー:**複数の操作を組み合わせて、複数のオプションを一括で適用します。

プリセットについて

プリセットは、事前に設定された一連の操作で、ACDSee 写真館 9 が選択されたファイルに対して実行するものです。例えば、[コピー] および [名前を変更する] の操作を含んだ「Copy_Rename」と呼ばれるカスタムプリセットを作成できます。「Copy_Rename」操作は選択したファイルのコピーを作成し、コピーしたファイルの名前だけを変更します。[移動]のように必要な操作が1つだけのときでも、もちろんプリセットを作成できます。プリセットはいつでも変更したり削除することができます。[一括プリセットの使用](#)を参照してください。

一括 ツールを使う

カスタム一括ワークフローを作成するには:

1. 操作を適用したい画像を選択します。
 2. 一括 ツールを開きます。
 - 管理 モードで、左上の[一括]ボタンをクリックし、[新しい一括ワークフロー]を選択します。または、[ファイルリスト]ペインでCtrl+ クリックして、[一括] | 新しい一括ワークフローを選択します。
 - 表示 モードで、[編集] > [一括] > [新しい一括ワークフロー]をクリックします。または、フィルムストリップでCtrl+ クリックして、[一括] > [新しい一括ワークフロー]を選択します。
 3. 一括ワークフローダイアログボックスにて、左のペインから1つ以上の操作を選択し、右のペインにドラッグ & ドロップします。
 4. [タイムスタンプの編集](#)、[フォーマット変換](#)、[コピー](#)、[移動](#)、[現像](#)、[名前の変更](#)、[サイズの変更](#)、および[情報の設定](#)操作の設定をカスタマイズします。
 5. 以下のいずれかの操作を行ってください:
 - [保存]をクリックして操作をプリセットとして保存すれば、次回もすぐに使用することができます。プリセットの名前を入力し[保存]をクリックします。次回[一括]ボタンをクリックすると、保存したプリセットがオプションとして表示されます。
 - [一括を実行]をクリックしてカスタマイズした一括 ツールを実行します。
-  ファイルにタグを付けると、編集の一括処理のワークフローをスピードアップすることができます。例えば、変更したいファイルにタグを付けてから[整理]ペインで[タグ]をクリックすると、[ファイル一覧]ペインにタグの付けられたすべてのファイルが表示されます。そして、ファイルを選択して一括 ツールを使用します。

更新日時の一括調整

「更新日時の一括変更」ツールを使用して、1つ以上の画像のプロパティの日時を変更することができます。

更新日時を一括で変更するには:

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. [一括]ボタンをクリックして、[更新日時を変更]を選択します。
3. ポップアップメニューから選択します。次のような選択を推奨します。

変更する更新日付	オリジナルの EXIF 日時。
新規更新日時	別の日時を使用する。
日時を選択	特定日時を使用する。
日時	新しい日時を入力します。

4. 次に、以下のいずれかの操作を行います。
 - [保存]をクリックして操作をプリセットとして保存すれば、次回もすぐに使用することができます。プリセットの名前を入力し[保存]をクリックします。次回[一括]ボタンをクリックすると、保存したプリセットがオプションとして表示されます。
 - [一括を実行]をクリックしてファイルの更新日時を変更します。



複数の操作を一度に適用するには、管理モードから一括 | 新しい一括ワークフローを選択してください。一括ワークフローダイアログで、左のペインから操作を選択したら、右のペインへドラッグアンドドロップしてください。

複数の画像を別のフォーマットに変換する

複数の画像ファイルを、サポートされている別のファイルフォーマットに変換することができます。

複数の画像を別のファイルフォーマットに変換するには:

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. 「一括」ボタンをクリックして、「フォーマットを変更」を選択します。
3. 「フォーマット」ポップアップメニューからファイルフォーマットを選択します。
4. ファイルの品質または圧縮を選択します。
5. オリジナルファイルを保持する必要のない場合は、「ソースファイルを削除」にチェックを入れてください。

6. 以下のいずれかの操作を行ってください:

- 「**保存**」をクリックして操作をプリセットとして保存すれば、次回もすぐに使用することができます。プリセットの名前を入力し「**保存**」をクリックします。次回「**一括**」ボタンをクリックすると、保存したプリセットがオプションとして表示されます。
- 「**一括を実行**」をクリックしてファイルを変換します。

ファイルフォーマットと品質オプション

ファイルフォーマット	品質オプション
JPEG	品質スライダーを右に移動すると品質が上がり、左に移動すると下がります。
PNG	品質オプションは利用できません。
TIFF	次のいずれかを選択します。 ● なし: ファイルは圧縮されません。 ● LZW: 高品質で画像を圧縮します。 ● PackBits: ファイルを圧縮します。グレースケールの画像に推奨いたします。
PDF	パスワードで暗号化してPDFを保護します。ファイルを保護するときは、「暗号化」チェックボックスにチェックを入れ、「パスワード」フィールドと「確認」フィールドにパスワードを入力します。
HEIC	最高の画質を得るために、品質スライダーを右に調整するか、左に調整して低い画質を選択します。



複数の操作を一度に適用するには、管理モードから一括 | 新しい一括ワークフローを選択してください。一括ワークフローダイアログで、左のペインから操作を選択したら、右のペインへドラッグアンドドロップしてください。

ファイルを一括でコピーする

[既存のファイルを置き換える] オプションで複数のファイルを新しいフォルダへコピーすることができます。

複数のファイル名をコピーするには:

1. 管理モードでファイルを1つ以上選択し、次のいずれかの操作を実行します。
 - [編集]>[一括]>[新しい一括ワークフロー]をクリックします。
 - [一括]ボタンをクリックし、[コピー]を選択します。
 - 画像をControl + クリックして、[一括]>[新しい一括ワークフロー]を選択します。
 - Option—Command—Bキーを押します。

- 一括 ワークフローダイアログボックスにて、左 のペインから**コピー**の操作 を選択し、右 のペインにドラッグアンドドロップします。
- [保存先]フィールドからコピーしたファイルを保存 するディレクトリを選択してください。
- 保存先に既 にあるファイルを置 き換えたいときは、**既存のファイルを置 き換える**にチェックを入 れます。
- 以下 のいずれかの操作 を行います。
 - [保存]をクリックして操作 をプリセットとして保存 すれば、次回 もすぐに使用 することができます。プリセットの名 前を入力し [保存] をクリックします。次回 [一括] ボタンをクリックすると、保存したプリセットがオプションとして表示 されます。
 - 一括を実行** をクリックしてファイルをコピーします。

ファイルを一括で移動する

一括移動 ツールを使用 すれば、複数のファイルを特定の場所に一括 で移動できます。

ファイルを一括で移動するには:

- 管理 モードで、ファイルを1 つ以上 選択します。
- [一括] ボタンをクリックし、[移動]を選択します。
- 保存先 フィールドからファイルを移動したいディレクトリを選択してください。
- 保存先に既 にあるファイルを置 き換えたいときは、**既存のファイルを置 き換える**にチェックを入 れます。
- 以下 のいずれかの操作 を行います。
 - [保存]をクリックして操作 をプリセットとして保存 すれば、次回 もすぐに使用 することができます。プリセットの名 前を入力し [保存] をクリックします。次回 [一括] ボタンをクリックすると、保存したプリセットがオプションとして表示 されます。
 - 一括を実行** をクリックしてファイルを移動します。



複数の操作を一度に適用するには、管理モードから一括 | 新しい一括ワークフローを選択してください。一括 ワークフローダイアログで、左 のペインから操作 を選択したら、右 のペインへドラッグアンドドロップしてください。

一括現像のプリセット

現像 モードで画像処理 ツールを使って変更を画像へ適用したら、その設定は現像プリセットとして保存 することができます。現像プリセットは一括 ワークフローツールで複数の画像へ一括 で適用 することが可能です。

一括現像プリセットを適用するには:

1. 管理 モードで、画像 を1つ以上 選択 します。
2. [一括] ボタンをクリックし、[現像] を選択 します。
3. ポップアップメニューから保存 してある現像プリセットを選択 します。
4. 一括 を実行 をクリックして設定 をファイルに適用 します。



複数の操作を一度に適用するには、管理モードから一括 | 新しい一括ワークフローを選択してください。一括ワークフローダイアログで、左のペインから操作を選択したら、右のペインへドラッグアンドドロップしてください。

複数画像のサイズを変更する

ピクセルサイズ、元のサイズに対する比率、あるいは印刷サイズを指定して、複数の画像のサイズを変更することができます。

❗ 一度実行すると、サイズを元に戻すことはできません。

複数画像のサイズを変更するには:

1. 管理 モードで、画像 を1つ以上 選択 します。
2. [一括] ボタンをクリックし、[サイズ変更] を選択 します。
3. [サイズ変更] ポップアップメニューから、次のいずれかのオプションを選択 します。
 - パーセンテージ(比率): オリジナルサイズの比率を使って、画像のサイズを変更 します。
 - ピクセル指定: 指定されたピクセル単位の値を使って、画像のサイズを変更 します。
 - 実寸 / 印刷サイズ: 指定された印刷サイズに、画像のサイズを変更 します。
4. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [保存] をクリックして操作をプリセットとして保存すれば、次回もすぐに使用することができます。プリセットの名前を入力し [保存] をクリック します。次回 [一括] ボタンをクリックすると、保存したプリセットがオプションとして表示 されます。
 - [一括の実行] をクリックして、ファイルのサイズを変更 します。

サイズ変更 オプション

パーセンテージ(比率)

パーセンテージ	画像のサイズ変更方法を指定します。画像を縮小するには 100未満の数値を入力し、拡大するには 100より大きい数値を入力します。
適用部分	サイズ変更を適用する部分(幅、高さ、または両方)を指定します。「両方」が推奨されます。

ピクセル指定

幅	画像の新しい幅をピクセルで指定します。
高さ	画像の新しい高さをピクセルで指定します。
サイズ変更	画像のサイズ変更方法を指定します。次のいずれかのオプションを選択します。 ● 拡大のみ:指定した幅と高さより画像が小さい場合のみサイズ変更します。 ● 縮小のみ:指定した高さや幅より大きい画像のみサイズ変更します。 ● 拡大または縮小:すべての画像を指定した幅と高さにサイズ変更します。
オリジナルの縦横比を保持	画像の縦横比を保持します。こちらが推奨されます。
次に合わせる	幅または高さに基づいて維持する縦横比を特定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、 [ピクセルのサイズ変更オプションと効果] をご参照ください。

実寸 / 印刷サイズ

単位	使用する単位を指定します。
幅	画像の新しい幅を指定します。
高さ	画像の新しい高さを指定します。
解像度	画像の印刷解像度を指定します。
オリジナルの縦横比を保持	画像の縦横比を保持します。こちらが推奨されます。
次に合わせる	幅または高さに基づいて維持する縦横比を特定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、 [ピクセルのサイズ変更 オプションと効果] をご参照ください。



複数の操作を一度に適用するには、管理モードから一括 | 新しい一括ワークフローを選択してください。一括ワークフローダイアログで、左のペインから操作を選択したら、右のペインへドラッグアンドドロップしてください。

複数ファイルの名前を変更する

[名前の一括変更] ツールを使用して、複数のファイル名をまとめて変更することができます。テンプレートを数値またはアルファベット順で指定したり、次の操作のために保存したり、特定の文字/語句を置き換えたり、各ファイル名にファイル特有情報を挿入したりすることができます。

一括ワークフロー: 複数のファイルの名前を変更する

ファイル名を一括変更するには:

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. [一括] ボタンをクリックし、[名前を変更]を選択します。
3. [一括ワークフロー]ダイアログボックスで、すばやい調整には[ベーシック]タブを、詳細な調整には[詳細]タブを選択します。
4. トークンを値フィールドにドラッグして、名前の変更フォーマットをカスタマイズします。



値フィールドで要素を編集またはドラッグすると、フォームの下に名前を変更したファイルのプレビューが表示されます。



[アドバンス]タブのオプションを確認して、[テンプレート]ポップアップメニューからテンプレートを選択してください(下の表を参照)。

5. 名前の要素をさらにカスタマイズするには、利用可能なトークンの矢印を使用してください。

6. 以下のいずれかの操作を行います。

- **[保存]**をクリックして操作をプリセットとして保存すれば、次回もすぐに使用することができます。プリセットの名前を入力し**[保存]**をクリックします。次回**[一括]**ボタンをクリックすると、保存したプリセットがオプションとして表示されます。
- **一括を実行**をクリックしてファイル名を変更します。



トークンを削除するには、トークンを選択して **Delete** キーを押します。

テンプレートオプション

テンプレート	設定
マスターファイル名	ファイルのオリジナル名と拡張子を含みます。例:Image.jpg
インデックスで名前を付ける	ファイルの名前を変更し、オリジナルの名前、カウンター、拡張子を含めます。例:Mountains 01.jpg [値]フィールドで、1桁のインデックスのトークン矢印をクリックして、カウンターを設定します。
連番で名前を付ける	ファイルの名前を変更し、オリジナルの名前、順番、拡張子を含めます。例:Image (1 of 54).jpg
カウンターで名前を付ける	ファイル名を変更し、オリジナルの名前、カウンター、拡張子を含めます。例:Image 01.jpg, Image 02.jpg, Image 03.jpgなど。1の1からカウンターを開始するトークン矢印をクリックして、から開始および桁フィールドに番号を設定します。 1から開始および1桁を選択した場合、ファイル名は次のように変更されます。Image 1.jpg、Image 2.jpgなど。 1から開始および2桁を選択した場合、ファイル名は次のように変更されます。Image 01.jpg、Image 02.jpgなど。
日時で名前を付ける	ファイル名を変更して、オリジナルの名前、日付、時間、ファイル拡張子を含めます。例:Image 2012-01-08_13-09-03.jpg
インデックス付きカスタム名	ファイル名を変更して、カスタム名、インデックス、ファイル拡張子を含めます。例:Mountains 01.jpg 値フィールドで、画像を削除してカスタム名を入力します。1桁のインデックスのトークン矢印を選択して、カウンターを設定します。
連番のカスタム名	ファイル名を変更して、カスタム名、順番、ファイル拡張子を含めます。例:Mountains (1 of 3).jpg 値フィールドで、画像を削除してカスタム名を入力します。
カウンター付きカスタム名	ファイル名を変更し、カスタム名、カウンター、拡張子を含めます。例:Image 01.jpg、Image 02.jpg、Image 03.jpgなど。 [値]フィールドで、[画像]を削除し、カスタマイズした名前を入力します。1 of 1トークンの矢印から始まるカウンターをクリックし、[開始元]フィー

テンプレート

設定

ルドと[数字の開始]フィールドに数値を設定します。



複数の操作を一度に適用するには、管理モードから一括 | 新しい一括ワークフローを選択してください。一括ワークフローダイアログで、左のペインから操作を選択したら、右のペインへドラッグアンドドロップしてください。

メタデータの編集

一括ボタンにある情報の設定を使って、メタデータを変更したり、追加することが可能です。すべてのファイルに情報を入力することができ、しかもトークンを使えば個々のファイルにそれぞれに特有の情報を適用することもできます。なお設定をテンプレートとして保存して、他の画像に使うこともできます。

複数のファイルのメタデータを変更/追加するには:

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. [一括]ボタンをクリックし、[情報の設定]を選択します。
3. **保存先** ドロップダウンリストを使って、変更したい情報フィールドを表示します。例えば、IPTC Core キーワードを変更する場合、最初のドロップダウンリストからは IPTC Core を、次のリストから内容を、3番目のリストからはキーワードを選択してください。
4. **メタデータ**または **ソース値** トークンを**値** フィールドにドラッグ&ドロップします。
5. 以下のいずれかの操作を行います。
 - [保存]をクリックして操作をプリセットとして保存すれば、次回もすぐに使用することができます。プリセットの名前を入力し[保存]をクリックします。次回[一括]ボタンをクリックすると、保存したプリセットがオプションとして表示されます。
 - **一括を実行**をクリックして設定をファイルに適用します。



値フィールドに追加されたエントリは保存先の内容を書き換えます。



値フィールドで要素を編集またはドラッグすると、フォームの下にプレビューが表示されます。



複数の操作を一度に適用するには、管理モードから一括 | 新しい一括ワークフローを選択してください。一括ワークフローダイアログで、左のペインから操作を選択したら、右のペインへドラッグアンドドロップしてください。

透かしの一括追加

透かしの一括追加を使用して、複数の画像に一度に透かしを追加することができます。

 透かしの追加は破壊的処理のため、元に戻せないことに注意してください。

透かしの一括追加ツールを使用するには:

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. [一括]ボタンをクリックし、[透かし]を選択します。
3. [透かしの一括追加]ダイアログで、以下の説明に従って設定を行います。
4. [保存]をクリックして適用します。

 プレビューウィンドウの下にある矢印を使用して、バッチ内の各画像を反転することができます。

透かしの一括追加 オプション

プリセット

使用した透かし設定はプリセットとして保存し、後で再利用することができます。目的の透かし設定を構成したら、フィールドにプリセットの名前を入力して[保存]を押します。プリセットは今後、このプリセットドロップダウンメニューで利用できます。

画像

参照	[参照]をクリックして透かしを選択し、[開く]をクリックします。既定値として、透かしは画像の中央に表示されます。クリック&ドラッグで透かしの位置を調整するか、以下の[位置]セクションのオプションを使用します。
縦横比を保持してサイズ変更する	このチェックボックスを有効にすると、透かしの形を引き伸ばしたりゆがめたりせず、縦横比を保ったままサイズを変更できます。
不透明度	透かしの透明度を指定します。

位置

左右 上下	フィールドとドロップダウンメニューのオプションを使用して、透かしの水平方向と垂直方向の位置を構成します。
中央	[中央]ボタンをクリックして、透かしを画像の中央にすばや配置します。

オプション

[オプション]ボタンをクリックして、次の保存オプションを設定します。

- **元のファイルを置換する:**透かし付きの新しいバージョンの画像で元のファイルを上書きします。
- **修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する:**修正された画像に別の名前を付け、元の画像と同じフォルダに保存します。
- **修正済み画像を次のフォルダに保存する:**修正された画像を指定先のフォルダに保存します。[参照]ボタンをクリックしてフォルダを選択します。

リセット

すべてのオプションを既定値にリセットします。

枠の一括追加

枠の一括追加を使用して、複数の画像に一度に枠を追加することができます。

 枠の追加は破壊的処理のため、元に戻せないことに注意してください。

枠の一括追加ツールを使用するには:

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. [一括]ボタンをクリックして、[枠]を選択します。
3. [枠の一括追加]ダイアログで、以下の説明に従って設定を行います。
4. [保存]をクリックして適用します。

 プレビューウィンドウの下にある矢印を使用して、バッチ内の各画像を反転することができます。

枠の一括追加オプション

プリセット

使用した枠設定はプリセットとして保存し、後で再利用することができます。目的の枠設定を構成したら、フィールドにプリセットの名前を入力して[保存]を押します。プリセットは今後、このプリセットドロップダウンメニューで利用できます。

枠

サイズ	枠の幅サイズをすべて同時に設定します。スライダを左右にドラッグして、枠の幅を調整します。数値を直接入力するか、上または下矢印を使って幅を調整することも可能です。 [サイズ] フィールドの下に、枠を含んだ画像サイズが表示されます。枠のサイズを調整するにつれ、ここに表示される最終サイズが変わります。
カラー	ボックスをクリックして、[カラー]ダイアログを開きます。枠の色を選択します。
テクスチャ	[テクスチャ] ラジオボタンを選択すると有効になります。次のいずれかを実行します: • ボックスをクリックすると、テクスチャライブラリが表示されます。サムネイルを見てお気に入りのテクスチャを選択します。 • ボックスの下にある左右の矢印をクリックして、ライブラリを開かずにテクスチャを参照します。

エッジ

ストレート	枠のエッジを直線に設定します。
不規則	[不規則] ラジオボタンを選択すると有効になります。次のいずれかを実行します: • エッジのボックスをクリックすると、エッジライブラリが表示されます。サムネイルを見てお気に入りのエッジを選択します。 • ボックスの下にある左右の矢印をクリックして、ライブラリを開かずにエッジを参照します。

オプション

- [オプション] ボタンをクリックして、次の保存オプションを設定します。
- **元のファイルを置換する:** 枠付きの新しいバージョンの画像で元のファイルを上書きします。

- **修正済み画像の名前を変更し、ソースフォルダに保存する:** 修正された画像に別の名前を付け、元の画像と同じフォルダに保存します。
- **修正済み画像を次のフォルダに保存する:** 修正された画像を指定先のフォルダに保存します。[\[参照\]](#)ボタンをクリックしてフォルダを選択します。

リセット

すべてのオプションを既定値にリセットします。

一括プリセットの使用

プリセットは、事前に設定された一連の操作で、ACDSee 写真館 9 が選択されたファイルに対して実行するものです。例えば、[\[コピー\]](#) および [\[名前を変更する\]](#) の操作を含んだ「Copy_Rename」と呼ばれるカスタムプリセットを作成できます。「Copy_Rename」操作は選択したファイルのコピーを作成し、コピーしたファイルの名前だけを変更します。[\[移動\]](#)のように必要な操作が1つだけのときでも、もちろんプリセットを作成できます。プリセットはいつでも変更したり削除することができます。キーボードショートカットを一括プリセットに割り当てて、すばやく適用することもできます。

一括処理をプリセットとして保存する

[一括ツール](#)を使ってカスタムワークフローを作成し、作成した一括操作を次回も使用できるよう、プリセットとして保存できます。

カスタマイズしたワークフローをプリセットとして保存するには:

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. [\[一括\]](#)ボタンをクリックし、[\[新しい一括ワークフロー...\]](#)を選択します。
3. 一括ワークフローダイアログボックスにて、左のペインから1つ以上の操作を選択し、右のペインにドラッグ & ドロップします。
4. [タイムスタンプの編集](#)、[フォーマット変換](#)、[コピー](#)、[移動](#)、[現像](#)、[名前の変更](#)、[サイズの変更](#)、および[情報の設定](#)操作の設定をカスタマイズします。
5. [\[保存\]](#)をクリックして操作をプリセットとして保存すれば、次回もすぐに使用することができます。プリセット名 (例えば batch_copyrename など) を入力します。
6. 必要に応じて、プリセットにキーボードショートカットを割り当てることができます。[\[キーボードショートカット\]](#)フィールドにショートカットを入力します。すでにショートカットがコマンドに割り当てられている場合、引き続きか、別のショートカットを選択するオプションが表示されます。[プリセットの適用](#)を参照してください。
7. [\[保存\]](#)をクリックします。次回[\[一括\]](#)ボタンをクリックすると、保存したプリセットがオプションとして表示されます。

プリセットを適用する

選択した多数のファイルに一括プリセットを一度に適用して、時間を節約できます。

一括プリセットを適用するには:

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行ってください:
 - 目的のプリセットにキーボードショートカットを割り当てている場合は、キーボードショートカットを入力します。
 - [一括]ボタンをクリックして、ドロップダウンメニューから目的のプリセットを選択します。

一括プリセットを管理する

一括プリセットを変更、名前の変更、削除、または他の人と共有することも可能です。

プリセットを変更する

プリセットを編集するには:

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. 一括ボタンをクリックして、編集したいプリセットを選択します。
3. 編集をクリックします。
4. 一括ワークフローダイアログボックスにて、設定を変更します。
5. ダイアログボックスを閉じて変更を保存します。



操作中に閉じるボタンをクリックすると、そのプリセットはリストから削除されます。

プリセットの名前を変更する

プリセットの名前を変更するには:

1. 一括ボタンをクリックして、名前を変更したいプリセットを選択します。
2. [名前を変更する]をクリックします。
3. ダイアログで、プリセットの新しい名前を入力します。
4. [名前の変更]ボタンをクリックします。

プリセットを削除する

一括プリセットを削除するには:

1. 管理 モードで、画像を1つ以上選択します。
2. 一括 ボタンをクリックして、削除したいプリセットを選択します。
3. 削除 をクリックします。

プリセットをインポートおよびエクスポートする

プリセットをエクスポートして、他のユーザーと共有することができます。他のユーザーまたは古いコンピュータによって作成されたプリセットをインポートすることもできます。

プリセットをインポートまたはエクスポートするには:

以下のいずれかの操作を行ってください:

- [ツール] から[一括プリセットのインポート]をクリックします。
- [ツール] から[一括プリセットのエクスポート]をクリックします。

ピクセルのサイズ変更 オプションと効果

ピクセルの大きさを新しく設定することで、管理モードの1つ以上の画像を拡大 / 縮小することができます。ピクセル単位でサイズ変更する詳しい情報については、[複数画像のサイズを変更する](#)をご覧ください。



画像を拡大すると、ピクセルがモザイク化するため画質を下げることになります。可能な限り、画像のサイズを拡大しないようお勧めします。

ピクセル サイズ変更 オプション

サイズ変更オプション	次に合わせるオプション	操作
拡大のみ		
	幅のみ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。幅の値が増加すると、縦横比を保つために高さの値も増加します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。高さの値が増加すると、縦横比を保つために幅の値も増加します。
	幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ(最大画像)	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最大にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
縮小のみ		
	幅のみ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。幅の値が減少すると、縦横比を保つために高さの値も減少します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。高さの値が減少すると、縦横比を保つために幅の値も減少します。
	幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。

サイズ変更オプション	次に合わせるオプション	操作
	幅 または 高さ(最大画像)	だけ近づけるように調整します。 指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最小にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
拡大または縮小		
	幅のみ	指定された値に幅を変更し、縦横比を保つために高さも変更します。
	高さのみ	指定された値に高さを変更し、縦横比を保つために幅も変更します。
	幅と高さ	画像サイズを指定された幅と高さの値以内に変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅 または 高さ(最大画像)	画像サイズを指定された幅と高さの値以内に変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最大または最小にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。

データベース情報を管理する

データベース情報を管理する

ACDSee 写真館 9 データベースについて

フォルダをACDSee 写真館 9 参照すると、データベースは、画像やメディアファイルの情報を自動保存します。このプロセスはカタログ化と呼ばれています。データベースはコンピューターのブラウズ速度を向上するだけでなく、データベースに格納された情報を使って画像やメディアファイルの並べ替え、管理、

検索、フィルタリングを行うことができます。他にも [リムーバブルデバイスまたは CD/DVD ドライブをデータベースから取り除く](#)も選択できます。

データベースでフォルダをカタログ化する

ACDSee 写真館 9 で参照されたファイル情報やサムネイルは、データベースに自動的に追加されます。カタログ機能を使用すれば、複数のファイルをまとめてデータベースに追加することができます。先にフォルダを参照する必要はありません。特にこの機能は、ACDSee 写真館 9 を初めて使用する場合や大きな画像コレクションの参照や管理を行う場合に、フォルダのロード時間が短縮できるのでとても便利です。

フォルダをカタログ化

フォルダをカタログ化するには：

1. [ツール]から[フォルダをカタログ化]をクリックします。
2. [フォルダをカタログ化]ダイアログボックスで、フォルダを参照し、選択します。
3. サブフォルダも含みたい場合は、**サブフォルダを含む**にチェックを入れます。
4. **カタログ**をクリックします。



ACDSee 写真館 9は、XMP を使用してデータベース情報を各ファイルに埋め込みます。XMP に対応しているのは一部のフォーマット、拡張子のみです。GIF、JPEG、DNG、PNG、TIF は対応しています。これらのファイルフォーマットの場合、データベース情報はファイル内部に埋め込まれますので、名前を変更したり、ファイルをの外へ移動した場合でも、データベース情報は抽出可能です。



現時点でXMPをサポートしていないRAW、PSD、ABRの場合、データベース情報は、サイドカーファイルに書き込まれ、同じフォルダに保存されます。サイドカーファイルは元のファイルとは別ファイルであるため、名前の変更やファイルの移動は一緒に行う必要があります、そうしないとデータベース情報は失われてしまいます。

複数のデータベースの作成と切り替え

ACDSeeでは複数のデータベースを作成することができ、またいつでもデータベース間の切り替えが行えるため、どんなに大量のファイルでも楽に管理できます。[ACDSee 写真館 9 Mac用データベースについて](#)を参照してください。

ACDSee を初めて起動して使用するオリジナルのデータベースが、新しく追加でデータベースを作成しない限り継続して使用されます。別に指定しない限り、作成する追加データベースはすべて同じ場所に保存されます。



また、ACDSee を初めて開いたときには、データベースのインポートツールを使って、以前のバージョンのデフォルトデータベースをインポートすることもできます。以前のバージョンで作成したカスタムデータベースを代わりにインポートする場合は、データベースのインポートダイアログを閉じてから、データベースの復元ツール(ツールメニュー内にあります)を使用し、復元するデータベースを選択してください。

複数のデータベースの使用事例

- 写真家が、クライアントごとに別のデータベースを使用し、個々のデータベースを提供する場合。
- ユーザーが、同じマシンで作業する際に、仕事用と個人用に別々のデータベースを作成する場合。
- ユーザーが確立されたキーワードとラベル付けシステムを保有しており、古いシステムと競合することなく新しいシステムを試してみたい場合。

新規データベース作成するには:

1. 管理モードで、[ファイル]>[データベース]>[新規作成...]を選択します。
2. [新規のデータベース]ダイアログボックスで、新規データベースの名前を入力します。
3. [参照]からデータベースを保存するロケーションを指定しても、既存のデータベースが保存されている既定のロケーションのままでもかまいません。
4. アプリケーションのタイトルバーにデータベース名を表示したい場合は、[タイトルバーにデータベースのファイル名を表示する]チェックボックスをチェックします。
5. ダイアログが開き、新しく作成したデータベースに切り替えるか確認されます。ACDSee は再起動後、新しいデータベースを使用します。

データベース間を切り替えるには:

[管理] モードで次のいずれかの操作を行います。

[ファイル]>[データベース]>[開く]を開きます。	[データベースを開く]ダイアログボックスで、使用したいデータベースファイル (*.mediaDatabase) を参照し、[開く]をクリックします。
----------------------------	--

[ファイル]>[データベース]>[最近使った項目]を開きます。	最近使用したデータベースから希望のものを選択してください。
---------------------------------	-------------------------------

写真を新規データベースに追加する方法:

フォルダをACDSee 写真館 9 参照すると、データベースは、画像やメディアファイルの情報を自動保存します。新しく作成したデータベースの内容をカスタマイズするには、含めたい特定のフォルダーを参照するだけです。お好みに合わせて一般的または具体的なデータベースを整理し、それらを切り替えることによりエクスペリエンスを管理することができます。

データベース情報を埋め込む

フォルダをACDSee 写真館 9 参照すると、データベースは、画像やメディアファイルの情報を自動保存します。このプロセスはカタログ化と呼ばれています。データベースはコンピューターのブラウズ速度を向上するだけでなく、データベースに格納された情報を使って画像やメディアファイルの並べ替え、管理、検索、フィルタリングを行うことができます。

さらに強固にデータベースの情報を守りたい場合(データベースが破損するなど稀なケースに備えて)は、データベース情報を直接ファイルに埋め込むことができます。データベースの他にファイルにもデータベース情報を埋め込んでおくと、データのバックアップが安全に行われるだけでなく、必要に応じてデータを取り込むことができるため大変便利です。

データベース情報を埋め込むには:

1. 「ファイル一覧」ペインでファイルを選択します。
2. 「ツール」から「メタデータ」をクリックし、次のいずれかを選択します。
 - 選択されたファイルに ACDSee メタデータを埋め込む...
 - 全ファイルに ACDSee メタデータを埋め込む...
3. 埋め込むをクリックします。

 埋め込まれたXMPに対応していないファイルタイプ(例:RAW ファイル)のために、XMPサイドカーファイルが作成されます。

埋め込み保留中 アイコン

管理モードの「ファイル一覧」ペインでは、次のオーバーレイアイコンは、ファイルへ未書き込みの ACDSeeデータベース内に保存されているACDSeeメタデータを含むファイルのサムネイル上に表示されます。

ファイルを右クリックして次のどちらかの操作を選択してください。

ACDSee メタデータを埋め込む...	メタデータをファイルへ書き込みます。
埋め込み保留中 フラグをクリア	このオーバーレイアイコンは消去しますが、メタデータをファイルに書き込むことはしません。

データベース情報を埋め込むオプション

データベース情報を埋め込むとき、以下のメタデータを保存するかを選択することができます:

- ACDSee メタデータ、カテゴリ、キーワード、重要度、カラーラベル、その他のメタデータを含みます。
- ACDSee顔データ、顔の縁取りと名前を含みます。



XMPサイドカーファイルを書き込むことができます(例えばRAWファイルなど)。

データの埋め込みが必要なファイルを表示する

「埋め込み保留中」オプションを使用して、埋め込む必要があるデータが含まれているファイルをすばやく表示する方法があります。

データの埋め込みが必要なファイルを表示するには:

「整理」ペインの「スペシャル アイテム」から「埋め込み保留中」を選択します。

ファイル一覧に、埋め込みの必要なデータを含んでいるファイル一覧が表示されます。

埋め込まれているデータベース情報を取り込む

「プロパティ」ペインで画像を参照し、埋め込まれているデータベース情報を表示すると、埋め込まれているデータベース情報を取り込むことができます。ファイルの格納されているフォルダを参照すると、ACDSeeメタデータの一部が取り込まれ、データベースに書き込まれます。ただしカテゴリとキーワードはこれに該当しません。埋め込まれているカテゴリとキーワードのデータベース情報を取り込むには、カタログフォルダコマンドを使用できます。

埋め込まれているデータベース情報を取り込むには:

1. 「ツール」から「フォルダをカタログ化」をクリックします。
2. 「フォルダをカタログ化」ダイアログボックスで、フォルダを参照し、選択します。
3. サブフォルダも含みたい場合は、サブフォルダを含むにチェックを入れます。
4. カタログをクリックします。

データベースのバックアップと復元

データベースをバックアップするには:

1. [ツール]>[データベースのバックアップ]を選択します。
2. ファイルのバックアップ名と場所を入力します。
3. [バックアップ]をクリックします。

データベース情報を復元するには:

1. [ツール]から[データベースの復元]を選択します。
2. [データベースの復元]ダイアログで、バックアップファイルが保存されている場所を参照します。
3. [復元]をクリックして、データベースの復元を実行します。

データベースを空にする

データベースをまったく新しい状態にして、やり直すことができます。データベースを空にすると、キャッシュされたサムネイル、カテゴリ、重要度、キーワード、その他のACDSee 写真館 9 データベース情報はすべて永久に削除されます。

データベースを空にするには:

1. 管理モードで、[ツール]>[データベースを空にする]を選択します。または**Control—Option—Command—Delete**キーを押します。
2. [空にする]をクリックします。

 [データベースの最適化]は特定のボリュームを削除しますが、[データベースを空にする]オプションは、データベースとそのすべてのコンテンツを削除します。

データベースの最適化

パフォーマンスを向上させるために、データベースにあるもう使わない古い情報を削除したり、データベース情報をすべて削除することができます。

データベースをメンテナンスするには:

1. [ツール]から[データベースの最適化]を選択します。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - ボリュームを選択し、**孤立した項目を削除**をクリックして孤立しているデータベース情報を削除します。
 - ボリュームを選択し、**すべての項目を削除**をクリックして、データベースにある情報をすべて削除します。

 データベースの最適化は特定のボリュームを削除しますが、データベースを空にするオプションは、データベースとそのすべてのコンテンツを削除します。

 孤立した項目とは、ACDSee 写真館 9以外のアプリケーションによって削除されたり移動した、もう存在していないデータベースエントリを意味します。

サムネイルとメタデータの再構築

[ファイル一覧]ペインで表示されるサムネイル画像や埋め込まれたメタデータの同期が適切に行われていないことがあります。そのような状況が発生した場合、サムネイルとメタデータの再構築機能を使用して、選択した画像のサムネイルをすばやく再構築することが可能です。

サムネイルを再構築するには:

1. [管理] モードで次のいずれかの操作を行います。
 - [ファイル一覧]ペインから1つ以上のサムネイルを選択します。
 - [フォルダ]ペインからフォルダを選択します。
2. [ツール]から[メタデータ]>[サムネイルとメタデータの再構築]をクリックします。

印刷する

画像を印刷する

以下のACDSee 写真館 9 印刷ユーティリティでは、お好みの用紙サイズで画像を印刷することができます。[印刷] ダイアログ ボックスのオプションを変更すると、更新された画像のプレビューと用紙の位置が表示されます。

画像を印刷するには:

1. 管理 モードで、印刷したい画像を選択します。
2. [ファイル]>[印刷]をクリックするか、**Command—P**を押します。
3. [画像を印刷]ダイアログにて、**用紙サイズ**ポップアップメニューで用紙のサイズを指定します。
4. **プリントサイズ**ポップアップメニューから、印刷サイズを選択します。
5. [プリントレイアウト]ペインにあるレイアウトを選択します。
6. 印刷 をクリックします。

コンタクトシートを作成する

画像サムネイルをページに並べて表示した「コンタクトシート」を作成することができます。これを使って画像を共有することができます。

コンタクトシートはを作成するには:

1. 管理 モードの[ファイル一覧]ペインから、含めたい画像を選択します。
2. [ファイル]>[印刷]をクリックするか、**Command—P**を押します。
3. [画像を印刷]ダイアログにて、**用紙サイズ**ポップアップメニューで用紙のサイズを指定します。
4. **プリントサイズ** ポップアップメニューから、印刷したサイズを選択します。
5. **プリントレイアウト**ペインから**コンタクトシート**を選択します。
6. 印刷 をクリックします。

PDFを作成する

これを使用して ACDSee 写真館 9 画像を PDF (Portable Document Format) に変換することができます。

PDFファイルを作成するには:

1. 管理モードの[ファイル一覧]ペインから、PDF としてエクスポートする画像を選択します。
2. [ファイル]>[印刷]をクリックするか、**Command—P**を押します。
3. [印刷] ボタンをクリックして、印刷ダイアログを開きます。
4. [PDF]をクリックし、[PDFとして保存]を選択します。
5. 名前をつけて保存 名前 フィールドにファイル名を入力し、PDFとして保存する場所を選択します。
6. タイトル、制作者、テーマ、およびキーワード欄に情報を入力します。
7. [保存]をクリックします。

プリントサイズのカスタマイズ

ACDSee では、画像のプリントサイズをカスタマイズできます。

プリントサイズをカスタマイズするには:

1. 管理モードの[ファイル一覧]ペインから、印刷する画像を選択します。
2. [ファイル]>[印刷]をクリックするか、**Command—P**を押します。
3. プリントサイズ のポップアップメニューで、[カスタマイズ]を選択します。
4. プリントサイズダイアログで、[+] ボタンをクリックして新しいサイズを追加します。
5. 単位 ポップメニューから単位を選択します。
6. [幅]および[高さ]フィールドに測定値を入力します。

表示モード

表示モードについて

表示モードでは、フル解像度の画像を1枚ずつ表示することができます。[プロパティ]ペインを開いて([表示]>[プロパティ]ペイン)画像のプロパティを確認したり、画像の一部を拡大表示したり、画像を回転することも可能です。

表示モードでフィルムストリップを活用して、フォルダ内の画像をすばやく行き来することもできます。表示モードには、ナビゲーションボタンが備わったツールバーと、ウィンドウに下にあるステータスバーが搭載されています。ステータスバーには、現在選択されている画像の情報が表示されます。

表示モードは次の2つのペインに分かれています:

ビューアはフィルムストリップで選択された画像を表示します。ツールバーにあるツールを活用して、画像を回転したり、拡大することができます。

フィルムストリップにはフォルダ内の画像または選択された画像を表示します。左右方向の矢印キーで画像を参照します。

表示モードへアクセスするには:

管理モードでファイルを選択したら、次のいずれかの操作を行います。

- ACDSeeの右上部にある表示モードボタンをクリックします。
- ACDSeeの上部メニューにある[表示]>[表示モード]を選択します。
- **Option+Command+V**キーを押して表示モードに切り替えます。
- 管理モードで画像をダブルクリックします。



表示モードには画像のみが表示されます。



最適化なパフォーマンスを確保するために、画像の表示とスライドショー機能使用時にGPUが使用されます。ご利用のコンピュータに複数のGPUが存在する場合、優先システムのデフォルトGPUが使用されます。

情報パレット

フィルムストリップの下部にある表示モードの右側に情報パレットがあり、画像のEXIF情報の最も有用な要素へすぐにアクセスできます。次の要素を含みます:

- カメラ名とレンズモデル
- 寸法
- ファイルサイズ

- 露出プログラム
- ホワイトバランス
- 測光モード
- フラッシュ
- RAW(RAW フォーマットでないファイルの場合は空欄になります)
- ISO
- F値
- シャッタースピード
- 露出補正
- 焦点距離



情報パレットが--の値を表示している場合、画像に対して現在情報がありません。

顔の検出:

顔検出パレットを使用して検出された顔を表示し、それらの顔に名前を付けます。

オリジナル画像を表示:

表示モードで画像に変更が加えられている場合、情報パレットの左側にあるオリジナルを表示ボタンを押してすぐにオリジナル画像を表示できます。オリジナルを表示ボタンを離して、現在の画像に戻ります。

表示モードでスナップショットをプレビュー:

スナップショットを現像モードで保存している画像を表示モードで表示した場合、スナップショットをプレビューできます。

スナップショットをプレビューするには:

1. スナップショットを持った画像を表示モードに表示
2. フィルムストリップの上にあるスナップショットプレビューボタンを選択
3. プレビューしたいスナップショットの任意をクリック



表示モードでスナップショットをプレビューしている間は、そのスナップショットが適用された新しいファイルを保存するには、[ファイル] | [名前を付けて保存]をクリックします。

表示モードで画像を扱う

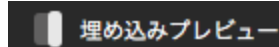
RAW画像を表示する

対応しているRAWフォーマットは、コンピュータにインストールされている、Appleが更新する最新RAWフォーマットにより異なります。Apple社のwebサイトにてお使いのRAWフォーマットが対応しているかどうかご確認ください。

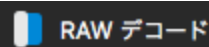
RAW画像ファイルは、カメラのネガに似ています。カメラで撮影する際、画像を構成するすべての「生の」データがキャプチャされます。RAW画像にはJPEGが埋め込まれているため、画像をプレビュー表示することができます。

管理モード内でRAW画像のサムネイルをダブルクリックすると、ACDSeeにより、そのRAWファイルを以前に現像したことがあるかが確認されます。現像したことがある場合、ACDSeeにより、現像された写真が表示モードに表示されます。現像したことがない場合、ACDSeeにより次のいずれかの処理が実行されます。

- 表示モードの[埋め込みプレビュー]スイッチを選択している場合、または環境設定ダイアログボックスの全般ページの[埋め込みプレビュー]ラジオボタンを選択している場合、ACDSeeにより、写真を撮影した時にカメラによって作成された埋め込みJPEGが表示されます。これは既定値として設定されています。



- 表示モードの[RAWデコード]スイッチを選択している場合、または環境設定ダイアログボックスの全般ページの[RAWデコード]ラジオボタンを選択している場合、ACDSeeによりRAWファイルがデコードされ、そのRAWファイルの仮写真が表示されます。



表示モードで画像を参照する

表示モードでは、下中央のボタンまたはキーボードショートカットを使用すると、画像の参照が簡単です。各ボタンについて詳しくは、下記の表を参照してください。

Fn + ←	最初の画像に移動	選択中のフォルダの最初の画像を表示します。
	戻る	前の画像を表示します。
	進む	次の画像を表示します。
Fn + →	最後の画像へ移動	選択中のフォルダにある最後の画像を表示します。



Commandキーと+または-キーを同時に押すと、画像を拡大・縮小することができます。



選択ツールを使って画像の一部をコピーして貼り付けることができます。

表示モードで画像を表示する

表示モードでよく使用するツールについては、以下の表を参照してください。

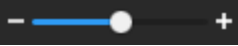
表示モードの表示オプション

表示	メニュー	キーボードショートカット
実際のサイズ	「表示」>「実際のサイズ」 または  ボタンをクリックします	Command—/
画像に合わせる	「表示」>「画像に合わせる」 または  ボタンをクリックします	Command—*
幅に合わせて表示	「表示」>「幅に合わせて表示」	Command—左矢印キー
高さに合わせて表示	「表示」>「高さに合わせて表示」	Command—右矢印キー



Commandキーと+または-キーを押すと、画像を拡大および縮小することができます。

画面下のツールバー

	外部エディタ	ユーザーの選択した外部エディタでファイルを開きます。
	左に回転	選択された画像を左へ回転します。
	右に回転	選択された画像を右へ回転します。
	フルスクリーン	画像をフルスクリーンで表示します。
	スライドショー	スライドショーで画像を開きます。
	バスケットに追加	バスケットに画像を追加します。
	顔ツール	顔の輪郭や名前を編集する「顔ツール」を開きます。
	選択ツール	選択ツールを使って画像の一部を拡大またはコピー&貼り付けすることができます。
	スナップショット	保存したスナップショットのサムネイルを表示します。
	自動切り替え	自動切り替え を切り替えます。
	顔の輪郭を表示	検出された顔の輪郭を画像に表示するかどうかを切り替えます。
	フィルムストリップを非表示	フィルムストリップを閉じます。
	ズームの固定	ズームレベルをロックします。
	ズームスライダ	「ファイル一覧」ペインのサムネイルの大きさをコントロールできます。スライダをドラッグしてサムネイルの大きさを設定します。ズームスライダはサムネイル表示でのみ有効です。

フィルムストリップで画像を表示する

表示モードでフィルムストリップを活用して、フォルダ内の画像を表示することができます。フィルムストリップを折り畳むこともできます。

フィルムストリップで画像を表示するには：

以下のいずれかの操作を行います。

- フィルムストリップの画像をクリックします。
- 矢印キーを押します。
- フィルムストリップの下部に位置するスクロールバーをクリック&ドラッグします。
- フィルムストリップ上にカーソルを置き、マウスでスクロールします。

フィルムストリップを閉じる

画像を表示モードウィンドウに合わせるため、フィルムストリップを閉じることができます。

フィルムストリップを閉じるには:

ツールバーで、「フィルムストリップの表示/非表示」ボタンを押して、フィルムストリップを閉じたり展開したりします。▼



フィルムストリップが閉じているときには、矢印キーを使って画像を表示します。

表示モードで顔検出と認識を使用する

顔検出を使用して、表示モードで閲覧している画像内の人物を検出することができます。また、他のプログラムからの顔データを表示モードでインポートすることもできます。



フォルダーを現在閲覧しているときに「管理モード」で顔検出を完了させると、このプロセスが改善されます。

表示モードでは、顔検出パネルまたは顔ツールを使用して、検出された顔に名前を割り当てることができます。検出された顔に名前を付けることで、ACDSeeは将来の画像の個人を認識するのに役立ちます。これを顔認識と呼びます。名前がつけられる回数が増えるほど、彼らが認識される可能性が高くなり、将来の作業が時間節約になります。また、ACDSeeが間違っって顔に付けた名前を修正することで、結果を改善することもできます。修正が行われるほど、再発が少なくなります。顔に1回以上名前が付けられると、ACDSeeは将来の顔にこの名前を提案するかもしれません。[提案](#)セクションを参照してください。

付けられた名前を使用すると、画像内の人物の名前で画像を検索することができます。管理モードのサーチ機能を使用するだけでなく、[整理](#)ペインの人物グループも使用して検索することができます。また、[人物マネージャ](#)を使用して、顔に付けられた名前を管理することもできます。

顔検出はデフォルトで有効になっています。顔検出はサポートされている画像ファイルタイプでのみ利用できます。



サポートされていない場所(電話など)や、データベースから除外されているファイル上で顔検出を実行することはできません。

顔検出を有効または無効にする:

次のいずれかを選択します。**ACDSee 写真館 9 | 設定 | 顔検出**を選択し、画像内の顔を自動的に検出するチェックボックスをチェック/チェック解除します。

表示モードで画像を閲覧すると、開くたびに顔検出が各画像をスキャンします。

顔検出ペインを開く:

次のいずれかを実行します。

- 「表示」|「顔検出」を選択します。
- 「⌘ + D」を押します。

検出された顔が顔検出ペインに表示されます。

顔の輪郭を表示する:

- 下部ツールバーで、**顔の輪郭を表示する**ボタン  をクリックします。
- 「⌘ + B」を押します。

検出された顔に名前を付ける:

1. 下部ツールバーで、**顔ツール**ボタン  をクリックします。「⌘ + F」または「表示 | 顔ツール」をクリックします。
2. 顔の輪郭の下にあるフィールドに検出された顔の名前を入力します。
3. 「入力」を押します。

 **Tab**を使用すると、画像上および顔検出ペインの名前フィールドの間でカーソルを移動できます。

顔の輪郭を編集する:

1. 下部ツールバーで、**顔ツール**ボタン  をクリックします。
2. カーソルを使用して、輪郭を移動、拡大、縮小します。

検出されていない顔の周りに輪郭を描き、名前を付ける:

1. 下部ツールバーで、**顔ツール** ボタンをクリックします。 
2. イメージ上に顔のアウトラインを描くようにドラッグします。
3. 顔のアウトラインの下にあるフィールドに、顔の名前を入力します。

❗ 未検出の顔にアウトラインと名前を付けることは、ACDSeeの個人の認識を改善しません。

Lightroom または Picasa から埋め込みフェイスデータをインポートする:

1. 表示モードで、ツール | フェイスの検出 | **Lightroom** または **Picasa** フェイスデータのインポートを選択します。
2. あなたのフェイスデータがインポートされ、フェイスデータがあなたのデータベースに追加されます。

❗ Lightroom または Picasa からフェイスデータをインポートすると、イメージ上の既存のフェイスデータが上書きされます。

提案

1回以上の名前を割り当てた後、ACDSeeは将来の画像にこの名前を提案する可能性があります。提案は時間の経過とともに自己改善され、類似性に基づいて自動的に割り当てることも可能です。

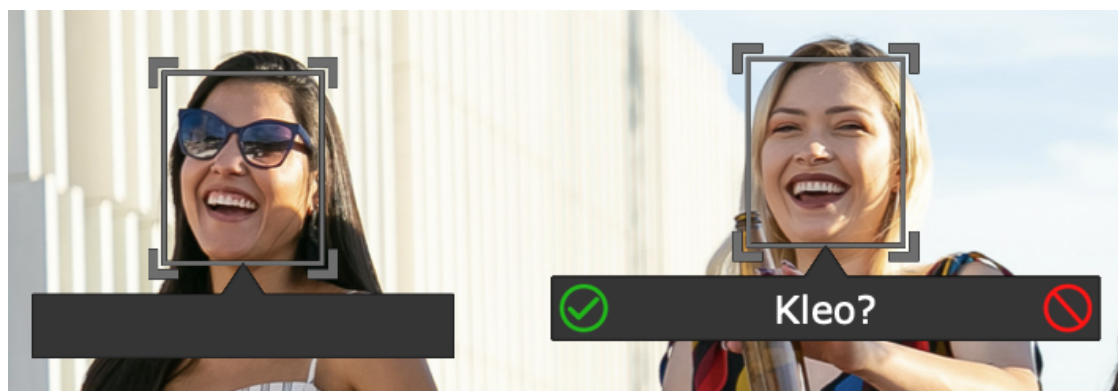


メインビューアーで提案に対して対話するには、**顔ツール**を選択する必要があります。



提案を拒否 または 確認する:

提案された名前を確認するには緑のチェックマークをクリックし、間違った提案を無視するには赤い拒否記号をクリックします。



誤った提案を無視することは、ネガティブな結果を招くことはありません。提案を拒否すると、他の写真の提案に影響を与えることはありません。また、名前フィールド内の提案を編集し、**入力**を押すこともできます。

参照:

- ❖ [人物 マネージャを使用した割り当てられた名前の管理](#)
- ❖ [管理モードでの顔の検出](#)

ナビゲータを使用して画像の選択領域を表示する

ナビゲータペインを使って、表示モードの表示領域よりも大きく拡大された画像のサムネイルを表示します。

ナビゲータアイコンは、画像が拡大されている場合または、実寸表示アイコンがクリックされている場合にのみ表示されます。ナビゲータアイコンをクリックすると、画像の小さな複製が表示されます。ナビゲータでは、表示モード内で表示されている画像の領域は、マーキーで囲まれます。拡大して見たい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の任意の領域でカーソルを離して決定します。

ナビゲータペインを使用するには:

1. 表示モードで、ズームスライダーを右にドラッグして、表示領域を超えて画像の倍率を上げます。
2. ズームスライダーの横に表示されるナビゲーターアイコンをクリックします。
3. ナビゲータペインのマーキーをドラッグして、表示モードで見たい画像の領域に移動します。

現像モード

現像モードについて

現像モードについて

画像の細部までお好みどおりの調整・調節を可能にするツールが充実した現像モードなら、大切な画像のジオメトリをかんたんに修正でき、プロ級の仕上がりを実現します。

「現像」モードで画像を調整しても、オリジナルファイルが変更されることは決してありません。変更は別のファイル内に保存され、画像を開くたびにそれらの変更が適用されるという仕組みになっています。便利な ACDSee 写真館 9 の非破壊的な編集なら、どんなに変更を加えても画像を元の状態にいつでも復元できますので、自由に編集することができます。

処理済みの画像を「現像」モードで開くと、最後にその画像を処理した時の設定で開かれます。そのため、いつでも処理した画像を開いて、最後に使用した設定をリセットしたり、画像を元の状態に戻すことができます。

現像モードで **スペースバー** を押すと、フォルダ内の次の画像に進みます。

現像モードでのカラーピッカーの使用

現像モードでカラーピッカーを使用する場合、カラーマーカーの横の RGB 値は、ホバーカーソルのすぐ下のピクセルの RGB 値に関連するものです。RGB 値は、カーソルの動きを反映して変化します。

画像処理

画像を現像するには:

1. 1 つ以上のファイルを選択して、**現像** をクリックします。
2. 「調整」タブで、次のコントロールグループを使って実行します。「[一般](#)」、「[ホワイトバランス](#)」、「[Light EQ™](#)」、「[カラーEQ](#)」、「[スプリットトーン](#)」、「[ソフトフォーカス](#)」、「[クロスプロセス](#)」、「[ヴィネット効果](#)」、「[トーンカーブ](#)」、および「[出力色空間](#)」。
3. 「詳細」タブで、「[シャープネス](#)」、「[ノイズ除去](#)」、「[色収差](#)」、または「[フリンジ除去](#)」を使用してディテールを調整します。
4. 「ジオメトリ」タブで、「[レンズの歪み](#)」、「[回転&傾きを直す](#)」、「[透視](#)」、「[トリミング](#)」、または「[ヴィネット除去](#)」ツールを使用して、ジオメトリを修正します。
5. **補正** タブ で赤目 やしみを修正します。これには [赤目補正](#) ツールと [修復とクローン](#) ツールを使用します。

保存とキャンセル

画像の処理後は、次にしたい操作によって画像の保存方法を選択します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. **完了** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します:
 - **保存**: 変更を保存します。
 - **名前をつけて保存**: 処理した画像を新しい名前で保存したり、別のフォーマットで保存することができます。
 - **破棄する**: 変更を破棄します。
 - **キャンセル**: 追加した変更は保存されず、現像モードの画像がそのままの状態に残ります。



保存確認のプロンプトをその都度表示せず、追加した変更を自動で保存したい場合は、**自動保存**のチェックボックスにチェックを入れてください。すると次回より、新しい画像へ切り替えると、プロンプトが開くことなく変更は自動で保存されます。この設定は**ACDSee 写真館 9 | 環境設定**にて元へ戻せます。

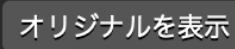
画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

名前を付けて保存 をクリックして、処理した画像を新しい名前で保存したり、別のフォーマットで保存することができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセル をクリックしてください。

現像モードの表示 コントロール

	オリジナルの表示	変更をオン/オフで切り替えて、オリジナルと比較することができます。
	フルスクリーン	画像をフルスクリーンで表示します。
	フィルムストリップを非表示	フィルムストリップを閉じます。
	ズームスライダ	ズームを制御します。スライダをドラッグしてズームを調整します。
	ズームドロップダウンリスト	ドロップダウンリストから、希望のズームを選択します。
	実際のサイズ	現行の画像を原寸に戻します。
	画像に合わせる	現像モードの領域に合わせて画像を縮小します。



最適なパフォーマンスを確保するために、画像を表示や処理する際にGPUが使用されます。コンピューターに複数のGPUがある場合、オペレーティングシステムがどのGPUが使用されるのかを決定します。

情報パレット

情報パレットは、開発するモードのフィルムストリップの右側に位置し、EXIF情報で最も有用な要素への即時アクセスを提供します。それには次のものが含まれます。

- カメラ名とレンズモデル
- 寸法
- ファイルサイズ
- 露出プログラム
- ホワイトバランス
- 測光モード
- フラッシュ
- RAW形式のファイル以外の場合は空白
- ISO
- F値
- シャッタースピード

- 露出補正
- 焦点距離

 情報パレットが--の値を表示している場合、その画像には現在情報がありません。

取り消し / やり直し

履歴ペインを使用する:

履歴ペインを使用すると、画像に行った変更の順序を確認できます。履歴ペインを使用すると、編集の順序を跳び越えて以前に適用した調整に戻することもできます。たとえば、色の調整の後にシャープネス、露出の調整を行ったが、色の調整時の状態に戻りたい場合は履歴ペインを使用します。また、特定のステップをスナップショットとして保存したい場合は、履歴調整を右クリックして**スナップショットの作成...**を選択します。

特定の調整に戻るには、ペイン内の調整を選択します。全ての調整を取り消すには、最後に保存した画像から全ての調整を取り消すすべて元に戻すをクリックします。



オリジナルの画像に復元する

[現像]モードで画像を調整しても、オリジナルファイルが変更されることは決してありません。変更は別のファイル内に保存され、画像を開くたびにそれらの変更が適用されるという仕組みになっています。便利なACDSee写真館9の非破壊的な編集なら、どんなに変更を加えても画像を元のまっさらな状態にいつでも復元できますので、自由に編集することができます。

処理済みの画像を[現像]モードで開くと、最後にその画像を処理した時の設定で開かれます。そのため、いつでも処理した画像を開いて、最後に使用した設定をリセットしたり、画像を元の状態に戻すことができます。

画像をオリジナルの状態に戻す

管理モードまたは表示モードで画像をオリジナルの状態に復元するには:

以下のいずれかの操作を行います。

- 1つ以上の画像をCtrl+クリックして、[現像]>[オリジナルに戻す]を選択します。
- [編集]>[現像]>[オリジナルに戻す]をクリックします。

設定ボタンは、ツールペインの右上に位置しています。

現像の設定をプリセットとして保存して共有する

画像の現像設定を細かく設定し終わったら、次の現像にも使用できるように、その設定を保存できるオプションがあります。現像プリセットは、「調整」、「ディテール」、「ジオメトリ」タブで行った調整を保存します。保存したプリセットは、現像モードのドロップダウンメニューに表示されるようになります。

現像プリセットを保存するには

現像ツールで調整した設定を現像プリセットとして保存するには：

1. 現像モードの現像ツールで画像を調整します。
2. 現像モードにある設定ボタンのドロップダウンメニューを使用して、**プリセットを保存**を選択します。



設定ボタンは、ツールペインの右上に位置しています。

3. プリセットの名前を入力します。削除したい設定のチェックインボックスをチェックを外して、要らない設定は除くこともできます。
4. 保存したプリセットは、現像モードのドロップダウンメニューに表示されるようになります。

1つの画像に現像プリセットを適用する

管理モード、表示モード、または現像モードで画像にプリセットを適用できます。

管理モードで、1つの画像にプリセットを適用するには：

1. 「管理」モードで次のいずれかの操作を行います。
 - 「ファイル一覧」ペインで画像を選択し、「編集」>「現像」>「プリセット名」を選択します。
 - 「ファイル一覧」ペインで画像を右クリックし、コンテキストメニューから「現像」>「プリセット名」を選択します。

表示モードで、1つの画像に現像プリセットを適用するには：

1. 画像を表示モードで開き、次のいずれかの操作を行います。
 - 「編集」>「現像」>「プリセット名」を選択します。
 - 画像を右クリックし、コンテキストメニューから「現像」>「プリセット名」を選択します。
 - フィルムストリップで画像を右クリックし、コンテキストメニューから「現像」>「プリセット名」を選択します。

現像モードで、1つの画像に現像プリセットを適用するには：

1. 画像を現像モードで開き、次のいずれかの操作を行います。

- 「編集」>「現像」>「プリセット名」を選択します。
- 「設定」ボタンを使用して、ドロップダウンメニューから目的のプリセットを選択します。 設定ボタンは、ツールペインの右上に位置しています。

複数のファイルに現像プリセットを一括適用する

管理モードでは、複数のファイルに現像プリセットを一括適用できます。現像プリセットは一括ワークフローツールで複数の画像へ一度に適用することが可能です。

管理モードで複数のファイルに現像プリセットを適用するには:

「管理」モードで次のいずれかの操作を行います。

- 「ファイル一覧」ペインで複数の画像を選択し、「編集」>「現像」>「プリセット名」を選択します。
- 「ファイル一覧」ペインで複数の画像を選択し、選択した画像をCtrl + クリックして、コンテキストメニューの「現像」>「プリセット名」を選択します。

一括現像プリセットを適用するには:

1. 管理モードで、画像を1つ以上選択します。
2. 「一括」ボタンをクリックし、「新しい一括ワークフロー...」を選択します。
3. 一括ワークフローダイアログボックスにて、左のペインから**現像**操作を選択し、右のペインにドラッグ & ドロップします。
4. ポップアップメニューから保存してある**現像プリセット**を選択します。
5. 以下のいずれかの操作を行います。
 - 「**プリセットの保存**」をクリックして操作をプリセットとして保存すれば、次回もすぐに使用することができます。プリセットの名前を入力し「**保存**」をクリックします。「**編集**」>「**一括**」で保存したプリセットにアクセスできます。
 - **一括を実行** をクリックして設定をファイルに適用します。



現像の設定をすぐに画像に適応するには、**現像 | 最後に使用された操作を適用** をクリックします。他にも、保存してある現像設定を**現像**を選択してプリセットをクリックして適用することもできます。

家族や友人と現像プリセットを共有

現像プリセットをインポートするには:

- 「ツール」|「現像 プリセットをインポート」をクリックするか、プリセットの横 のオプションアイコンをクリックし、「インポート...」を選択します。
- インポートしたいファイルを選択します。

現像 プリセットをエクスポートするには:

- 「ツール」|「現像 プリセットをエクスポート」をクリックするか、プリセットの横 のオプションアイコンをクリックし、「エクスポート...」を選択します。
- エクスポートしたいプリセットをチェックします。



インポートとエクスポートするプリセットを選択的に選択できます。

プリセットペインでのカテゴリの使用

プリセットペインでのカテゴリは、プリセットを整理・管理するのに役立ちます。ACDSee 写真館を開いた時に、デフォルトプリセットを含む整理されたデフォルトカテゴリが表示されます。

現像 プリセット用のカテゴリを作成するには:

1. プリセットペインのオプションボタンをクリックし、「新規 カテゴリ」を選択します。
2. 「新規 カテゴリの追加」ダイアログで、カテゴリ名を入力して「OK」を押します。

現像プリセットを家族や友人と共有する

現像プリセットを共有、インポート、エクスポートするには

現像プリセットをインポートするには:

- 「ツール」から「現像プリセットのインポート」をクリックします。

現像プリセット設定をエクスポートするには:

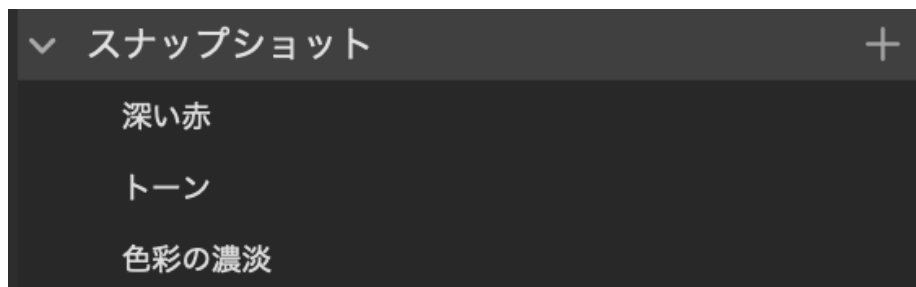
- 「ツール」から「現像プリセットのエクスポート」をクリックします。

現像 スナップショットを取る

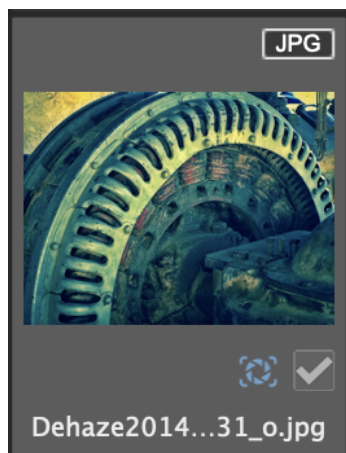
現像ワークフロー中の任意のポイントで調整を保存するために、現像スナップショットを使用することができます。調整を行っているうちに、いつでもスナップショットを取ることができます。これにより、後でそのポイントのバージョンに戻ることができます。プリセットとは異なり、スナップショットは画像に直接保存されます。そのため、現像ードに入り、その間を切り替えたり、編集を続けたり、適用したりすることができます。

スナップショットを取るには:

1. 現像ードで任意の調整を行います。
2. スナップショットパネルで、+ボタンをクリックします。
3. 新しいスナップショットダイアログで、スナップショットに名前を入力し、**OK**を押します。保存したスナップショットは、スナップショットパネルにリスト表示されます。



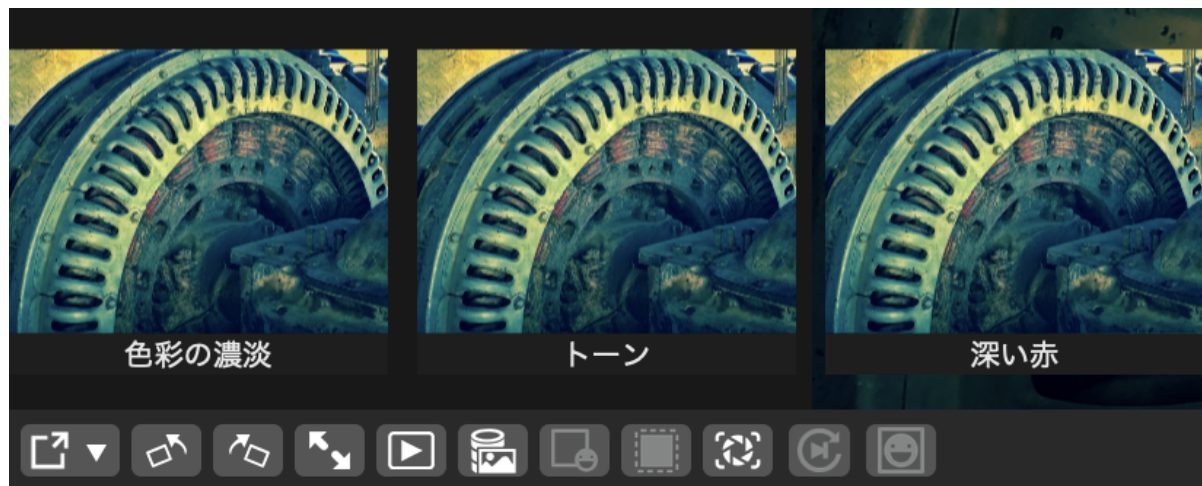
 スナップショットを表示している間に、現像ードから保存された画像のバージョンに戻るには、現像設定の調整ボタン をクリックし、メニューから**最後に保存されたものに戻す**を選択します。



 スナップショットを作成した画像は、設定の管理モードでスナップショットアイコンが表示されます。

スナップショットを表示する

画像に保存されたスナップショットのいずれかを使用して、表示モードで画像を表示することができます。



画像をスナップショットで表示するには：

1. 表示モードで画像を開きます。

2. ツールバーで、スナップショットボタンを押します。 

 現像ードで作成した現像スナップショットを表示している場合にのみ、スナップショットボタンが表示されます。

3. プレビューするスナップショットを選択します。

 表示モードでスナップショットをプレビューしている場合、新しいファイルをそのスナップショットを適用して保存するには、ファイル | 名前を付けて保存をクリックします。

ナビゲータを使用して画像の選択領域を表示する

ナビゲータペインを使って、現像モードの表示領域よりも大きく拡大された画像のサムネイルを表示します。

ナビゲータアイコン  は、画像が拡大されている場合または、実寸表示アイコンがクリックされている場合にのみ表示されます。ナビゲータアイコンをクリックすると、画像の小さな複製が表示されます。ナビゲータでは、表示モード内で表示されている画像の領域は、マーカーで囲まれます。拡大して見たい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の任意の領域でカーソルを離して決定します。

ナビゲーターの右クリックオプション

自動 ウィンドウ	有効な場合、画像を拡大すると同時にナビゲータペインが表示されます。表示されたら、拡大したい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の任意の領域でカーソルを離して決定します。
手動 ウィンドウ	有効な場合、ナビゲーターアイコンを選択するとナビゲータペインが表示されます。ナビゲータアイコンは、画像が拡大されている場合または、実寸表示アイコンがクリックされている場合にのみ表示されます。ナビゲータアイコンをクリックしてホールドすると、画像の小さな複製が表示されます。拡大して見たい画像の選択範囲にカーソルをドラッグします。画像の任意の領域でカーソルを離して決定します。

ナビゲータペインを使用するには:

1. 現像モードで、ズームスライダーを右にドラッグして、表示領域を超えて画像の倍率を上げます。
2. ズームスライダーの横に表示されるナビゲーターアイコンをクリックします。
3. ナビゲータペインのマーキーをドラッグして、表示モードで見たい画像の領域に移動します。

編集した画像の取り扱い

ACDSee Mobile Syncを使って、iPhoneなどの別のデバイスで以前に編集した画像をインポートする場合、現像モードでロードする前に、画像に付随する編集情報を処理する必要があります。

以下に詳述するように、現像モードで画像をロードするときにユーザーが使用できるオプションは3つあります。

編集された画像 オプションの処理 オプション

コピーを開く	このデフォルトの選択では、編集されたバージョンのコピーが作成され、そのコピーが 現像 モードで開きます。元の画像から編集内容が失われることはありません。
変更の確定	警告プロンプトを受け入れた後、画像は 現像 モードで開かれ、編集が画像にコミットされます。
オリジナルに戻す(O)	すべての編集が失われるというプロンプトを受け入れた後、編集を適用せずに元の画像を 現像 モードで開きます。

現像モードでブレンドモードと不透明度を使用する

現像モードでカラーLUTを使うときに、ブレンドモードと不透明度ツールを調整して、画像への効果のブレンド状態をカスタマイズできます。

不透明度

不透明度スライダは、画像に施される効果の不透明度を変更します。施された効果が画像上でどれだけ表示されるかをコントロールします。効果のドロップダウンメニューの右にある矢印ボタンを押すと、不透明度スライダにアクセスできます。

ブレンドモード

オリジナルの画像と現像済み画像がどのように結合されるかをコントロールします。つまり、「不透明度」を除くその他のブレンドモードで、最終画像を変更することができます。

通常	現像済みの画像内にあるピクセルが、オリジナルのピクセルと結合されます。このブレンドでは、透明度のみ影響されます。
スクリーン	現像済みの画像とオリジナル写真の逆の色を結合するため、似たようなあるいはやや軽めの色に仕上がります。
乗算	現像済み画像とオリジナル画像の色を結合するため、やや暗い色に仕上がります。黒で乗算すると黒になり、白で乗算すると元の色のままになります。
覆い焼き	現像済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや明るい色に仕上がります。
焼きこみ	現像済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや暗い色に仕上がります。
オーバーレイ	下にあるレイヤーのシャドウやハイライトを保ったまま、オリジナル画像の色の値を基準に乗算かスクリーンのブレンドモードを適用します。
差異	オリジナル画像の色から現像済み画像の色を減算します。現像済み画像に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生み出しますが、黒では効果が見られません。
暗くする	オリジナル画像よりも暗い現像済み画像のピクセルを適用します。オリジナル画像よりも明るい現像済み画像のピクセルは消失します (RGB 値を基準にしています)。
明るくする	オリジナル画像よりも明るい現像済み画像のピクセルを適用します。オリジナル画像よりも暗い現像済み画像のピクセルは消失します (RGB 値を基準にしています)。
ハードライト	強調したハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に乗算またはスクリーンを適用します。
ソフトライト	ソフトなハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に暗くまたは明るく仕上げます。
色相	現像済み画像の色相値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
彩度	現像済み画像の彩度を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
カラー	現像済み画像の色相と彩度を画像に適用します。このブレンドはオリジナル画像の明度を影響しません。
明度	現像済み画像の色の明度値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
ディゾルブ	現像済み画像レイヤーの幾つかのピクセルをオリジナル画像に適用するため、斑点の効果を生み出します。「不透明度」スライダーで斑点の強度をコントロールします。

除外	差の絶対数と同様ですが、コントラストが低めで、画像のレイヤーの色からブレンド色を減算します。ブレンド色に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
ヴィヴィッドライト	コントラストを増減させてより明るい色または暗い色 (ブレンド色によって決まる) を生成することで、画像のピクセルとブレンド色を結合します。
ピンライト	光源が 50% グレーよりも明るい場合、その光源よりも暗いピクセルが置換されます。その光源よりも明るいピクセルは同じ状態で残ります。光源が 50% グレーよりも暗い場合、その光源よりも明るいピクセルが置換されます。その光源よりも暗いピクセルは同じ状態で残ります。
リニアライト	ブレンド色に応じて明るさの値を明るく、または暗くすることで、覆い焼きまたは焼きこみを行います。
ハードミックス	ブレンド色の赤、緑、青のチャンネル値を、画像のRGB値に適用します。
減算	各チャンネルの画像 (ベース) 色からブレンド色を減算します。
除算	画像 (ベース) 色からブレンド色を除算します。
暗色	ブレンド色と画像 (ベース) 色から、より低いチャンネル値が選択されます。
明色	ブレンド色と画像 (ベース) 色から、より高いチャンネル値が選択されます。

画像を調整する

調整タブについて

調整タブには、露出、ホワイトバランス、自然な彩度、明るさ、色相、カラープロファイルなどを調整するツールが搭載されています。

調整タブを使用するには:

1. 現像モードで[調整]タブを選択します。
2. [調整]タブで、[一般]、[ホワイトバランス]、[Light EQ™]、[カラーEQ]、[スプリットトーン]、[ソフトフォーカス]、[クロスプロセス]、[ヴィネット効果]、[トーンカーブ]、および[出力色空間]のいずれかを選択します。

保存とキャンセル

画像の処理後は、次にしたい操作によって画像の保存方法を選択します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. **完了** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します：
 - **保存**: 変更を保存します。
 - **名前をつけて保存**: 処理した画像を新しい名前で保存したり、別のフォーマットで保存することができます。
 - **破棄する**: 変更を破棄します。
 - **キャンセル**: 追加した変更は保存されず、現像モードの画像がそのままの状態に残ります。



保存確認のプロンプトをその都度表示せず、追加した変更を自動で保存したい場合は、**自動保存**のチェックボックスにチェックを入れてください。すると次回より、新しい画像へ切り替えると、プロンプトが開くことなく変更は自動で保存されます。この設定は**ACDSee 写真館 9 | 環境設定**にて元へ戻せます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには：

名前を付けて保存 をクリックして、処理した画像を新しい名前で保存したり、別のフォーマットで保存することができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには：

キャンセル をクリックしてください。

全般調整を使用する

[全般] グループでは、画像全体の調整を行うことができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

[全般] で画像調整を行うには：

1. 現像モードで **[調整]** タブを選択します。
2. [全般] グループで、以下を参考にして調整します。

全般オプション

処理	カラーモードまたは白黒モードを選択します。
露出	スライダを右にドラッグすると露出が増加し、左にドラッグすると露出が減少します。1eV は露出の1補正值です。
ハイライトの回復	スライダを右にドラッグして、露出オーバーの領域にある画像の細部を復元します。
フィルライト	スライダを右にドラッグし、画像の最も暗い領域にライトを追加します。
コントラスト	スライダを右にドラッグするとコントラストが大きくなり、左にドラッグするとコントラストが小さくなります。
彩度	スライダを右に移動すると彩度の量が増やせ、左に移動すれば彩度の量を減らせます。
自然な彩度	スライダを右にドラッグすると自然な彩度が高まり、左にドラッグすると自然な彩度が減少します。自然な彩度を高めても、画像のトーンには影響しません。
明瞭度	スライダを右にドラッグする明瞭度が増加し、左にドラッグすると明瞭度が減少します。
かすみの除去	かすみ除去ツールにより、画像にコントラスト、ディテール、消えた色を復元します。これは特に、かすみ越しに記録された画像に対して使うと便利です。かすみは、埃や煙などの粒子が画像、特に空の明瞭度を奪うことで発生します。スライダを右へ動かすほど、かすみが減少します。

明瞭度を調整する

明瞭度ツールは画像のディテールに明瞭度を加えます。明瞭度スライダを使って、影とハイライトを強調せずに、画像の中間調のコントラストを高めます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像の明瞭度を調整するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. 全般グループで**明瞭度**スライダを右にドラッグすると、より透明感が増します。



ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。

ホワイトバランスを調整する

「ホワイトバランス」グループを使用して、画像から不必要なカラーキャストを削除することができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像のホワイトバランスを調整するには:

1. 現像モードで[調整]タブを選択します。
2. [ホワイトバランス]グループで、以下を参考にしてスライダを調整します。

ホワイトバランス オプション

ホワイトバランス	RAW画像の場合、以下のホワイトバランスの補正オプションから1つを選択します。 ● 撮影時:自動的に選択されます。写真の撮影時に、カメラに保存されたホワイトバランス設定を適用します。 ● 晴れ:晴れの日の正午の値に近い 5500 K に色温度を調整します。 ● 曇り:少し曇っている日の値に近い 6500 K に色温度を調整します。 ● 影:雲が多い曇りの日の値に近い 7500 K に色温度を調整します。 ● タングステン:一般家庭の電球の値に近い 2850 K に色温度を調整します。 ● 蛍光灯:蛍光灯の電球の値に近い 3800 K に色温度を調整します。 ● フラッシュ:カメラのフラッシュの値に近い 5500 K に色温度を調整します。 ● カスタム:「温度」と「ティント」スライダを調整して、ユーザー指定のホワイトバランスを定義することができます。画像上にマウスを移動してスポイトに変わるまで待ってから、グレー(ニュートラル)の領域をクリックすることもできます。 JPEG のようにエンコード可能な画像は、以下のホワイトバランスの補正オプションから1つを選択します。 ● 撮影時:自動的に選択されます。写真の撮影時に、カメラに保存されたホワイトバランス設定を適用します。 ● カスタム:「温度」と「ティント」スライダを調整して、ユーザー指定のホワイトバランスを定義することができます。画像上にマウスを移動してスポイトに変わるまで待ってから、グレー(ニュートラル)の領域をクリックすることもできます。
色温度	[色温度] スライダを左にドラッグ(ブルーの増加)、または右にドラッグ(イエローの増加)して、特定の色温度を指定します。
ティント	[ティント]スライダを左にドラッグ(グリーンの増加)、または右にドラッグ(マゼンタの増加)して、画像撮影時に使用したホワイトバランスの設定に近くなるよう調整します。
強さ	スライダを右に移動させるとホワイトバランスの調整量が増えます。スライダを左に移動させるとホワイトバランスの調整量が減ります。

画像の一部を直接クリックして、その部分のホワイトバランスを調整することも可能です。

ライティングを調整する

[Light EQ™]ツールを使えば、画像内で光が適切に表示されている領域を変更せずに、画像の暗すぎる、あるいは明るすぎる領域のトーンレベルを調整することができます。トーンレベルとは、ピクセルその周辺のピクセルの明るさを平均したものです。

また同時に暗すぎる領域を明るく、明るすぎる領域を暗くすることができます。例として、海や窓など明るい背景で人物を撮影した場合に、人物が暗くなりはっきりと顔が見られないけれども背景は明るく調整しなくても大丈夫な写真が挙げられます。実際に、曇天あるいはフラッシュ発光で撮影された写真のほとんどは、Light EQ™ツールを使用して微調整をすると仕上がりに大きな差がでます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像のライティングを調整するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. Light EQ™グループで、以下に記載されている方法で調整します。

ベーシックライティング

ベーシックは、3つのスライダを使用するだけのシンプルで簡単な調整方法です。画像のある領域(通常は画像の被写体)を直接クリックして、その領域に最適な設定を自動設定することも可能です。

ベーシックライティングのオプション

シャドウ	スライダを右にドラッグするとシャドウが明るく、左にドラッグするとシャドウが暗くなります。
ミッドトーン	スライダを右にドラッグするとミッドトーンが明るく、左にドラッグするとミッドトーンが暗くなります。
ハイライト	スライダを右にドラッグするとハイライトが明るく、左にドラッグするとハイライトが暗くなります。

標準

標準では、サウンドイコライザのように、光の調整をおこないます。画像の異なるトーンバンド(相対的に明るいまたは暗い領域)の明るさとコントラストを、該当するトーンバンドのスライダを使用して個別に調整します。グラフには、トーンレンジに適用された明るさまたは暗さの量が表示されます。グラフ内のグレー領域は提案された境界で、クリッピングやディテールが失われないために表示されています。赤い領域は調整されたスライダのうち、クリッピングが発生した領域を示しています。

標準のオプション

明るさのスライダ(上に位置するスライダ)	スライダを上 にドラッグして、各 トーンバンドの明 るさの量を増やします。左側のスライダは暗いトーンに反映 されます。右側のスライダは明 るいトーンに反映 されます。スライダを移動すると、そのトーンバンドにある明 るさの量のみが変更 します。 ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。
暗さのスライダ(下に位置するスライダ)	スライダを下 にドラッグして、各 トーンバンドの暗 さの量を増やします。左側のスライダは暗いトーンに反映 されます。右側のスライダは明 るいトーンに反映 されます。スライダを移動すると、そのトーンバンドにある暗 さの量のみが変更 されます。 ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。
グラフ	グラフは、画像のトーンレンジに適用 された明 るさと暗 さの量を示します。水平軸の上にある部分は明 るさを、水平軸の下にある部分は暗 さを表しています。同一のトーンバンドで明 るさと暗 さが変更 された場合、コントラストが激しくなります。つまり、グラフの上部の明 るい領域と、グラフの下部の暗 い領域は、そのトーンレンジのコントラストが相対的に強まっていることを示します。グラフまたは画像をクリックして、双方向を向いた矢印を上下にドラッグして明 るくまたは暗 く調整 することができます。
トーンバンド数	各 トーンバンドのスライダをドラッグしてカーブを調整 します。表示するトーンバンドのスライダ数は、2、3、5、7または9個から選べます。

アドバンス

アドバンスタブでは、画像の明 るさとコントラストを完全にコントロール することができます。4つのスライダを使ってカーブを調整した後、グラフ内の領域または画像を直接 クリック&ドラッグしてカーブを随時調整 できます。

グラフ

明 るさはグラフの上部に、暗 さはグラフの下部に表示 されます。シャドウのトーンレベルは左に、ミッドトーンは中央に、ハイライトは右に表示 されます。

グラフに薄いグレーで表示 されている部分は、画像の明 るさ・暗 さの量を示しています。グラフに濃いグレーで表示 された部分は境界で、この領域が赤に変わると、大きく調整されたためにディテールが失われてしまったことを示します。画像上でカーソルを動かすと、2つの黄色い垂直線がカーソル下にあるトーンレベルの上下を示すため、調整の中間領域を見つけることができます。

アドバンスのオプション

領域	操作	結果
スライダ		
	[明るくする]スライダをドラッグ	右に移動する: 暗い領域に適用される明るさの量を増やします。 左に移動する: 画像のすべての領域で、明るさの量が一様に増加します。
	[暗くする]スライダをドラッグ	右に移動する: 画像の明るい領域に適用される暗さが増加します。 左に移動する: 画像のすべての領域で、暗さが一様に増加します。
	[明るくする]の[振幅]をドラッグ	右に移動する: 画像のすべての領域に適用される明るさの強度が増加します。グラフ内では、オレンジ色のカーブの高さが増加します。 左に移動する: 明るさの量とカーブの高さが減少します。 振幅スライダが0の場合: 明るさを一切適用しません。 振幅スライダが100～200の場合: 数字に比例して切り取られる量が増加します。 ほとんどのケースでは、110が適切な振幅の値です。ハイライトの領域にディテールが見られる画像では、[明るくする]の[振幅]の値を下げると、そのディテールを保つことができます。 ほとんどの場合、振幅を調整する必要はありません。
	[暗くする]の[振幅]をドラッグ	右に移動する: 画像のすべての領域に適用される暗さの量が増加します。グラフ内で、オレンジ色のカーブの高さが増加します。 左に移動する: 暗さの量とカーブの高さが減少します。
グラフ上		
	オレンジのグラフ(上部)をドラッグ	グラフ上をクリックして上に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している明るさを表します。グレーのグラフはクリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる最大量を示します。 グラフの高さは、各トーンレベルに適用された明るさの

領域	操作	結果
		レベルを表します。(トーンは左が黒で、右に向かうほど白になります。) グラフまたは画像上で明るさまたは暗さを直接調整すると、「明るくする」または「暗くする」にある各「振幅」のスライダが、現在のカーブの振幅を示した値に変わります。(振幅の値100は最もクリッピングを発生させない値です。)
	グラフ(下部)をドラッグ	OPTIONキーを押しながらグラフを下に向かってドラッグするにつれ、グラフそのものが変化します。グラフは調整している暗さを表します。グレーのグラフはクリッピング(ピンク色で表示)を起こさずにドラッグすることができる限界を示します。

カラーを調整する

カラーEQにより彩度、明るさ、色相、コントラストの色補正が可能です。標準モードで画像全体に調整を加えることができ、標準または高品質モードで色ごとに調整することが可能です。

標準モードには、[コントラスト]タブはありません。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

カラーを調整するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. カラーEQグループで、彩度、明るさ、色相のいずれかのタブを選択し、以下の表で解説されているオプションに従って、これらを調整します。

カラーEQオプション

高品質モードまたは**標準**モードをカラーEQグループの一番上から選択します。個々の色を調整するには、画像の色を右クリックしてマウスを上下にドラッグします。変更がカラースライダに反映されます。これは彩度、明るさ、色相、コントラストタブで機能します。

カラー モデル

カラー EQ には次のタブがあります。

- **彩度** : フルカラーからグレースケールまで調整できます。
- **明るさタブ**: 画像の明るさまたは暗さを調整することができます。
- **色相**: 別の色に変更します。
- **コントラスト**: 別のコントラストに変更します。

高品質

画像の色を個々に調整します。高品質では、新しいより進化したカラーモデルを使用して、より高品質な調整が可能です。

個々の色スライダーを右に移動すると効果がより強く、左に移動すると弱くなります。各フィールドに数値を入力すると、より細かい調整が可能です。または画像上にカーソルを移動して細かい調整を行うこともできます。カーソルの横に、現在マウスを当てている色が表示されたボックスが出ます。画像をクリックして、ドラッグアップまたはダウンして調整します。カーソルを動かすにつれ、対応する色のスライダーが自動調整されるのを確認します。

標準

以前に現像した画像に対応します。色を個々に調整するか、マスタースライダーで全体的な調整を行います。

白黒

白黒モードは、**調整** タブの**全般** タブにて定義します。このモードでは、カラー EQ グループは、高度な白黒グループになります。

高度な白黒グループには次のオプションがあります。

- **明るさ**: ACDSee 写真館はオリジナル画像の色を読み取り、白黒モードで明るさを調整します。スライダーを右に移動させると効果がより強く、左に移動させると弱くなりますので、個々の色の明るさを調整してください。各フィールド数値を入力すると、より細かい調整が可能です。または画像上にカーソルを移動して細かい調整を行うこともできます。カーソルの横に、現在マウスを当てている色が表示されたボックスが出ます。画像をクリックして、ドラッグアップまたはダウンして調整します。カーソルを動かすにつれ、対応する色のスライダーが自動調整されるのを確認します。
- **色づけ**: 色相スライダーで選択した色をベースにして画像に色を追加します。追加される色の彩度は、オリジナル画像に存在していた色/彩度の量と度合いスライダーの設定を基本にします。

LUTを使用してカラーグレーディングを行う

「Color LUT」はカラールックアップテーブルの略です。カラーLUTは、特定のRGB値を他の特定のカラー値にマップするようにACDSeeまたは関連プログラムに指示するリストです。LUTをインポートして、ACDSeeのフィルターとして使用できます。他の現像モード効果を使用するのと同じ方法で、カラーLUTを適用できます。カラーLUTでサポートされているファイルの種類は、.3DLとCUBEです。

カラーLUTは以下の手順で画像に適用します:

1. 現像モードで[調整]タブを選択します。
2. [カラーLUT]グループで、次のいずれかを実行します。
 - ドロップダウンメニューからLUTを選択します。LUTが即座に適用されます。
 - [LUTのインポート]ボタンを押します。[開く]ダイアログで、LUTファイルの場所を参照して[開く]を押します。

❗ インポートしたLUTファイルの場所が変更された場合、カラーLUTパネルでファイルをロードし直す必要があります。

カラーLUTを削除するには

1. [カラーLUT]グループで、[LUTの削除]ボタンを押します。
2. [LUTの削除]ダイアログで、削除するLUTの横にあるチェックボックスをオン/オフにします。
3. [LUTの削除]を押します。

カラーLUTのリストは以下の手順で更新します:

使用可能なLUTのリストを更新して、削除したファイルを消去できます。

[カラーLUT]グループで、[リストの更新]ボタンを押します。

❗ LUTの最大サイズは128です。

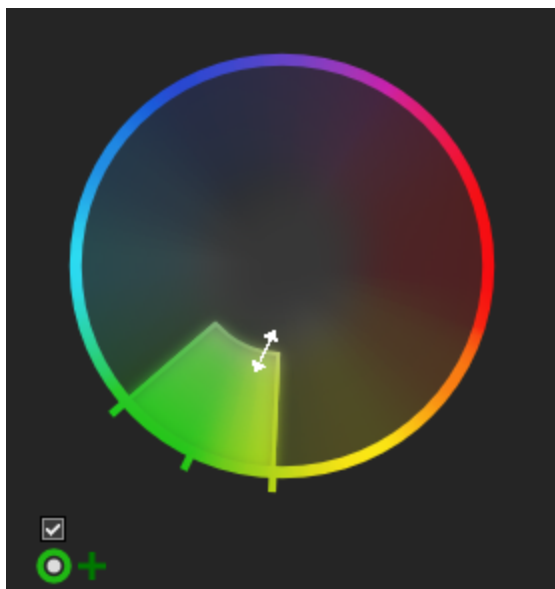
カラーホイールで色を調整する

現像モードでは、カラーホイールを使って画像の色を細かく調整できます。カラーホイールは、色の彩度、色相、明るさ、コントラスト、およびコントラストバランスを細かく変更できます。滑らかさを調整することもでき、色のエッジを柔らかくするフェザリングツールのように使えます。カラーホイールを使えば、青い空をより青くしたり、湖の色を明るくしたい場合に暗い水の色を明るくするなど、よく求められる画像処理を行えます。

カラーホイールを使用して色を調整するには:

1. 現像モードで、[現像ツール]ペインの[調整]タブから[カラーホイール]を選択します。カラーホイールを現像モードで使用するには、カラーEQを高品質に設定する必要があります。それには、Color EQを開き、ドロップダウンメニューから[高品質]を選択します。
2. カラーホイールの一部をクリックアンドドラッグ、または画像にスポイトを当てて編集する色を選択します。画像の上でスポイトを動かすと、色相インジケータの点が表示され、ホイール上どの色が対応しているかを確認できます。
3. 選択を絞り込みます。ホイールで選択した色の端の二重矢印をクリックアンドドラッグして色のサイズを増減します。また、彩度を調整するには、ホイールの端またはホイールの中心から選択した色をクリック

アンドドラッグして離すと、選択した色の彩度を調整できます。ホイールの中心は彩度の低い色、ホイールの端に向かうと彩度が高くなります。



 選択範囲の色を反転するには、[選択範囲を反転]ボタンをクリックします。 

 カラーホイールで行った選択を表示するには、[選択マスクのプレビュー]ボタンをクリックして押したままにします。 

滑らかさスライダーを使用して、選択範囲のエッジを調整します。このツールを使えば、選択範囲のエッジを柔らかく、もしくはシャープにできます。フェザリングと同じように使えるので、選択範囲のエッジを柔らかくまたはシャープにできます。

スライダーを使って、画像で選択した色を調整します。

各スライダーには次のような機能があります：

- **彩度**: 左にスライドして彩度を下げ、右にスライドして彩度を上げます。
- **色相**: 左または右にスライドして色相を調整します。
- **明るさ**: 左にスライドして明るさを下げ、右にスライドして明るさを上げます。
- **コントラスト**: 左にスライドしてコントラストを下げ、右にスライドしてコントラストを上げます。
- **コントラストバランス**: コントラストを調整したら、コントラストバランスを調整できます。画像の明るい色と暗い色のどちらにコントラストを適用するかを設定します。

 編集なしで画像がどのように見えるかを確認するには、現像モードで[オリジナルを表示]を押します。



変更をリセットするには、関連するスライダーまたはホイールのいずれかを右クリックして、すべての変更をリセットします。

[完了]を押して変更を保存し、カラーホイールを終了します。

カラーホイールを使用して複数の色を調整するには:

最初のカラーホイールの編集を行った後も、追加のカラーホイールを使用して他の色に変更を加えることができます。

カラーホイールを追加するには、カラーホイールアイコンの横にあるプラス記号をクリックします。+

カラーホイールを使った編集を削除するには:

現像モードで画像を新しいファイルとして保存する前であれば、カラーホイールの編集を削除できます。

これを行うには、カラーホイール編集リストの横にある十字記号をクリックします。✕

関連トピック:

- ✧ [トーンカーブを調整する](#)
- ✧ [トーンホイールで色調を調整する](#)
- ✧ [カラーEQで色を調整する](#)

ソフトフォーカス効果の適用

カメラの拡散用レンズと同じように、ソフトフォーカスツールを使って、シャープなラインやくっきりした色味を減らして、画像に柔らかな効果を追加することが可能です。

ソフトフォーカスツールなら皺を減らすと同時に艶感を演出することができ、異なった色調に対しても効果を出すことができます。例えば、コントラストと明るさはそのまま変えずに、さらにソフトに仕上げる事が可能です。ソフトフォーカス効果を画像の中間調または色域全体に適用するには、[トーンの幅] スライダーを使用します。



使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ソフトフォーカス効果を適用するには:

1. 現像モードで **調整** タブを選択します。
2. [ソフトフォーカス] グループで、以下を参考にして調整します。

ソフトフォーカス オプション

強さ	スライダを右に動かすと、トーン幅のぼかしが増します。
明るさ	スライダを右に動かすとソフトフォーカス効果だけでなく、画像の明るさも同時に増します。
コントラスト	スライダを右に動かすとソフトフォーカス効果だけでなく、画像のコントラストと彩度も同時に増します。
トーンの幅	スライダを右に動かして、ソフトフォーカス効果をより広いトーン幅に適用します。明るさとコントラストの適用をコントロールするには、値が低いと中間調にソフトフォーカスが適用され、値が高いとソフトフォーカスを広く適用し、ハイライトとシャドウも増加します。



ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。

クロスプロセス効果の適用

80年代、90年代にフィルム写真で人気のあったテクニックで、フィルムを別の種類のフィルムのように処理するものです。クロスプロセスは写真の彩度とコントラストを強調し、黄緑がかったハイライトと青っぽいシャドウに色をシフトします。クロスプロセスツールを使うとこれらのレトロ効果をシミュレートすることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

クロスプロセスの強度を調整するには:

1. 現像モードで**調整**タブを選択します。
2. クロスプロセスグループで、**強度**のスライダを右へ移動するとレトロ効果が強まります。



ナンバーボックスに数字を入力して、そこから微調整を行うことも可能です。

スプリットトーンを調整する

スプリットトーンはもともとフィルム写真で使われていた技術で、画像に複数のカラートーン効果を適用できます。[スプリットトーン] ツールは、スライダでトーンのバランスを調整しながら、ハイライトとシャドウの色相と彩度をコントロールします。スプリットトーンはACDSee 写真館でのRAW現像や非破壊編集に創造的な要素を追加します。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ハイライトとシャドウを調整するには:

1. 現像 モードで調整 タブを選択します。
2. スプリットトーングループにて、スライダーをドラッグして、下表で説明されているようにハイライトとシャドウの調整を行います。

スプリットトーンのオプション

ハイライト

色相	スライダーでハイライトカラーを選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のハイライト部分の指定色の彩度を上げます。

シャドウ

色相	スライダーでシャドウカラーを選択します。
彩度	スライダーを右にドラッグして画像のシャドウ部分の指定色の彩度を上げます。

バランス

スライダーを右にドラッグするとハイライト色を強調し、左にドラッグするとシャドウ色を強調します。例えば、スライダーが最大値 50 に設定されている場合、ハイライト色が最も強調され、スライダーが最小値 -50 に設定されている場合は、シャドウ色が最も強調されます。



セピアトーン効果を出すには、まず [アドバンスカラー] ツールで写真の彩度を落とした後、[スプリットトーン] ツールで赤茶の色相を適用します。わずかに色づけした白黒写真を作成することもできます。

トリミング後の周辺光量補正を調整する(ヴィネット効果)

ヴィネット効果 ツールを使用して、画像の周囲の光量を調節することができます。

ヴィネット効果 スライダにより、トリミングした写真の比率に応じた光量補正を行うことができます。ヴィネット効果 ツールには、ヴィネットの強さや半径、フェザリング、丸みを独創的にコントロールできるスライダがあります。ヴィネット効果は、トリミングの有無を問わず写真に適用できます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

ヴィネット効果を適用するには:

1. 現像 モードで [調整] タブを選択します。
2. [トリミング後] グループで、以下を参考にしてスライダを調整します。

トリミング後 オプション

強さ	スライダを右にドラッグするとコーナーが明るくなり、左にドラッグするとコーナーが暗くなります。
半径	スライダを右に動かすと半径が大きくなり、左に動かすと半径が小さくなります。
フェザリング	ヴィネットのエッジの柔らかさを調整します。スライダを右に動かすと、ヴィネット効果の柔らかさが増加し、左に動かすと硬さが増加します。
丸み	スライダを右に動かすとヴィネットがより円に近くなり、左に動かすとより楕円に近くなります。

トーンカーブを調整する

[現像]モードの[トーンカーブ]ツールを使用して、画像のトーンレンジを細かく調整することができます。RGBカラーチャンネルを選択して画像全体の明るさを調整するか、特定の色を選択します。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像のトーンカーブを調整するには:

1. 現像モードで[調整]タブを選択します。
2. [トーンカーブ]グループで、以下を参考にしてカーブを調整します。

トーンカーブ オプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
カーブ	標準カーブが既定として設定されています。線をクリック&ドラッグしてトーンカーブを操作します。カーブをクリックするたび、新しいノードが追加されます。ノードをカーブの上下にドラッグして調整します。ノードを削除するには、ノードを右クリックします。
ブラックポイント	ブラックの三角形をクリック&ドラッグするか、クリックしてブラックポイントを自動設定します。フィールドに数値を直接入力したり、矢印ボタンを上下にクリックしてブラックポイントを設定することも可能です。
ガンマ	グレーの三角形をクリック&ドラッグするか、クリックしてガンマポイントを自動設定します。フィールドに数値を直接入力したり、矢印ボタンを上下にクリックしてガンマポイントを設定することも可能です。
ホワイトポイント	ホワイトの三角形をクリック&ドラッグするか、クリックしてホワイトポイントを自動設定します。フィールドに数値を直接入力したり、矢印ボタンを上下にクリックしてホワイトポイントを設定することも可能です。



リセットボタンをクリックして、トーンカーブをリセットできます。エンドポイントノードを右クリックしてリセットすることもできます。

トーンホイールで色調を調整する

すべての画像の色は、ハイライト、ミッドトーン、シャドウに分割されます。現像モードでトーンホイールを使用して、画像の特定のトーンに色合いを追加できます。各トーンホイールには2つの湾曲したスライダーがあります。左側の湾曲したスライダーは彩度スライダー、右側のスライダーは明るさスライダーです。トーンホイールを使用すると、色相を正確に特定して調整できます。

トーンホイールを使用して色を調整するには：

1. [開発 ツール]ペインの[調整]タブから[トーンホイール]を選択します。トーンホイールを現像モードで使用するには、カラーEQを高品質に設定する必要があります。これを確実にするには、Color EQを開き、ドロップダウンメニューから高品質を選択します。
2. トーンホイール内のターゲットポイントをクリックおよびドラッグ、または画像自体の関連するスポイトを使用して編集する色相を選択します。画像周囲でスポイトを移動する際に、ホイール上でどの色をホバーしているかを示す、色相インジケータと言われる点が見えます。トーンホイールには3つのスポイトが関連します。ホイールの端、または中心から選択をクリックおよびドラッグして、選択した色の彩度を調整できます。彩度の低い色はホイールの中心に、彩度の高い色はホイールの端にあります。



ターゲットポイントをホイールの外側に移動すると彩度が上がり、ホイールの内側に移動すると彩度が下がります。

3. 色相を選択した状態で、選択したトーンの彩度や明るさを上げます。



変更をリセットするには、関連するスライダーまたはホイールのいずれかを右クリックして、すべての変更をリセットします。

関連トピック

- ⇒ [トーンカーブを調整する](#)
- ⇒ [カラーホイールで色を調整する](#)
- ⇒ [カラーEQで色を調整する](#)

出力色空間

ファイル进行处理する際に出力色空間を利用することができます。



使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

ファイルの出力色空間を調整するには:

1. 現像モードで **調整** タブを選択します。

ヒストグラムを見て、画像に最適な出力色空間を決定します。ヒストグラムは、各カラーチャンネルのピクセルレベルの強さをグラフィックに表します。グラフの両端にスパイクがある場合写真のクリッピング現象が起こっています。グラフの両端のスパイクを最小限に抑えながら、可能な限り広い色域を提供する出力色空間を目指します。

2. 出力色空間グループのポップアップメニューから希望する色空間を選択します。

同じ色空間を現像モードのファイルでデフォルトの色空間として使いたい場合、**デフォルトに設定**をクリックします。

3. **名前を付けて保存** または **完了** を押して、変更を保存します。

現像ブラシを使用する

現像ブラシは写真の特定の領域に様々な編集を行えるようにするために設計されています。エフェクト上をブラッシングして、写真の露出、彩度、フィルライト、コントラスト、明瞭度、シャープネスを調整することができます。例えば、写真全体にフィルライトを追加するのではなく、逆光の被写体など特定の部分だけに追加したい場合もあることでしょう。最大8つのブラシを画像内の異なったエリアに分けて適用し、それぞれ別の効果設定を割り当てることができます。



[グラデーションツール](#)で行った編集は、[後で使用するためのプリセットとして保存](#) できます。

現像ブラシ

現像ブラシボタンは、調整とディテールタブの上部に表示されています。

現像ブラシの使用法:

1. 現像モードの調整タブまたはディテールタブで、ペインの上部にある**ブラシ** ボタン  をクリックしてコントロールパネルを開き、ブラシモードに入ります。または、**B**キーでブラシパネルの開閉を切り替えます。
2. パネルでブラシ設定を指定する、または作業をしながら、以下の表の説明のように設定します。
3. 写真にエフェクトをペイントしてみましょう。
4. スライダーを変更して効果を調整します。



別のブラシ (8種類まで可能) を適用するには、ペインの下部にある他のブラシをクリックします。ブラシの上のチェックボックスにチェックが入ります。このチェックマークが入っていればグラデーションは有効です。また、選択された現在有効なグラデーションアイコンは青でハイライトされています。それぞれのブラシアイコンを選択することで、いつでも任意のブラシに戻ることができます。青いブラシはすでに使用されています。ブラシのオン/オフは、ブラシの上のチェックボックスをクリックして切り替えます。

5. **別名で保存** または **完了** を押します。



スライダーの値がすべてゼロの場合、画像に何も変更が加えられていないため、ブラシストロークは色付きで表示されます (**ブラシストロークを表示** のチェックボックスの隣のドロップダウンで選択されている色)。



ブラシツールを使用中、**コマンド**キーを押したままにし、パン機能を有効にします。

ブラシストロークを削除する方法

ブラシストロークを削除するには、削除したいブラシを選択して、**✕** ボタンを押します。ブラシチェックボックスのチェックを外しても、ブラシストロークが削除されるのは再びチェックが入るまでだけの間であることに注意してください。

現像ブラシのオプション

ペン先の幅	ブラシのサイズを調整します。マウスホイールを使用してペン先の幅を変更する、またはペン先の幅スライダを使用します。
フェザリング	スライダでブラシストロークと画像の間の遷移の濃淡の調整ができます。シフト+ マウスホイールでフェザリングの量を調整するか、フェザリングスライダを使用します。
圧力	スライダを調整して、ブラシの強さを指定します。
ブラシストロークの追加	マウスの左ボタンを押しながらブラッシングします。
ブラシストロークの消去	右マウスボタンをホールドしながら、またはコントロールキーを押してブラッシングします。
すべてのブラシストロークをクリア	 現在選択されているブラシのすべてのブラシストロークを画像から消去します。
すべてのブラシストロークを反転	 このオプションに切り替えることによって、現在選択されているブラシのブラシストロークを反転できます。これにより、既にブラッシング済みの領域はブラッシングされず、ブラッシングされていない領域にこれから行うブラッシング効果が適用されます。画像の大部分をブラッシングし、小さな一部はそのままにしたい場合に便利です。つまり効果を適用したくない部分にはブラシをかけた後で反転するだけで良いのです。
スマートブラシ	以下の スマートブラッシング セクションを参照してください。
ブラシストロークを表示	 ブラシストロークを表示  このオプションを有効にすると、現在選択されているブラシのストロークが表示色で表示されます。これは処理の跡が目立たないので、複雑な領域に少しでも効果を適用したい場合に便利です。赤い部分をクリックすれば色を変更することができます。

ディテール タブの現像ブラシ:

シャープネス	スライダーを右に動かすと、シャープネス効果が加わります。
--------	------------------------------



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



ブラシパネルを終了するには、現像ブラシボタンをクリックします。 

スマートブラシ

スマートブラシを使うと、特定の色、明るさの値、または色と明るさの組み合わせに対象を絞って処理できます。スマートブラシは、ブラシストロークの中心にあるピクセルに似た値のピクセルにのみ影響を与え、それらのピクセルに調整を適用することができます。

スマートブラシの使用法:

1. 現像モードの調整タブまたはディテールタブで、ペインの上部にある**ブラシ** ボタン  をクリックしてコントロールパネルを開き、ブラシモードに入ります。または、**B**キーでブラシパネルの開閉を切り替えます。
2. スマートブラシのドロップダウンメニューからオプションを選択します。

カラー	しきい値スライダの設定に応じて、ブラシストロークの中心にあるピクセルに近い値のピクセルの色を使用しブラシをかけるべきかどうかを判断します。
明るさ	しきい値スライダの設定に応じて、ブラシストロークの中心にあるピクセルに近い値のピクセルの明るさを使用しブラシをかけるべきかどうかを判断します。
マジック	しきい値スライダの設定に応じて、ブラシストロークの中心にあるピクセルに近い値のピクセルの色と明るさの組み合わせを使用しブラシをかけるべきかどうかを判断します。

3. トレランススライダを使用して、スマートブラシの影響を受けるピクセルの範囲を増減します。
4. 希望の色または明るさにカーソルを合わせ、エフェクトのペイントを始めます。
5. スライダーを変更して効果を調整します。



別のブラシ (8種類まで可能) を適用するには、ペインの下部にある他のブラシをクリックします。ブラシの上のチェックボックスにチェックが入ります。このチェックマークが入っていればグラデーションは有効です。また、選択された現在有効なグラデーションアイコンは青でハイライトされています。それぞれのブラシアイコンを選択することで、いつでも任意のブラシに戻ることができます。青いブラシはすでに使用されています。ブラシの有効/無効は、それぞれのチェックボックスをクリックして切り替えます。

6. **別名で保存** または **完了** を押します。



右クリックしてブラシストロークをブラシでなぞると、そのストロークを消すことができます。

スマートブラシをオフにする方法:

スマートブラシのドロップダウンメニューから**オフ**を選択します。

リニアグラデーションツールを使用する

現像ツールは写真にさまざまな調整を適用することができますが、写真全体に徐々に効果を加えたい場合もあります。露出、彩度、フィルライト、コントラスト、明瞭度、シャープネスなどをそれぞれ少しずつ全体的に調整することができます。例えば、露出を写真全体に均一に適用するのではなく、画像の一部の領域でだけ効果を強調したり弱めたり、また一部には適用しない場合などです。



グラデーションツールで行った編集は、後で使用するためのプリセットとして保存できます。

グラデーション ツール

グラデーション ツールボタンは、調整とディテールタブの上部に表示されています。

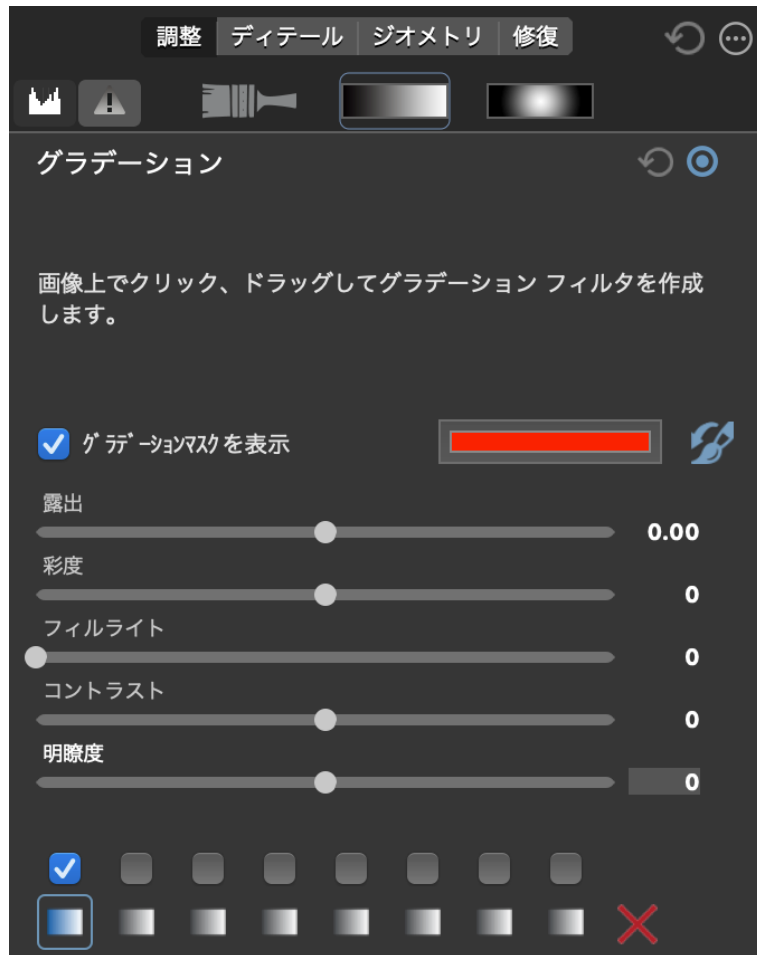
グラデーション ツール使用法：

1. 現像モードの調整とディテールタブの**グラデーション**ボタンは  ペインの中央上にあり、クリックするとコントロールパネルが開きグラデーションモードの入力ができます。または、グラデーション パネルはキーボードの**G**キーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. 次の表にあるとおり、パネルのグラデーション設定を指定します。
3. 写真上でガイドを移動します。ガイドボックスの内部でグラデーションが遷移します。ボックスのどちらか一方にグラデーション ツールによる効果が最大限に適用されていると、もう片方には一切適用されません。この遷移をはっきりと見えるようにするには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスにチェックをいれます。これらのボックスを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。直線効果を出すには、効果の位置をほぼ45°で固定して、**シフト**キーを押し続けます。**コマンド**キーを押しながらグラデーションツールを使用して、パン機能を有効化します。
4. スライダーを変更して効果を調整します。



別のグラデーション (8 つまで可能) を適用するには、パネルの下にあるシーケンスの中から次に使うグラデーションをクリックして有効にします。グラデーションの上のチェックボックスにチェックが入ります。このチェックマークが入っていればグラデーションは有効です。また、選択された現在有効なグラデーションアイコンは青でハイライトされています。各グラデーションアイコンをクリックすることで、いつでも希望のグラデーションに切り替えることができます。青いグラデーションはすでに使用されています。グラデーションの有効/無効は、それぞれのチェックボックスをクリックして切り替えます。

5. **別名で保存**または**完了**を押します。



グラデーション ツール オプション

グラデーションの反転



このオプションを切り替えるとグラデーションが反転します。画像の上部から始まるグラデーションを適用した後に反転ボタンを押すと、グラデーションは下部から始まります。上と下を逆の設定にすることも可能です。

グラデーションマスクを表示



このオプションを有効にすると、グラデーション マスクは表示色で表示されます。もしくはSキーを押下するとグラデーション マスクを表示できます。カラーフィールドをクリックして、別の表示色を選択します。

ディテール タブのグラデーション ツールを使用する

シャープネス

シャープネススライダーを右に動かすと、グラデーションの影響を受ける領域にシャープネス効果が追加されます。



グラデーションモードを終了するには、グラデーション ツール ボタンをクリックします。

円形グラデーションツールを使用する

現像ツールは写真にさまざまな調整を適用することができますが、写真の一部分だけに適用したい場合もあります。露出、彩度、フィルライト、コントラスト、明瞭度、シャープネスなどをそれぞれ少しずつ全体的に調整することができます。例えば、写真全体にシャープネスを適用するのではなく、写真の中央だけをシャープにしたい、というような場合です。



グラデーションツールで行った編集は、後で使用するためのプリセットとして保存できます。

円形グラデーション ツール

円形グラデーション ツールボタンは、調整とディテールタブの上部に表示されています。

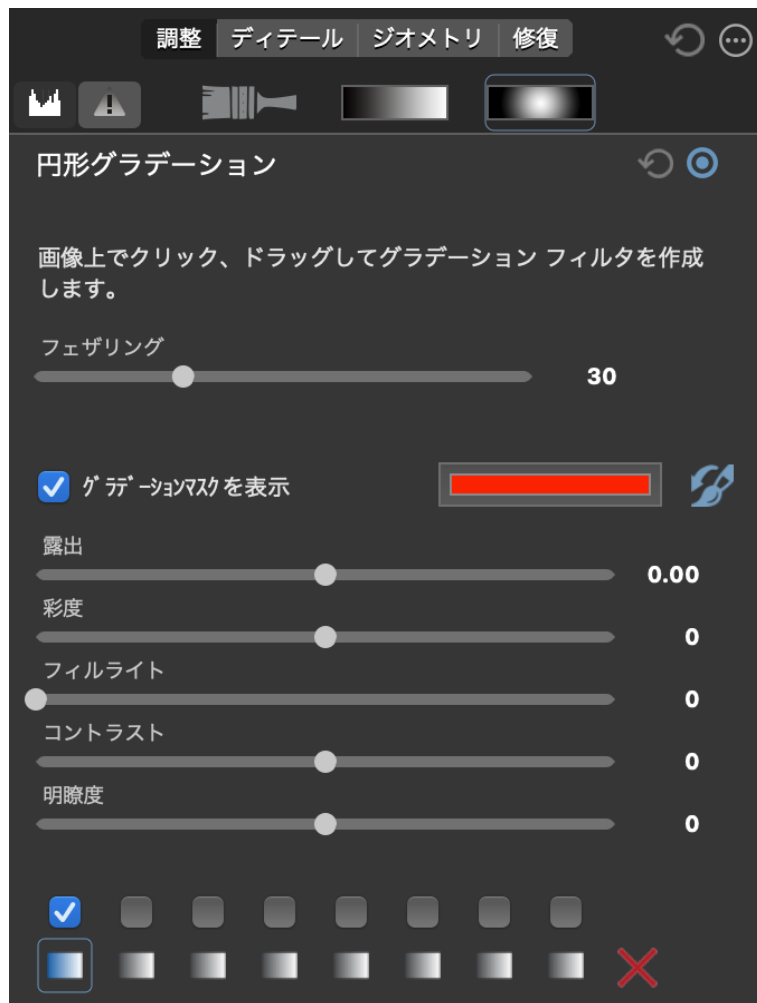
グラデーション ツール使用法：

1. 現像モードの調整とディテールタブの円形グラデーション ボタン  はペインの最上部にあり、クリックするとコントロールパネルが開き、円形グラデーションモードで入力ができます。または、円形グラデーション パネルは、**R** キーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. 次の表にしたがってパネルの円形グラデーション設定を指定します。
3. 写真上でガイドを移動します。円の中の画像は変更されません。円形グラデーションツールで適用した効果は、全 ☐ 効果のない箇所(円の中) と効果が一番強い箇所(円の外) が出会う円の境目で、遷移します。この遷移をはっきりと見えるようにするには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスにチェックをいれます。これらのガイドを動かし、効果の開始、終了地点を決定します。シフトキーを押しながら、効果の位置を決め、円形グラデーションを真円に変えます。コマンドキーを押しながらグラデーションツールを使用して、パン機能を有効化します。
4. スライダーを変更して効果を調整します。



別のグラデーション(8つまで可能)を適用するには、パネルの下にあるシーケンスの中から次に使うグラデーションをクリックして有効にします。グラデーションの上のチェックボックスにチェックが入ります。このチェックマークが入っていればグラデーションは有効です。また、選択された現在有効なグラデーションアイコンは青でハイライトされています。各グラデーションアイコンをクリックすることで、いつでも希望のグラデーションに切り替えることができます。青いグラデーションはすでに使用されています。グラデーションの有効/無効は、それぞれのチェックボックスをクリックして切り替えます。

5. 別名で保存または完了を押します。



グラデーション ツール オプション

フェザリング

スライダーを調整して、グラデーションのエッジの遷移を度合いをコントロールします。

グラデーションの反転

このオプションを切り替えるとグラデーションが反転します。反転ボタンを押すと、画像の中央(円形ガイドの内側)に効果が適用されます。円形のグラデーションの外側は変更されません。

グラデーションマスクを表示

このオプションを有効にすると、グラデーションマスクは表示色で表示されます。または、**S**キーを長押しすると、画像上にグラデーションマスクが表示されます。

ディテール タブの円形グラデーションツール**シャープネス**

シャープネススライダーを右に動かすと、円形グラデーション円の外側の領域にシャープネス効果が追加されます。



ガイドの中央にある+をダブルクリックして、円形グラデーションを画像の幅いっぱいに展開します。



グラデーションモードを終了するには、円形グラデーションツールボタンをクリックします。

**ディテールを調整する****ディテール タブについて**

ディテールタブでは、画像をシャープにしたり、ノイズを削除したり、色収差を補正したり、画像のフリンジを軽減することができます。

ディテール タブを使用するには:

1. 現像モードでディテールタブを選択します。
2. 画像を調整するには、[\[シャープネス\]](#)、[\[ノイズ除去\]](#)、[\[色収差\]](#)、または[\[フリンジ除去\]](#)グループを選択します。

保存とキャンセル

画像の処理後は、次にしたい操作によって画像の保存方法を選択します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. **完了** をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します：
 - **保存**: 変更を保存します。
 - **名前をつけて保存**: 処理した画像を新しい名前で保存したり、別のフォーマットで保存することができます。
 - **破棄する**: 変更を破棄します。
 - **キャンセル**: 追加した変更は保存されず、現像モードの画像がそのままの状態に残ります。



保存確認のプロンプトをその都度表示せず、追加した変更を自動で保存したい場合は、**自動保存**のチェックボックスにチェックを入れてください。すると次回より、新しい画像へ切り替えると、プロンプトが開くことなく変更は自動で保存されます。この設定は**ACDSee 写真館 9 | 環境設定**にて元へ戻せます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには：

名前を付けて保存 をクリックして、処理した画像を新しい名前で保存したり、別のフォーマットで保存することができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには：

キャンセルをクリックしてください。

シャープネス

シャープネス ツールを使用して、画像の詳細を引き出したり、クリアに仕上げたりすることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像をシャープにするには：

1. 現像モードで **ディテール** タブを選択します。
2. [シャープネス] グループで、以下の説明を参考にしてスライダを調整します。

シャープネス オプション

度合い	エッジの各サイドにライトを増減することで、適用するシャープネスの量を指定します。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増えるため細部が荒く仕上がり、値が小さくなるほどシャープになるピクセルの数が減るため細部がきめ細やかに仕上がります。
エッジマスキング	エッジ内のピクセルをシャープにする前に、エッジ内に見られるピクセル値の異なるべき量を指定します。値が高くなるほど強いエッジのみがシャープになりますが、ノイズを最小限に抑えることができます。値が低くなるほど強弱両方のエッジがシャープになりますが、ノイズを増やすこととなります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保ちながら、エッジマスキングを調整します。

ノイズを除去する

ハイISO設定や長時間露出によって引き起こされたノイズを除去することができます。



使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像からノイズを除去するには:

1. 現像モードで **ディテール** タブを選択します。
2. [ノイズ除去] グループで、以下を参考にしてスライダを調整します。

ノイズ除去 オプション

ルミナンス ノイズ	スライダを右にドラッグして、ライティングのノイズを目立たなくさせます。画像のノイズに比例した設定を適用し、プレビューウィンドで、ノイズ除去によってディテールが失われていないかを確認します。
強さ	スライダを右にドラッグして、ノイズ除去をどの程度の強さで実行するかを決定します。ルミナンスノイズと強度のバランスをうまく取って、ディテールが失われないようにしてください。
カラーノイズ	スライダを右にドラッグして、画像に見られるカラーノイズを除去します。



画像をクリックして、現像ツールのプレビューで画像の一部をクローズアップして表示します。

スキントーンを微調整する

[スキントーン] ツールを使用して、肌の色合いを調整したり、しみや傷を取り除いたりできます。



使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

肌の色合いを補正するには:

1. 現像モードで **ディテール** タブを選択します。
2. [スキントーン] パネルで、下の表を参考にして設定を調整します。

 スライダーを右クリックすると既定値に戻します。

スキン調整 オプション

平滑化	肌のきめの質感を抑えて滑らかにします。
グロー	肌を少し滑らかにしつつ、明るくします。
半径	効果が反映されるきめの質感の程度を指定します。スライダを左へ動かすと細かなディテールが強調されます。効果が反映されるきめの質感の程度を指定します。

 詳細ペイン上部にある[プレビューウィンドウ]で変更を確認します。画像上でオーバーレイの四角を移動してプレビューウィンドウが表示するエリアを変更します。

関連トピック

- ⇒ [シャープネス](#)
- ⇒ [色収差の修正](#)
- ⇒ [現像モードでプリセットを使用する](#)

色収差の補正

色収差は、ハイコントラストの領域がフリンジのように見えてしまうレンズ撮影の成果物です。色収差の補正ツールは光線状の収差でも、フリンジ状の収差でも修正可能であり、建築物などの写真に使用すると非常に便利です。

 使用した設定は [プリセット](#) として保存し、後で再利用することができます。

画像の色収差を補正するには:

1. 現像モードで **ディテール** タブを選択します。
2. [色収差の補正] グループで、以下を参照してスライダを調整します。

色収差の補正 オプション

レッド-シアン	スライダを右に移動するとレッド-シアンが増加し、左にスライドすると減少します。
ブルー-イエロー	スライダを右に移動するとブルー-イエローが増加し、左にスライドすると減少します。

フリンジ軽減

フリンジ軽減は、色収差と同様、ハイコントラストの領域に見られるフリンジを調整するツールです。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像のフリンジを軽減するには:

1. 現像モードで **ディテール** タブを選択します。
2. [フリンジ軽減] グループで、以下を参考にしてスライダを調整します。

フリンジ軽減 オプション

強さ	スライダを右へ動かすほど強度が増します。
半径	スライダを右へ動かすほど半径の数値が高くなります。
シアン	スライダを左に動かすほど、シアンの色相が減少します。
ブルー	スライダを左に動かすほど、ブルーの色相が減少します。
マゼンタ	スライダを左に動かすほど、マゼンタの色相が減少します。
バイオレット	スライダを左に動かすほど、バイオレットの色相が減少します。
レッド	スライダを右にドラッグして、画像に見られるノイズのカラーを除去します。

現像ブラシを使用する

現像ブラシは写真の特定の領域に様々な編集を行えるようにするために設計されています。エフェクト上をブラッシングして、写真の露出、彩度、フィルライト、コントラスト、明瞭度、シャープネスを調整することができます。例えば、写真全体にフィルライトを追加するのではなく、逆光の被写体など特定の部分だけに追加したい場合もあることでしょう。最大8つのブラシを画像内の異なったエリアに分けて適用し、それぞれ別の効果設定を割り当てることができます。



グラデーションツールで行った編集は、後で使用するためのプリセットとして保存 できます。

現像ブラシ

現像ブラシボタンは、調整とディテールタブの上部に表示されています。

現像ブラシの使用方法:

1. 現像モードの調整タブまたはディテールタブで、ペインの上部にある**ブラシ** ボタン  をクリックしてコントロールパネルを開き、ブラシモードに入ります。または、**B**キーでブラシパネルの開閉を切り替えます。
2. パネルでブラシ設定を指定する、または作業をしながら、以下の表の説明のように設定します。
3. 写真にエフェクトをペイントしてみましょう。
4. スライダーを変更して効果を調整します。



別のブラシ (8種類まで可能) を適用するには、ペインの下部にある他のブラシをクリックします。ブラシの上のチェックボックスにチェックが入ります。このチェックマークが入っていればグラデーションは有効です。また、選択された現在有効なグラデーションアイコンは青でハイライトされています。それぞれのブラシアイコンを選択することで、いつでも任意のブラシに戻ることができます。青いブラシはすでに使用されています。ブラシのオン/オフは、ブラシの上のチェックボックスをクリックして切り替えます。

5. **別名で保存** または **完了** を押します。



スライダの値がすべてゼロの場合、画像に何も変更が加えられていないため、ブラシストロークは色付きで表示されます (**ブラシストロークを表示** のチェックボックスの隣のドロップダウンで選択されている色)。



ブラシツールを使用中、**コマンド**キーを押したままにし、パン機能を有効にします。

ブラシストロークを削除する方法

ブラシストロークを削除するには、削除したいブラシを選択して、**X** ボタンを押します。ブラシチェックボックスのチェックを外しても、ブラシストロークが削除されるのは再びチェックが入るまでだけの間であることに注意してください。

現像ブラシのオプション

ペン先の幅	ブラシのサイズを調整します。マウスホイールを使用してペン先の幅を変更する、またはペン先の幅 スライダーを使用します。
フェザリング	スライダーでブラシストロークと画像の間の遷移の濃淡の調整ができます。シフト+ マウスホイールでフェザリングの量を調整するか、フェザリング スライダーを使用します。
圧力	スライダーを調整して、ブラシの強さを指定します。
ブラシ ストロークの追加	マウスの左 ボタンを押しながらブラッシングします。
ブラシ ストロークの消去	右 マウスボタンをホールドしながら、またはコントロールキーを押してブラッシングします。
すべてのブラシ ストロークをクリア	 現在選択されているブラシのすべてのブラシストロークを画像から消去します。
すべてのブラシ ストロークを反転	 このオプションに切り替えることによって、現在選択されているブラシのブラシストロークを反転できます。これにより、既にブラッシング済みの領域はブラッシングされず、ブラッシングされていない領域にこれから行うブラッシング効果が適用されます。画像の大部分をブラッシングし、小さな一部はそのままにしたい場合に便利です。つまり効果を適用したくない部分にはブラシをかけた後で反転するだけで良いのです。
スマートブラシ	以下の スマートブラッシング セクションを参照してください。
ブラシ ストロークを表示	 ブラシストロークを表示  このオプションを有効にすると、現在選択されているブラシのストロークが表示色で表示されます。これは処理の跡が目立たないので、複雑な領域に少しでも効果を適用したい場合に便利です。赤い部分をクリックすれば色を変更することができます。

ディテール タブの現像ブラシ:

シャープネス	スライダーを右に動かすと、シャープネス効果が加わります。
--------	------------------------------



スライダーを右クリックすると既定値に戻します。



ブラシパネルを終了するには、現像ブラシボタンをクリックします。 

スマートブラシ

スマートブラシを使うと、特定の色、明るさの値、または色と明るさの組み合わせに対象を絞って処理できます。スマートブラシは、ブラシストロークの中心にあるピクセルに似た値のピクセルにのみ影響を与え、それらのピクセルに調整を適用することができます。

スマートブラシの使用法:

1. 現像モードの調整タブまたはディテールタブで、ペインの上部にある**ブラシ** ボタン  をクリックしてコントロールパネルを開き、ブラシモードに入ります。または、**B**キーでブラシパネルの開閉を切り替えます。
2. スマートブラシのドロップダウンメニューからオプションを選択します。

カラー	しきい値スライダの設定に応じて、ブラシストロークの中心にあるピクセルに近い値のピクセルの色を使用しブラシをかけるべきかどうかを判断します。
明るさ	しきい値スライダの設定に応じて、ブラシストロークの中心にあるピクセルに近い値のピクセルの明るさを使用しブラシをかけるべきかどうかを判断します。
マジック	しきい値スライダの設定に応じて、ブラシストロークの中心にあるピクセルに近い値のピクセルの色と明るさの組み合わせを使用しブラシをかけるべきかどうかを判断します。

3. トレランススライダを使用して、スマートブラシの影響を受けるピクセルの範囲を増減します。
4. 希望の色または明るさにカーソルを合わせ、エフェクトのペイントを始めます。
5. スライダーを変更して効果を調整します。



別のブラシ (8種類まで可能) を適用するには、ペインの下部にある他のブラシをクリックします。ブラシの上のチェックボックスにチェックが入ります。このチェックマークが入っていればグラデーションは有効です。また、選択された現在有効なグラデーションアイコンは青でハイライトされています。それぞれのブラシアイコンを選択することで、いつでも任意のブラシに戻ることができます。青いブラシはすでに使用されています。ブラシの有効/無効は、それぞれのチェックボックスをクリックして切り替えます。

6. **別名で保存** または **完了** を押します。



右クリックしてブラシストロークをブラシでなぞると、そのストロークを消すことができます。

スマートブラシをオフにする方法:

スマートブラシのドロップダウンメニューから**オフ**を選択します。

リニアグラデーションツールを使用する

現像ツールは写真にさまざまな調整を適用することができますが、写真全体に徐々に効果を加えた場合もあります。露出、彩度、フィルライト、コントラスト、明瞭度、シャープネスなどをそれぞれ少しずつ全体的に調整することができます。例えば、露出を写真全体に均一に適用するのではなく、画像の一部の領域でだけ効果を強調したり弱めたり、また一部には適用しない場合などです。



グラデーションツールで行った編集は、後で使用するためのプリセットとして保存できます。

グラデーション ツール

グラデーション ツールボタンは、調整とディテールタブの上部に表示されています。

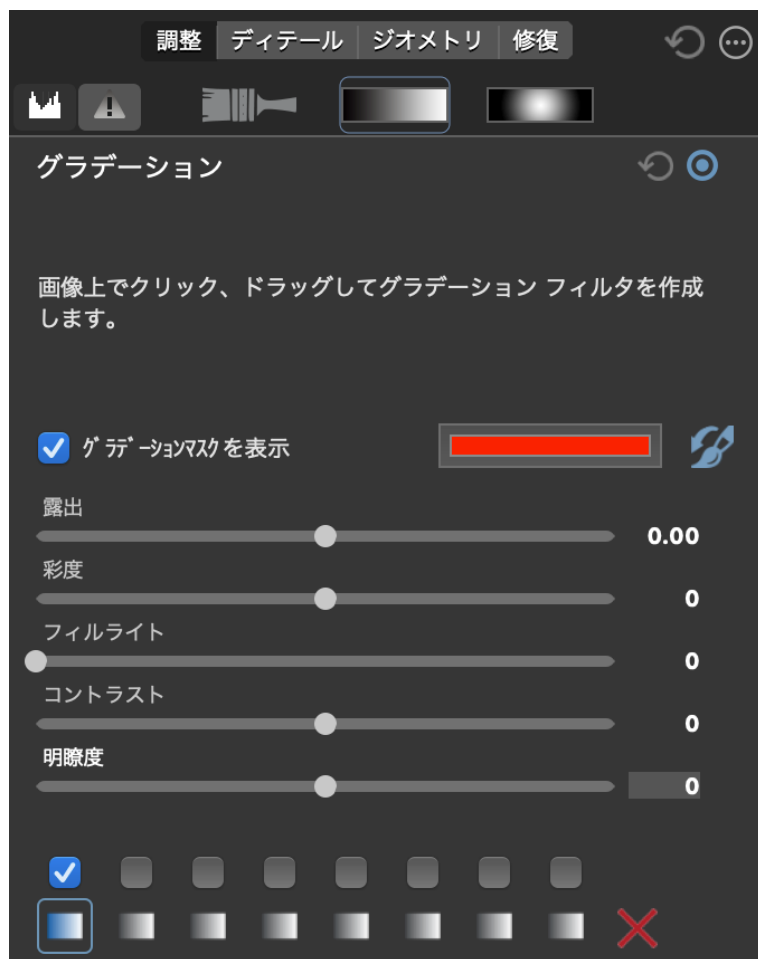
グラデーション ツール使用法：

1. 現像モードの調整とディテールタブの**グラデーション**ボタンは  ペインの中央上にあり、クリックするとコントロールパネルが開きグラデーションモードの入力ができます。または、グラデーション パネルはキーボードの**G**キーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. 次の表にあるとおり、パネルのグラデーション設定を指定します。
3. 写真上でガイドを移動します。ガイドボックスの内部でグラデーションが遷移します。ボックスのどちらか一方にグラデーション ツールによる効果が最大限に適用されていると、もう片方には一切適用されません。この遷移をはっきりと見えるようにするには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスにチェックをいれます。これらのボックスを動かしながら、効果の開始、終了地点を決定します。直線効果を出すには、効果の位置をほぼ45°で固定して、**シフト**キーを押し続けます。**コマンド**キーを押しながらグラデーションツールを使用して、パン機能を有効化します。
4. スライダーを変更して効果を調整します。



別のグラデーション (8 つまで可能) を適用するには、パネルの下にあるシーケンスの中から次に使うグラデーションをクリックして有効にします。グラデーションの上のチェックボックスにチェックが入ります。このチェックマークが入っていればグラデーションは有効です。また、選択された現在有効なグラデーションアイコンは青でハイライトされています。各グラデーションアイコンをクリックすることで、いつでも希望のグラデーションに切り替えることができます。青いグラデーションはすでに使用されています。グラデーションの有効/無効は、それぞれのチェックボックスをクリックして切り替えます。

5. **別名で保存**または**完了**を押します。



グラデーション ツール オプション

グラデーションの反転



このオプションを切り替えるとグラデーションが反転します。画像の上部から始まるグラデーションを適用した後に反転ボタンを押すと、グラデーションは下部から始まります。上と下を逆の設定にすることも可能です。

グラデーションマスクを表示



このオプションを有効にすると、グラデーション マスクは表示色で表示されます。もしくはSキーを押下するとグラデーション マスクを表示できます。カラーフィールドをクリックして、別の表示色を選択します。

ディテール タブのグラデーション ツールを使用する

シャープネス

シャープネススライダーを右に動かすと、グラデーションの影響を受ける領域にシャープネス効果が追加されます。



グラデーションモードを終了するには、グラデーション ツール ボタンをクリックします。

円形グラデーションツールを使用する

現像ツールは写真にさまざまな調整を適用することができますが、写真の一部分だけに適用したい場合もあります。露出、彩度、フィルライト、コントラスト、明瞭度、シャープネスなどをそれぞれ少しずつ全体的に調整することができます。例えば、写真全体にシャープネスを適用するのではなく、写真の中央だけをシャープにしたい、というような場合です。



グラデーションツールで行った編集は、後で使用するためのプリセットとして保存できます。

円形グラデーション ツール

円形グラデーション ツールボタンは、調整とディテールタブの上部に表示されています。

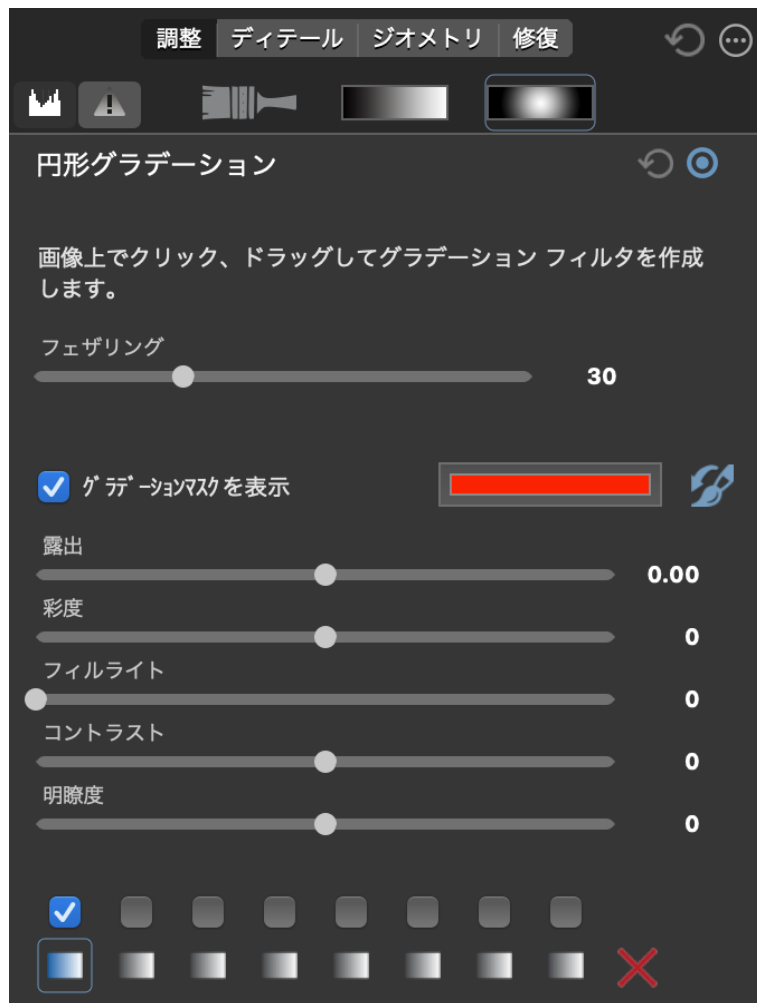
グラデーション ツール使用法：

1. 現像モードの調整とディテールタブの円形グラデーション ボタン  はペインの最上部にあり、クリックするとコントロールパネルが開き、円形グラデーションモードで入力ができます。または、円形グラデーション パネルは、**R** キーで表示/非表示を切り替えることができます。
2. 次の表にしたがってパネルの円形グラデーション設定を指定します。
3. 写真上でガイドを移動します。円の中の画像は変更されません。円形グラデーションツールで適用した効果は、全 ☐ 効果のない箇所(円の中) と効果が一番強い箇所(円の外) が出会う円の境目で、遷移します。この遷移をはっきりと見えるようにするには、**グラデーションマスクを表示** チェックボックスにチェックをいれます。これらのガイドを動かし、効果の開始、終了地点を決定します。シフトキーを押しながら、効果の位置を決め、円形グラデーションを真円に変えます。コマンドキーを押しながらグラデーションツールを使用して、パン機能を有効化します。
4. スライダーを変更して効果を調整します。



別のグラデーション(8つまで可能)を適用するには、パネルの下にあるシーケンスの中から次に使うグラデーションをクリックして有効にします。グラデーションの上のチェックボックスにチェックが入ります。このチェックマークが入っていればグラデーションは有効です。また、選択された現在有効なグラデーションアイコンは青でハイライトされています。各グラデーションアイコンをクリックすることで、いつでも希望のグラデーションに切り替えることができます。青いグラデーションはすでに使用されています。グラデーションの有効/無効は、それぞれのチェックボックスをクリックして切り替えます。

5. 別名で保存または完了を押します。



グラデーション ツール オプション

フェザリング

スライダーを調整して、グラデーションのエッジの遷移を度合いをコントロールします。

グラデーションの反転

このオプションを切り替えるとグラデーションが反転します。反転ボタンを押すと、画像の中央(円形ガイドの内側)に効果が適用されます。円形のグラデーションの外側は変更されません。

グラデーションマスクを表示

このオプションを有効にすると、グラデーションマスクは表示色で表示されます。または、**S**キーを長押しすると、画像上にグラデーションマスクが表示されます。

ディテール タブの円形グラデーションツール**シャープネス**

シャープネススライダーを右に動かすと、円形グラデーション円の外側の領域にシャープネス効果が追加されます。



ガイドの中央にある+をダブルクリックして、円形グラデーションを画像の幅いっぱいに展開します。



グラデーションモードを終了するには、円形グラデーションツールボタンをクリックします。

**ジオメトリを修正する****ジオメトリタブについて**

[ジオメトリ]タブを使用して、レンズの歪みや透視の補正、回転させたり傾きを直したりすることができます。トリミングを使用して、画像の構成を変更することも可能です。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

[ジオメトリ]タブを使用するには:

現像モードで、ジオメトリタブをクリックしてください。

2. [レンズの歪み]、[回転&傾きを直す]、[透視]、[トリミング]または[ヴィネット除去]グループを選択して、画像を調整します。

保存とキャンセル

画像の処理後は、次にしたい操作によって画像の保存方法を選択します。

画像を保存して前のモードに戻るには:

1. 完了をクリックします。
2. 次のいずれかを選択します:
 - **保存:**変更を保存します。
 - **名前をつけて保存:**処理した画像を新しい名前で保存したり、別のフォーマットで保存することができます。
 - **破棄する:**変更を破棄します。
 - **キャンセル:**追加した変更は保存されず、現像モードの画像がそのままの状態に残ります。

 保存確認のプロンプトをその都度表示せず、追加した変更を自動で保存したい場合は、**自動保存**のチェックボックスにチェックを入れてください。すると次回より、新しい画像へ切り替えると、プロンプトが開くことなく変更は自動で保存されます。この設定は**ACDSee 写真館 9 | 環境設定**にて元へ戻せます。

画像を保存して他の画像の処理を続行するには:

名前を付けて保存をクリックして、処理した画像を新しい名前で保存したり、別のフォーマットで保存することができます。

画像の変更を破棄して前のモードに戻るには:

キャンセルをクリックしてください。

レンズの歪みを補正する

レンズの歪みは、ワイドアングルやズームレンズを用いて撮影した画像でよく見られます。

 使用した設定は プリセットとして保存し、後で再利用することができます。

レンズの歪みを補正するには:

1. 現像モードで**ジオメトリタブ**を選択します。
2. [レンズの歪み]グループで、スライダを左に動かして画像を膨張したり、スライダを右に動かして画像のエッジを引き伸ばしたりして調整します。

 **[グリッドの表示]**ボタン  をクリックすると、画像上にグリッドが表示されます。このツールは、画像の配列を調整する場合に便利です。

回転 & 傾きを直す

現像モードでは、自由設定の角度で画像を回転して、傾いている画像をまっすぐに補正することができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

傾いている画像を補正するには：

1. 現像モードでジオメトリタブを選択します。
2. [回転 & 傾きを直す] グループで、以下を参照にして画像を調整します。

回転オプション

	[左に回転]ボタン	画像を左に90度回転します。
	[右に回転]ボタン	画像を右に90度回転します。

傾きを直すオプション

	スライダ	画像の水平線の角度を調整します。画像がまっすぐに見えるようになるまで、スライダを左右に動かします。
	傾きを直すツール	画像の傾きを直します。カーソルを使って、傾いている水平線を正すように線を描きます。カーソルをリリースすると、傾きを直すツールが自動的に、描かれた線に対して平行になるように画像を傾けます。



[グリッドの表示]ボタン  をクリックすると、画像上にグリッドが表示されます。このツールは、画像の配列を調整する場合に便利です。

透視を補正する

被写体に対して、カメラを水平あるいは垂直に構えない状態で撮影された場合に発生する透視問題は、ワイドアングルのレンズでの撮影でよく見られます。例えば、高層ビルを道の下から見上げた状態で撮影すると、ビルが傾いているように見えてしまいます。これらの問題は、「透視」グループのオプションを使用して補正することができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

透視を補正するには：

1. 現像モードでジオメトリタブを選択します。
2. [透視]グループで、以下を参考にしてスライダを調整します。

透視補正オプション

上下	スライダを左右にドラッグして、垂直軸で画像の中心となる位置を指定します。
左右	左右スライダを左右にドラッグして、水平軸で画像の中心となる位置を指定します。
上下シアー効果	スライダを左右にドラッグして、垂直軸および斜め軸で画像の中心となる位置を指定します。
左右シアー効果	スライダを左右にドラッグして、水平軸および斜め軸で画像の中心となる位置を指定します。



[グリッドの表示]ボタンをクリックすると、画像上にグリッドが表示されます。このツールは、画像の配列を調整する場合に便利です。

トリミング

編集モードの[トリミング]ツールを使用して、画像の不要な部分を削除したり、特定のサイズに縮小したりすることができます。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

画像をトリミングするには:

1. 現像モードでジオメトリタブを選択します。
2. トリミンググループで、トリミングウィンドウのサイズを変更して、保持したい画像の部分がウィンドウに収まるようにします。詳細につきましては、以下をご覧ください。



Eを押してトリミングした画像をプレビューします。

トリミングウィンドウのサイズを変更する

ドラッグしてトリミングウィンドウのサイズを変更するには:

1. トリミングウィンドウの端または角にマウスポインタを合わせて、ポインタが双方向矢印に変わるまで待ちます。
2. トリミングウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミング領域を最大化するには:

1. [トリミング領域の最大化]をクリックします。トリミング領域が画像の外枠に向かって最大表示されます。
2. トリミングウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミングウィンドウのサイズを指定するには:

1. [幅]と[高さ]ボックスに希望するトリミングウィンドウの比率を入力します。
2. [単位]ドロップダウンリストから、使用する単位を選択します。

縦横比を指定してトリミングウィンドウのサイズを変更するには:

1. [縦横比の設定]チェックボックスをオンにします。
2. ポップアップメニューから縦横比を選択します。ポップアップメニューの右にあるボタンを使用して縦横の向きを切り替えます。
3. 以下のいずれかの操作を行ってください:
 - トリミングウィンドウの端または角にマウスポインタを合わせ、ポインタが双方向矢印に変わったら、トリミングウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。
 - 幅または高さボックスを使用して、トリミングウィンドウの縦または横のサイズを指定します。ACDSeeは、選択した比率に基づいてその他の寸法を自動的に変更します。

トリミング オプション

縦横比の設定	このオプションを選択すると、特定の比率でトリミングを行うことができます。ポップアップメニューから比率を選択します。
トリミング領域の最大化	クリックするとトリミング領域が画像全体に広がります。トリミングウィンドウの端をクリック&ドラッグして調整します。トリミングウィンドウの選択をやり直したい場合は、[トリミング領域の最大化]ボタンをクリックして画像全体に広げてから、必要な調整を行います。
トリミング領域の回転	右回転ボタン  をクリックして、トリミングした部分を90度回転します。
トリミングを元に戻す	トリミンググループにある[更新]ボタンをクリックすると、トリミングは解除され画像はトリミング前に戻ります。



表示モードでは、選択ツールを使って画像の一部をコピー&貼り付けできます。

ヴェイネット除去

現像モードのヴェイネット解除ツールを使うと、レンズのヴェイネットをかんたんに修正することができます。レンズのヴェイネットとは、画像の四隅に見られる暗い領域で、カメラのレンズが画像の隅々まで必要な光を取り込めないことによって発生します。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

レンズのヴァイネットを補正するには:

1. 現像モードでジオメトリタブを選択します。
2. 下の一覧を参照して、[ヴァイネット除去] グループのオプションを設定します。

ヴァイネット除去 オプション

強さ	スライダを右へ動かすほど影が明るくなります。
半径	スライダを右へ動かすほど大幅な修正が適用され、左に動かすほど微妙な修正が行えます。

修復

美肌効果 ツールとクローンツールの使用

修復 ツールを使用して、次のような欠点や傷を修復することができます:

- 皮膚に見られる傷やにきび跡
- 電話線などの不必要なオブジェクト
- 雪の結晶や窓を反射したフラッシュ
- レンズ上のキズや水滴
- センサーについたほこりによる影

修復 ツールには美肌効果ブラシとクローンブラシという2つのオプションがあります。

美肌効果ブラシは画像の一部を別の領域にコピーしますが、コピーする前にソース元のピクセルを分析します。そしてコピー先のピクセルも分析した後その周りの領域とマッチするようにピクセルを自動的にブレンドします。これで、置き換えられるピクセルの光と色が、周囲としっかりなじむことになります。美肌効果ブラシは肌や毛皮などの細やかな質感の画像修整に効果的です。

クローンブラシは、ピクセルを写真の一部の領域から他の領域に正確にコピーするツールで、同一の画像領域を作成します。修正後の画像内のコピーされたピクセルを識別するのが難しいような、単純な質感や均一な色の修正に、クローンブラシは効果的です。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。



最高の結果を得るためには、ヒーリングブラシを使用する前に画像に幾何学的な操作を行ってください。

画像を修整するには:

1. 現像モードの修復グループにある修復タブで、次の操作を行ってください:

- **美肌効果**: コピー元の領域からコピー先の領域へピクセルをコピーし、コピー先の周囲のピクセルとなじませます。
- **クローン**: コピー元の領域からコピー先の領域にピクセルをコピーします。

2. 以下の表の説明に従い、**ペン先の幅**と**フェザリング**スライダをドラッグします。

3. 画像を右クリックまたは、コントロールクリックして、ソースの場所を設定します。この領域のピクセルが、コピー先に使用されます。

4. コピーしたい領域をクリック&ドラッグします。美肌効果ブラシを選択した場合には、ACDSee 写真館 9 マウスボタンを離した際にピクセルの分析と置き換えが行われます。ブレンドクローンツールを選択した場合、ACDSee 写真館 9 マウスボタンを離した際に、ピクセルの分析と置き換えとブレンドが行われます。

5. 以下のいずれかの操作を行ってください:

- **別名で保存**をクリックして、変更を新しいファイルとして保存します。
- 変更を適用してツールを閉じるには、**完了**をクリックします。
- 変更を適用せずにツールを閉じるには、**キャンセル**をクリックします。



マウスをスクロールして作業しながらブラシサイズを調整するか、スクロール中にシフトキーを押してフェザリングを調整します。



ブラシツールを使用中、**コマンド**キーを押したままにし、パン機能を有効にします。



最も正確にプレビューを表示するには、ヒーリングまたはクローニング中に画像を100%までズームします。



赤目軽減や選択的な調整であるディベロップブラシやグラデーションなどの調整は、ヒーリングやクローンができない場合の唯一の調整方法です。

修復 ツールオプション

ペン先の幅

ブラシの幅を設定します。ブラシの幅の最大値は、画像のサイズにより決まります。

フェザリング

ブラシのエッジに適用するフェザーの量を設定します。フェザリングを増やすと、元の画像領域と修整された領域の違いが目立たなくなります。

フェザリングは特定のピクセル数ではなく、ペン先の幅に対する割合として設定されます。つまり、ペン先の幅を変更した場合、新規のペン先の幅に合わせたフェザリングの量に自動調整されることになりますので、個別に調整する必要はありません。



現像の設定をすぐに画像に適応するには、**現像 | 最後に使用された操作を適用**をクリックします。他にも、保存してある現像設定を**現像**を選択してプリセットをクリックして適用することもできます。

赤目補正

フラッシュをたいたま写真を撮ると、ときどき写っている人物の目が赤く見えることがあります。これはデジタルカメラのフラッシュが、被写体の目に反射されることによって起こります。現像モードにある[修復]タブの赤目補正ツールを使ってこの赤目を軽減したり、または完全になくすことが可能です。



使用した設定は プリセット として保存し、後で再利用することができます。

赤目を補正するには:

1. 現像モードで**修復**タブを選択します。
2. [赤目補正]グループで、下の説明を参考にしてスライダを調整します。

赤目補正のオプション

サイズ	スライダを右に動かすと半径が大きくなり、左に動かすと半径が小さくなります。
暗くする	スライダを右にドラッグすると修正を暗く、左にドラッグすると修正を明るく調整できます。



おまかせ をクリックすると、赤目補正が自動で適用されます。

365 ボタン

365 モード

365 ボタンについて

365 ボタンを使うと、365.acdsee.com に直接アクセスして ACDSee 365 アカウントにサインインすることができます。365.acdsee.com を使用して、ACDSee 365 への画像のアップロード、画像の共有、ストレージサービスをご利用いただけます。ACDSee 365 アカウントのご利用には、365.acdsee.com にて入会していただくか、または追加ストレージをご購入いただく必要があります。[ACDSee 365](#)の使用については、ヘルプファイルをご覧ください。

フォルダを非公開または公開にする

フォルダを作成して、365.acdsee.com でのそのフォルダを公開または非公開に指定することができます。フォルダを公開に設定すると、そのフォルダに含まれているすべての画像を誰でも 365.acdsee.com にて閲覧することができます。公開フォルダの URL をコピーして、他の人と共有することも可能です。



新しいフォルダは既定で非公開に設定されています。

写真の公開については、ACDSee 365 ヘルプファイルの「[写真を公開する](#)」を参照してください。

公開フォルダを非公開に設定する方法については、ACDSee 365 ヘルプファイルの「[公開フォルダを非公開に戻す](#)」を参照してください。

オンラインフォルダの作成

フォルダを作成して、365.acdsee.com でオンラインファイルを整理するのに役立てることができます。



新しいフォルダは既定で非公開に設定されています。

ACDSee 365 ヘルプファイルの「[フォルダを追加する](#)」を参照してください。

アップロードする

インターネットにアクセスできる場所であればいつでもどこでも 365.acdsee.com に写真や動画をアップロードできます。

フォルダやファイルをアップロードする方法については、ACDSee 365 ヘルプファイルの「[写真や動画をアップロードする](#)」を参照してください。

オンラインフォルダを共有する

公開フォルダの URL をコピーして他の人と共有することも可能です。



新しいフォルダは既定で非公開に設定されています。

ACDSee 365で画像を共有する方法については、ACDSee 365 ヘルプ ファイルの「[写真を家族や友人と共有する](#)」を参照してください。

画像をズームする

ズーム レベルを設定する

ズーム スライダを使って画像を拡大および縮小 することができます 。ポップアップメニューからズーム レベルを選択 することもできます。

スライダを使用してズーム レベルを設定するには:

1. 表示 モードで画像 を選択 します。
2. ズームスライダをクリックして、次のいずれかを実行 します。
 - スライダを左 にドラッグして縮小 します。
 - スライダを右 にドラッグして拡大 します。

画像をズームする

マウスを使って画像 の一部分だけをかんたんに拡大および縮小 することが可能です。

画像を拡大・縮小するには:

以下のいずれかの操作 を行います:

- **Command++** キーを押して画像 を拡大 します。
- **Command+-** キーを押して画像 を縮小 します。

 マウスをホールドしてドラッグすると、拡大した画像を回転 できます。

フル スクリーンで画像を表示する

フルスクリーン機能を使って画像 をモニタ全体に表示 します。

フルスクリーンで表示するには

以下のいずれかの操作 を行います。

- **[表示]>[フルスクリーン]**を選択 します。
- **Option—Command—F** キーを押して画像 をフルスクリーンで表示 します。
- フルスクリーンアイコンをクリック します  (表示 モードのみ)。

フルスクリーンでは次の操作 が可能です。

- **Command—+** キーを押して画 像 を拡大します。
- **Command—-** キーを押して画 像 を縮小します。
- **Esc**を押して、フルスクリーンを終了します。



管 理 または 表 示 モードでも フルスクリーン設定 を設定 することができます。

環境設定

全般環境設定

[環境設定] ダイアログボックスを使用して、管理モードと表示モードの画像の表示方法を設定したり、自動回転オプションを設定できます。

全般オプションを設定するには:

1. 管理モードで **ACDSee 写真館 9 [環境設定]** をクリックします。または **Command +,** キーを押します。
2. [環境設定] ダイアログボックスで、**[全般]** をクリックします。
3. [ベーシック] タブで、以下を参考にしてオプションを設定または変更します
4. ダイアログボックスを閉じて変更内容を適用し、ACDSee 写真館に戻ります。

全般オプション

既定の開始フォルダ

前のセッションで
使用したフォルダ

前回ACDSee 写真館を使用した時に開いたフォルダと同じフォルダで管理モードが開き、以前使用していた参照条件が自動で適用されます。

ホームフォルダ

指定したフォルダに対して常に管理モードが開きます。
[選択]ボタンをクリックして、ハードディスク上から開始するフォルダを指定します。

表示

タイトルバーに
データベースのファ
イル名を表示す
る

ACDSeeが実行中のデータベース名をタイトルバーに表示します。

アイコンをメニュー
バーに表示

メニューバーにアイコンを表示できるようにします。メニューバーからアイコンを非表示にするには無効にします。

カメラ

カメラの接続時に
インポートダイア
ログを表示する

カメラが接続されると開きます。

印刷オプション

イメージを最適サ
イズに自動回転

は EXIF データに基づいて、画像を自動回転して修正します。

レイアウトで画像
をトリミング

ACDSee 写真館 9 印刷時のレイアウトで画像をトリミングします。

画像の回転/反転

画像回転後に
ファイルを自動保
存

画像を回転して自動的に保存します。

トラックパッド

トラックパッドで
ズーム

トラックパッドでのズームを有効にします。ズームを無効にするには、チェックマークのチェックを外してください。

トラックパッドで回
転

トラックパッドでの回転を有効にします。回転を無効にするには、チェックボックスをクリックしてチェックを外してください。

RAW ディスプレイ

次のいずれかを選択します。

- **RAWデコード**:埋め込まれたJPEGを使用します。
- **埋め込みプレビュー**:高品質のデコードを実行します。

詳細については、[\[RAW画像を表示する\]](#)をご覧ください。

インデクサーオプションの設定方法

データベースの目録作成

ACDSeeデータベースは、フォルダーを閲覧した時にファイル情報を保存します。このプロセスは、カタログ化と呼ばれます。カタログ化とデータベースを使うと、ファイルの並べ替え、整理、検索、絞り込みに役立ち、閲覧が高速化されます。ACDSeeインデクサーは、閲覧せずに画像をカタログ化するのを助けます。

ACDSeeインデクサーを使用すると、コンピューターがアイドル状態でACDSeeが実行されていないときにファイルをカタログ化できます。これにより、すべてのフォルダーを参照する必要や、処理中にコンピューターの速度が低下することがなくなります。選択したフォルダー内のファイルを編集した場合、ACDSeeインデクサーはデータベースを更新します。

カタログ化したいフォルダーとACDSeeインデクサーがカタログ化を始めるまでのパソコンのアイドル時間を設定することができます。これらのオプションの設定方法は、ACDSeeインデクサーオプションの設定を参照してください。

インデクサー設定

「オプション」ダイアログボックスで、ACDSeeインデクサーの機能をカスタマイズできます。

ACDSee インデクサーは以下の手順でカスタマイズします:

1. どのモードでも、**ACDSee 写真館 9 Mac用** を選択します | **設定...**
2. 「全般」タブで、「インデクサー」サブタブを選択します。
3. 以下の説明に従って、オプションを設定または変更します。

インデクサー設定

コンピュータが次の時間以上アイドリングした場合、フォルダまたは画像を自動でインデックスする	コンピュータのアイドリング中にフォルダまたは画像のインデックスが実行されます。インデックスが開始されるまでのコンピュータのアイドリング時間を、スライダで設定します。
画像ファイルのみをインデックスする	ACDSeeが対応しているファイルタイプすべてを無効にします。
パッケージを含める	カタログ化中にパッケージとバンドルを含めることができるようになります。
現在のデータベース	インデックスするデータベースを表示します。
モニタリングするフォルダ	インデックスされるフォルダを表示します。
フォルダの追加...	「フォルダの追加...」ボタンをクリックして、インデックスしたいフォルダをさらに追加します。
フォルダの削除	リストでフォルダを選択し、「フォルダの削除」ボタンをクリックすると、インデックスされるフォルダから対象のフォルダを削除できます。

ACDSee Mobile Sync オプションを設定する

[設定]メニューオプションを使用して、ACDSee Mobile Syncの設定を変更できます。

ACDSee Mobile Syncオプションを設定するには:

1. どのモードでも、ACDSee 写真館 9 Mac用 | 設定... を選択します
2. [設定]ダイアログで、[モバイル同期]ボタンをクリックします。
3. ACDSee Mobile Syncのダイアログで、下記のようにオプションを設定します。
4. 変更を適用し、ACDSee に戻ります。

ACDSee Mobile Syncの設定

ルートフォルダ	送信する画像とビデオの宛先を指定します。
サーバー名	送信先サーバーの名前をカスタマイズするには、フィールドにテキストを入力してください。この名前が、ACDSee Mobile Syncアプリの送信先一覧に表示されます。
フォルダツリーにACDSee Mobile Syncのルートフォルダを表示する	フォルダペインにACDSee Mobile Syncのフォルダを表示します。

自動切り替えの環境設定

自動切り替えを起動する適用されたメタデータを制御できます。

自動切り替えオプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **ACDSee 写真館 9 [環境設定]**をクリックします。
2. 環境設定ダイアログボックスの**全般**から**[自動切り替え]**タブを選択します。
3. 以下を参照して、**[自動切り替え]**タブのオプションを設定または変更します。

自動切り替え オプション

自動切り替えを有効にする	• 管理モード • 表示モード	選択解除して、管理または表示モードで自動切り替えをオフにします。
適用時に自動切り替え	• タグ • 重要度 • ラベル • カテゴリ • キーワード	適用または削除されたメタデータのうち、自動切り替えを起動するメタデータを指定します。  キーワードとカテゴリは既定で無効になっています。

メタデータの環境設定

[環境設定]ダイアログボックスで設定を調整して、メタデータを管理できます。

メタデータオプションを設定するには:

1. 管理モードで **ACDSee 写真館 9 [環境設定]**をクリックします。
2. 環境設定ダイアログボックスの**[全般]**から**[メタデータ]**タブを選択します。
3. 以下を参照して、**[メタデータ]**タブのオプションを設定または変更します。

メタデータオプション

メタデータ	Spotlight コメントを 有効にする	既定では、ブラウジングのパフォーマンスを向上させるために、ファイルに保存された Spotlightコメント を読み取るACDSeeの機能は無効になっています。有効にすると、選択した画像のSpotlightコメントを[プロパティ]ペインの [Spotlightコメント] フィールドで表示および編集できます。
	埋め込み ACDSee メ タデータリ マインダー の表示	ACDSee メタデータの埋め込みを知らせるリマインダーが表示されます。 ACDSee メタデータを編集する場合、またはこのメタデータをファイルに追加する場合、ACDSeeにより、新しいデータがそのデータベースに自動で追加されます。このオプションを有効にしている場合、ACDSeeを次回終了する際に、[ファイルにACDSee メタデータを埋め込む]ダイアログボックスが開き、そこで変更したファイル自体に新しいデータを埋め込むかどうかを選択できます。

管理モードの環境設定

[オプション] ダイアログボックスを使用して、既定の開始フォルダなど、管理モードのための様々なオプションを設定することができます。

管理モードオプションを設定するには：

1. 管理モードで **ACDSee 写真館 9 [環境設定]** をクリックします。
2. [環境設定] ダイアログボックスで、**[管理]** をクリックします。
3. 以下を参照して、オプションを設定または変更します。
4. ダイアログボックスを閉じて変更内容を適用し、ACDSee 写真館に戻ります。

管理モードオプション

整理

フィルタ	ファイルの種類をすべて表示またはフィルタの条件を適用	すべてのファイルを表示することも、画像と動画だけ、など特定のファイルだけに限定して表示することも可能です。
	フォルダを表示	フォルダ内のサブフォルダも表示します。サブフォルダを表示しない場合は、チェックボックスのチェックを外してください。
	バンドル内を参照	アプリケーション内のコンテンツを参照することができます。
	XMP ファイルを表示する	サイドカーXMP ファイルを表示します。
	THM ファイルを表示する	THM ファイルを表示します。
ファイルの関連付け	以下を使用して ACDSee 写真館 Mac用 すべての画像ファイルを開きます	既定では以下に含まれる ACDSee 写真館 Mac 用 すべての画像ファイルを表示します。
	カスタム関連付けを使用する	カスタマイズをクリックして、拡張子を選択し、そのファイルフォーマットを開く既定のプログラムに設定します。
	フル スクリーンモードで起動	画像をフルスクリーンモードで開くと起動します。
整理	アニメーションを使って[整理]ペインと[プロパティ]ペインを切替える	[整理]ペインが回転して[プロパティ]ペインに切り替わります。
	サブカテゴリが割り当てられる場合、親カテゴリを含む	サブカテゴリが適用されたとき、親カテゴリを追加します。例えば、親カテゴリが「カナダ(カナダ)」、サブカテゴリが「バンクーバー(バンクーバー)」であるとし、もし「バンクーバー」というサブカテゴリを選択すると、「カナダ」という親カテゴリもファイルに追加されます。
	親カテゴリが割り当てられない場合、サブカテゴリの割り当てを解除する	親カテゴリが取り除かれると、同時にサブカテゴリも取り除かれます。例えば、親カテゴリが「猫(ネコ)」、サブカテゴリが「子猫(子ネコ)」だとします。親カテゴリである「猫」がファイルから取り除かれると、「子猫」というサブカテゴリも取り除かれます。

サムネイル

サムネイル情報	情報	画像のファイル名を表示します。
	オーバーレイアイコン	サムネイル画像には、タグ、重要度、カテゴリ、またはロックされたファイルであることを示すオーバーレイアイコンが表示されます。[ファイル名]、[タグ付き]、[重要度]、[カテゴリまたはキーワード]、[ロック済み]、[現像済み]、[ラベル]、[タイプ]、[GPS]、[埋め込み保留中]または[スナップショット]チェックボックスを選択または選択解除します。
サムネイルのスタイル	サムネイルの大きさ	スライダを左に移動するとサムネイルのサイズが小さくなります。スライダを右に移動するとサムネイルのサイズが大きくなります。
	サムネイルの間隔	サムネイル表示を調整します。サムネイルの間隔スライダを左へ移動させるとサムネイル間のスペースが狭まり、右へ移動させると広がります。 埋め込まれたサムネイルを使用する:画像撮影時にカメラで作成された埋め込みJPEGを表示します。
	サムネイルのフレーム	サムネイルの見せ方を調整します。次のいずれかのオプションを選択します。 ● フレームを表示:各サムネイルに白いフレームを追加します。 ● スライド枠を表示:サムネイルの外枠に黒く太いボーダーを追加します。
一覧		
一覧表示	一覧表示をカスタマイズするには、左側のツリーから右側のリストに項目をドラッグします。	
イージーセレクト		
イージーセレクトを表示する	複数のフォルダを選択する際に便利なイージーセレクトインジケータをフォルダペインに表示します。	

表示モードの環境設定

「環境設定」ダイアログボックスでは、ユーザーのお好みに合わせて表示モードを設定できます。

表示モードオプションを設定するには:

1. 管理 モードで **ACDSee 写真館 9「環境設定」** をクリックします。
2. 「環境設定」ダイアログ ボックスで、**表示** をクリックします。
3. 以下を参照して、オプションを設定 または 変更 します。

表示 モード オプション

デフォルトズーム

画像に合わせる	表示 モード ウィンドウのサイズに合わせて、画像をサイズ変更 します。
幅に合わせて表示	表示 モード ウィンドウの幅に合わせて、画像をサイズ変更 します。
高さに合わせて表示	表示 モード ウィンドウの高さに合わせて、画像をサイズ変更 します。
実際のサイズ	画像をオリジナルサイズで表示 します。

ビューおよびフルスクリーンの背景色

ビューア背景色	ビューアの背景色を選択 します。
フルスクリーン背景色	フルスクリーンの背景色を選択 します。

スライドショー

高品質 レンダリングを使用 します。	このオプションは、アドバンス グラフィック カードを搭載したパソコンを使用している場合に推奨 されます。
--------------------	--

4. ダイアログボックスを閉じて変更 内容 を適用 し、ACDSee 写真館 9 に戻 ります。

顔検出・認識 オプションの設定

顔検出 をオン・オフに切り替えたり、顔検出 を再実行 したり、ACDSee インデクサーでコンピューターがアイドル状態の時に顔検出 を実行 させることができます。

顔検出 オプションを設定 する:

1. どのモードであっても、**ACDSee 写真館 9 | 設定...** をクリック します。
2. 設定 ダイアログ ボックスで、**顔検出** をクリック します。
3. 顔検出 ページで、下記で説明 するようにオプションを設定 または 変更 します。
4. **OK** をクリック します。

顔検出 オプション

顔検出

画像内の顔を自動的に検出

このオプションを切り替えることで顔検出をオンにします。このオプションを有効にすると、管理モードで閲覧中に遭遇したファイルについて、顔検出が実行されます。ビューモードでは、開いている画像のみに顔検出が実行されます。顔検出が画像に対して実行された後、その情報はデータベースに格納されます。そのため、このオプションを無効にすると、以前に検出された顔は引き続き顔のアウトラインや名前(名前を付けている場合)がビューモードで表示されます。また、顔に付けた名前での検索も可能です。

ACDSee インデクサーを使用して、コンピューターがアイドル状態の間に顔の検出を行うように許可します。

顔の検出を有効にすると、[ACDSee インデクサー](#)で顔の検出プロセスを行うことができます。ACDSee インデクサーを使用すると、コンピューターがアイドル状態の間に顔の検出プロセスを実行し、ACDSeeが実行されていない場合でもすべてのフォルダーを参照する必要があります。

顔の検出を再実行

最後に顔の検出が実行されてから変更された可能性のあるファイルがあると思われる場合は、顔の検出を再実行できます。これを有効にすると、変更されたファイルを管理モードまたはビューモード閲覧したときに、次回顔の検出が再実行されます。

顔認識

顔認識を有効にする

このオプションをオンにすると、ACDSeeは以前の画像で名前を付けた顔を基に、個人を認識しようとします。

スライダーを使用して、ACDSeeが同じ個人として認識するために2つの顔の少なくともいくつかの類似性が必要かを設定します。

適度: デフォルトの設定は、多くの顔を名前付けするのに最適化されていますが、間違った名前を追加するのは少ないです。

強め: 顔が認識されるためにはより類似している必要があります。このオプションは、あなたの写真コレクションが様々なポーズ、照明、フィルム品質で数人の人物だけになっている場合に便利です。間違った名前が多くなる可能性があります。

控えめ: 顔はより類似している必要があります。このオプションは、あなたの写真コレクションが多くの異なる人物で構成されており、特に親しい家族など、肉体的に類似した人物で構成されている場合に有用です。間違った名前は少なくなります。手動で名前を付ける必要がより頻繁に発生します。



3つの設定すべてが間違った名前をもたらす可能性があります。特に、顔



認識が最初に個人を発見した場合には、間違った名前が多くなる可能性があります。もし手動で訂正できない程度の間違った名前が多い場合は、顔認識を無効にし、あなたの写真コレクションの各人物について数個の顔を手動で名前付けします。その後、顔認識を再度有効にし、必要ならば[ファイルの選択またはライブラリ全体について、顔認識を再実行](#)します。

顔検索 オプション

- 顔検索** **割り当てられた名前:** クイック検索 バーまたは整理ペインの人物グループを使用して検索すると、顔検出を使用して名前が付けられた写真が返されます。
- 提案された名前:** クイック検索 バーまたは整理ペインの人物グループを使用して検索すると、ACDSeeによって提案される(が、あなたによって確認されない)名前が付けられた写真が返されます。
- 割り当てられたおよび提案された名前の両方:** クイック検索 バーまたは整理ペインの人物グループを使用して検索すると、割り当てられたおよび提案された名前の両方が付けられた写真が返されます。

すべての顔データを削除

データベースから、顔検出および認識に関連するすべてのデータ(顔の輪郭、名前、およびファイルで顔検出が実行されたかどうかに関する情報)を削除します。この動作は、ACDSeeの再起動を必要とします。

再認識を実行

ACDSeeが誤って識別した名前を修正するには、手動で名前をつけていない顔に対して再度顔の認識を実行します。これにより、ACDSeeの顔認識によって割り当てられたすべての名前がクリアされますが、手動で入力された名前は残ります。ACDSeeは、手動で名前を入力したものを基に未識別の顔を識別しようとします。

関連項目:

- ❖ [ビューモードでの顔検出 & 認識の使用](#)
- ❖ [管理モードでの顔検出](#)

現像モードの環境設定

現像モードの環境設定:

1. いずれかのモードで **ACDSee 写真館 9「環境設定」** をクリックします。
2. 環境設定ダイアログボックスで、「**現像**」をクリックします。
3. 以下を参照して、オプションを設定または変更します。

現像 モードオプション

ペインの位置	現像 モードツールのペインを左 と右 どちらに表示 するか選択 できます。	
自動保存	モードや画 像を切り替える時、画 像を自動で保存 します。	
ビューおよびフルスクリーンの背景色		
	ビューア背景色	ビューアの背景色 を選択 します。
色の管理		
	RAWファイルのデフォルト出力色空間。	RAWファイルの出力色空間 を選択 します。
	RAWファイル以外のデフォルト出力色空間。	RAWファイル以外の出力色空間 を選択 します。

- ダイアログボックスを閉じて変更内容を適用し、ACDSee 写真館 9 Mac用に戻ります。

デバイスの環境設定

外部デバイスの取り扱いについて ACDSee 写真館 9 オプションを設定できます。

デバイスオプションを設定するには:

- 管理 モードで **ACDSee 写真館 9 [環境設定]** をクリックします。
- 環境設定ダイアログ ボックスで、**デバイス** をクリックします。
- 以下を参照して、オプションを設定 または変更 します。

デバイス オプション設定

データベースからリムーバブルドライブを常に除外する	リムーバブルドライブ上の画 像はデータベースに追加 されず、また除外したファイルのデータベースプロパティへの入力は無効になります。
データベースからCD/DVDドライブを常に除外する	CD/DVD ドライブ上の画 像はデータベースに追加 されず、また除外したファイルのデータベースプロパティへの変更は無効になります。

- ダイアログボックスを閉じて変更内容を適用し、ACDSee 写真館に戻ります。

マウスとキーボードの環境設定

環境設定で、画 像をダブルクリックしたときの動作や、キーボードのショートカットが設定 できます。

マウスとキーボードオプションを設定するには:

1. いずれかのモードで **ACDSee 写真館 9 [環境設定]** をクリックします。
2. 環境設定ダイアログボックスのマウス & キーボードオプションの下にある **マウス設定** をクリックします。
3. 以下に記載したタブから環境設定を選択してください。

マウス設定 タブ

管理モードオプション

画像をダブルクリック	表示モードに切り替え	画像をダブルクリックすると、表示モードで開きます。
	現像モードに切り替え	画像をダブルクリックすると、現像モードで開きます。
	フルスクリーン表示	画像をフルスクリーンで表示します。次のいずれかを選択します。 • フルスクリーンでダブルクリックすると管理モードに戻る: フルスクリーンで画像をダブルクリックすると、管理モードに戻ります。 • フルスクリーンでダブルクリック時に何もしない: 画像がフルスクリーンで表示されているときは、ダブルクリックを無効にします。

表示モードオプション

画像をダブルクリック	管理モードに切り替え	画像をダブルクリックすると、管理モードで開きます。
	現像モードに切り替え	画像をダブルクリックすると、現像モードで開きます。
	フルスクリーン表示	画像をフルスクリーンで表示します。次のいずれかを選択します。 • フルスクリーンでダブルクリック時に管理モードに切り替え: フルスクリーンで画像をダブルクリックすると管理モードに切り替わります。 • フルスクリーンでダブルクリック時に表示モードに戻る: フルスクリーンの画像をダブルクリックすると表示モードに戻ります。

キーボードショートカット タブ

カスタムキーボードショートカットを設定するには:

1. [キーボードショートカット] タブを選択します。
2. 左側からメニュー アイテムを選択し、右側で個々のコマンドを選択して編集します。
3. ショートカットをダブルクリックしてフィールドを編集可能にします。
4. 選択したキーをホールドして新しいショートカットを入力してください。



初期設定に戻すをクリックすると、作成したショートカットをいつでもデフォルトへ戻すことができます。



コマンドの左隣にあるチェックボックスにて、リストされたショートカットを有効にするか無効にするか選択できます。

ステータスバーの環境設定

[環境設定] ダイアログボックスを使用して、ステータスバーに表示するファイルデータを選択することができます。

ステータスバーの環境設定

ステータスバーオプションを選択するには:

1. いずれかのモードで **ACDSee 写真館 9 [環境設定]** をクリックします。
2. [環境設定] ダイアログボックスで、[ステータスバー] タブをクリックします。
3. [ステータスバーテキストフォーマット] フィールドにトークンをドラッグして、ステータスバーをカスタマイズします。
4. 名前の要素をさらにカスタマイズするには、利用可能なトークンの矢印を使用してください。



[ステータスバーテキストフォーマット] フィールドで要素を編集またはドラッグすると、フォームの下にステータスバーのプレビューが表示されます。

ショートカット

「ショートカット

表示モードおよび管理モードで作業中に、次の「ショートカット」を使用して効率アップを図ることができます。

ご使用中のモードによってご利用できないショートカットやメニューもございますのでご了承ください。



このページを印刷するには、Ctrl + クリックして印刷を選択します。

ショートカット	操作
\	画像にタグ付けします。
Command—A	すべてのアイテムを選択します。
Command—C	画像をコピーします。
Command—Delete	ごみ箱へ移動します。
Command—H	を隠します。
Command—K	[プロパティ]ペインの[ACDSee メタデータ]タブの[キーワード]フィールドにカーソルを置きます。
Command—M	を最小化します。
Command—P	プリントダイアログ ボックスを開きます。
Command—R	再表示。
Command—S	クイック検索 フィールドにカーソルを置きます。
Command—V	画像を貼り付けます。
スペースキー	管理 モードで、クイックルックでファイルを起動します。 表示 モードで、フォルダ内の次の画像に進みます。
Command—0	重要度を解除します。
Command—1	重要度1を付けます。
Command—2	重要度2を付けます。
Command—3	重要度3を付けます。
Command—4	重要度4を付けます。
Command—5	重要度5を付けます。
Command—-	画像を縮小します。
Command—+	画像を拡大します。
Command—*	スクリーンに合わせて画像を表示します。
Command—/	実際のサイズで画像を表示します。
Command—J	表示したフォルダを次へ移動します。

ショートカット	操作
Command—[	表示したフォルダの前へ戻ります。
Command—I	[プロパティ]ペインを表示/非表示にします。
Command—,	[設定]ダイアログを表示します。
Command—左矢印キー	画像を画面の幅に合わせます。
Command—右矢印キー	表示モードで画像を画面の高さに合わせます。
Control—L	画像を左に回転します。
Control—0	画像のラベルをクリアします。
Control—1	レッドラベルを付けます。
Control—2	オレンジラベルを付けます。
Control—3	イエローラベルを付けます。
Control—4	グリーンラベルを付けます。
Control—5	ブルーラベルを付けます。
Control—6	バイオレットラベルを付けます。
Control—7	グレーラベルを付けます。
Control—Command—1-9	有効なカテゴリセットから対応するカテゴリを使って画像を分類します。 [編集] > [カテゴリセット] > [カテゴリ] を参照して、有効なセットのどのカテゴリがどの番号付きショートカットに対応するかを特定してください。
Option—Command—1-9	有効なキーワードセットから対応するキーワードを使って画像にキーワードを付けます。 [編集] > [キーワードセット] > [キーワード] を参照して、有効なセットのどのキーワードがどの番号付きショートカットに対応するかを特定してください。
Control—R	画像を右に回転します。
Control—H	画像を水平方向に反転します。
Control—V	画像を垂直方向に反転します。
Control—C	画像比較ツールで選択した画像を表示します。
Control—Q	自動切り替えのオン/オフを切り替えます。

ショートカット	操作
Control—B	選択された画像を画像バスケットに追加します。
Control—N	顔検出パネルを開き、最初の名前フィールドにカーソルを置く
Control—F	現在の画像で顔検出を再実行する
O	保持時に編集前の画像を表示する
Tab	画像上で選択した顔を切り替える
削除	画像バスケットから選択された画像を削除します。
Control—Option—Shift—C	選択したファイルのメタデータをコピーします。
Control—Option—Shift—V	コピーしたメタデータを選択したファイルに貼り付けます。
Control—Shift—D	右側のペインに検出された顔を表示します。
Control—Shift—M	マップペインを開く/閉じるを切り替えます。
Control—Shift—V	選択したジオタグ付き画像のマップ場所を表示します。
Control—Shift—B	画像バスケットの開く/閉じるを切り替えます。
Control—Command—B	画像上の顔アウトラインを表示する
Control—Command—C	現像設定をクリップボードにコピーします。
Control—Command—F	顔ツールを表示し、顔アウトラインと名前を編集できるようにする
Control—Command—S	表示モードの時に選択ツールを有効にします。
Control—Command—V	選択した画像に現像設定を貼り付けます。
Control—Option—Command—Delete	データベースを空にします。
Control—Option—K	選択した画像を規定の外部画像エディタで開きます。
Control—Option—B	[枠の一括追加]ダイアログで選択した画像を開きます。
Control—Option—W	[透かしの一括追加]ダイアログで選択した画像を開きます。
End	管理モードでフォルダ内の最後の画像を選択します。表示モードでフォルダ内の最後の画像を表示します。
Home	管理モードでフォルダ内の最初の画像を選択します。表示モードでフォルダ内の最初の画像を表示します。

ショートカット	操作
左矢印キー	前の画像を表示します。
Option—1	画像をサムネイルとして表示します。
Option—2	画像をリストとして表示します。
Option—3	フィルムストリップビューを表示します。
Option—Command—B	「一括ワークフロー」ダイアログを開きます。
Option—Command—F	フルスクリーンでアイテムを表示します。
Option—Command—H	開いているほかのアプリケーションを非表示にします。
Option—Command—I	「整理」ペインを表示/非表示にします。
Option—Command—M	管理モードに切り替えます。
Option—Command—O	「人物マネージャ」を開きます。
Option—Command—P	現像モードに切り替えます。
Option—Command—V	表示モードに切り替えます。
Option—Command—R	フォルダペインを更新します。
Option—Command—Return	ファイル名を変更します。
Option—Shift—Command—F	Finderで項目の場所を表示します。
Option—Shift—Command—T	フォルダツリー内のファイルの場所を表示します。
Option—Shift—P	情報パレットを表示します。
Page Down	選択したフォルダの下にあるファイルを表示します。
Page Up	選択したフォルダの上にあるファイルを表示します。
右矢印キー	次の画像を表示します。
Shift—Command—A	すべてのアイテムを選択解除します。
Shift—Command—C	フォルダダイアログにコピーを表示します。
Shift—Command—F	選択した画像のスライドショーを表示します。
Shift—Command—K	「プロパティ」ペインの「IPTCコア」タブの「キーワード」フィールドにカーソルを置きます。

ショートカット	操作
Shift—Command—M	フォルダダイアログへの移動を表示します。
Shift—Command—N	新規フォルダを作成します。
Shift—Command—S	別のファイルフォーマット/ファイル名でファイルを保存します。
Shift—Command—U	選択したすべてのアイテムをカテゴリ解除します。

現像モードで作業中に次のマウスショートカットを使用して、効率アップを図ることができます:

ショートカット	操作
E	露出警告のオンとオフを切り替えます。
Shift—Command—A	画像の彩度値を表示します。
Shift—Command—S	画像を保存します。
Shift—Command—Z	やり直します。
Command—Z	元に戻します。
Page Down	次の画像を開きます。
スペースキー	フォルダ内の次の画像に進みます。
,	ナビゲーターを自動ウィンドウと手動ウィンドウの間で切り替えます。
Control - P	新しいスナップショットを保存
Control - Command - P	新しいプリセットを保存

現像モードの調整タブで作業中に次のマウスショートカットを使用して、効率アップを図ることができます:

ショートカットキーをホールドしてマウスでスクロールすると、すばや調整できます。

ショートカット	操作
X	全般的な 露出 を調整します。
H	全般的な ハイライトの回復 を調整します。
F	全般的な フィルライト を調整します。
C	全般的な コントラスト を調整します。
V	全般的な 自然な彩度 を調整します。
L	全般的な 明瞭度 を調整します。
W	ホワイトバランスの 温度 を調整します。
T	ホワイトバランスの 色合い を調整します。
B	ブラシツールを開く/閉じます。詳細タブにも適用されます。
G	リニアグラデーションツールを開く/閉じます。詳細タブにも適用されます。
R	放射状グラデーションツールを開く/閉じます。詳細タブにも適用されます。
S	表示しないように設定されている場合は、ブラシストロークまたはグラデーションマスクを表示します。詳細タブにも適用されます。